

第12号議案 令和5年度長崎市一般会計予算
〔文化観光部所管分〕

【目次】	(資料頁)
[2款 総務費]	
2・1・22 世界遺産推進費	3 ~ 17
[7款 商工費]	
7・1・4 観光費	18 ~ 77
[10款 教育費]	
10・6・3 文化財保護費	78 ~ 98
[10款 教育費]	
10・6・4 出島復元費	99 ~ 103

文化観光部
令和5年2月

【目 次】	(予算説明書)	(資料頁)
[2・1・22 世界遺産推進費]		
2 【補助】世界遺産保存整備事業費		
1 「明治日本の産業革命遺産」	134～135	3～6
2 端島炭坑	134～135	7～10
3 【補助】世界遺産保存整備事業費補助金		
1 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」	134～135	11～15
宿泊税の活用について		16～17
[7・1・4 観光費]		
2 観光振興対策費		
2 観光地域づくり推進費	226～227	18～34
3 MICE推進費	226～227	35～49
10 シーボルト来日200周年記念事業費	228～229	50～55
5 イベント共催費負担金		
6 長崎ハタ揚げ大会共催費負担金	228～229	56
7 観光施設管理運営費		
1 総合観光案内所運営費	228～229	57～58
3 出島運営費	228～229	59～61
26 長崎歴史文化博物館特別企画展負担金	230～231	62～64
9 【単独】観光施設整備事業費		
1 出島	230～231	65～68
2 旗竿再現(出島)	230～231	69～71
4 ペーロン体験施設	232～233	72～77
[10・6・3 文化財保護費]		
3 【補助】文化財保存整備事業費		
1 国指定重要文化財旧長崎英国領事館	284～285	78～83
2 国指定重要文化財旧オルト住宅	284～285	84～87
4 【補助】文化財保存整備事業費補助金		
1 伝統的建造物群保存地区	286～287	88～91
5 【単独】文化財保存整備事業費補助金		
1 各種文化財	286～287	92～98
[10・6・4 出島復元費]		
1 出島復元推進費		
2 建造物復元基本設計費	286～287	99～101
3 【補助】出島復元整備事業費		
1 第Ⅳ期建造物復元整備	286～287	102～103

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
134 ～ 135	2 総務費	1 総務 管理費	22 世界遺産 推進費	2-1	【補助】世界遺産保存整備事業費 「明治日本の産業革命遺産」	千円 35,500

1 概要

世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産価値等をより分かりやすく伝えるため、グラバー園の旧三菱第2ドックハウスで行っている展示をリニューアルするもの。

2 事業内容

「明治日本の産業革命遺産」(8県 11 市、23 構成資産)の世界遺産価値等をわかりやすく来訪者に伝えるため、各都市で「ガイダンス施設」を設置している。長崎市においてはグラバー園の旧三菱第2ドックハウスを中核的なガイダンス施設として位置付けて展示を行っている。

内閣官房が平成 29 年に策定した「インタープリテーション戦略※」に基づき、各都市のガイダンス施設において「顕著な普遍的価値」や日本の近代化の過程を説明する一貫した共通展示にリニューアルすることにより、世界遺産の価値をより深く理解してもらうとともに、グラバー園から市内の各構成資産への周遊につなげる。

※「インタープリテーション」とは世界遺産価値等をわかりやすく来訪者に伝えることであり、世界遺産登録時に、世界遺産委員会から資産価値等を来訪者へ適切に伝える戦略を策定するよう勧告がなされたことから、内閣官房を中心に「インタープリテーション戦略」を策定し平成 29 年 11 月 30 日ユネスコに提出している。

ア 事業計画 令和4年度:実施設計(展示内容検討)

令和5年度:展示リニューアル

イ 市内のガイダンス施設

旧三菱第2ドックハウスのほか、関連施設として、長崎市が設置する高島石炭資料館及び軍艦島資料館、並びに民間事業者が設置する軍艦島デジタルミュージアム及び三菱長崎造船所構内に三菱史料館がある。

中核施設



旧三菱第2ドックハウス



軍艦島資料館



三菱史料館

関連施設(4施設)



高島石炭資料館



軍艦島デジタルミュージアム

ウ 展示の内容



3 財源内訳

事業名	事業費	財源内訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債 ※2	その他	一般財源
ガイダンス施設整備	千円 35,500	千円 17,750	千円 -	千円 15,900	千円 -	千円 1,850

※1 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

※2 一般補助施設整備等事業債 充当率90% (交付税措置率30%)

参考資料 1 現在の状況（旧三菱第2ドックハウス2階）

旧三菱第2ドックハウス2階に長崎市が独自に作成した世界遺産の概要説明パネル及び古写真を展示



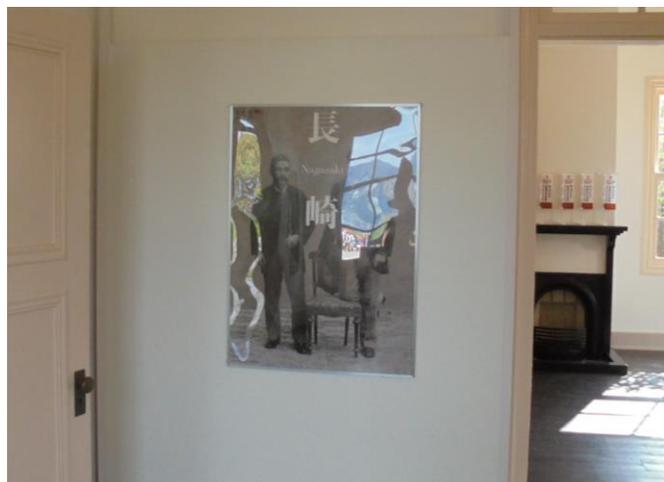
「明治日本の産業革命遺産」全体の説明パネル



3つの工業分野についての説明パネル



長崎エリアの構成資産パネル



グラバーと岩崎弥太郎の古写真



長崎エリアの構成資産の古写真



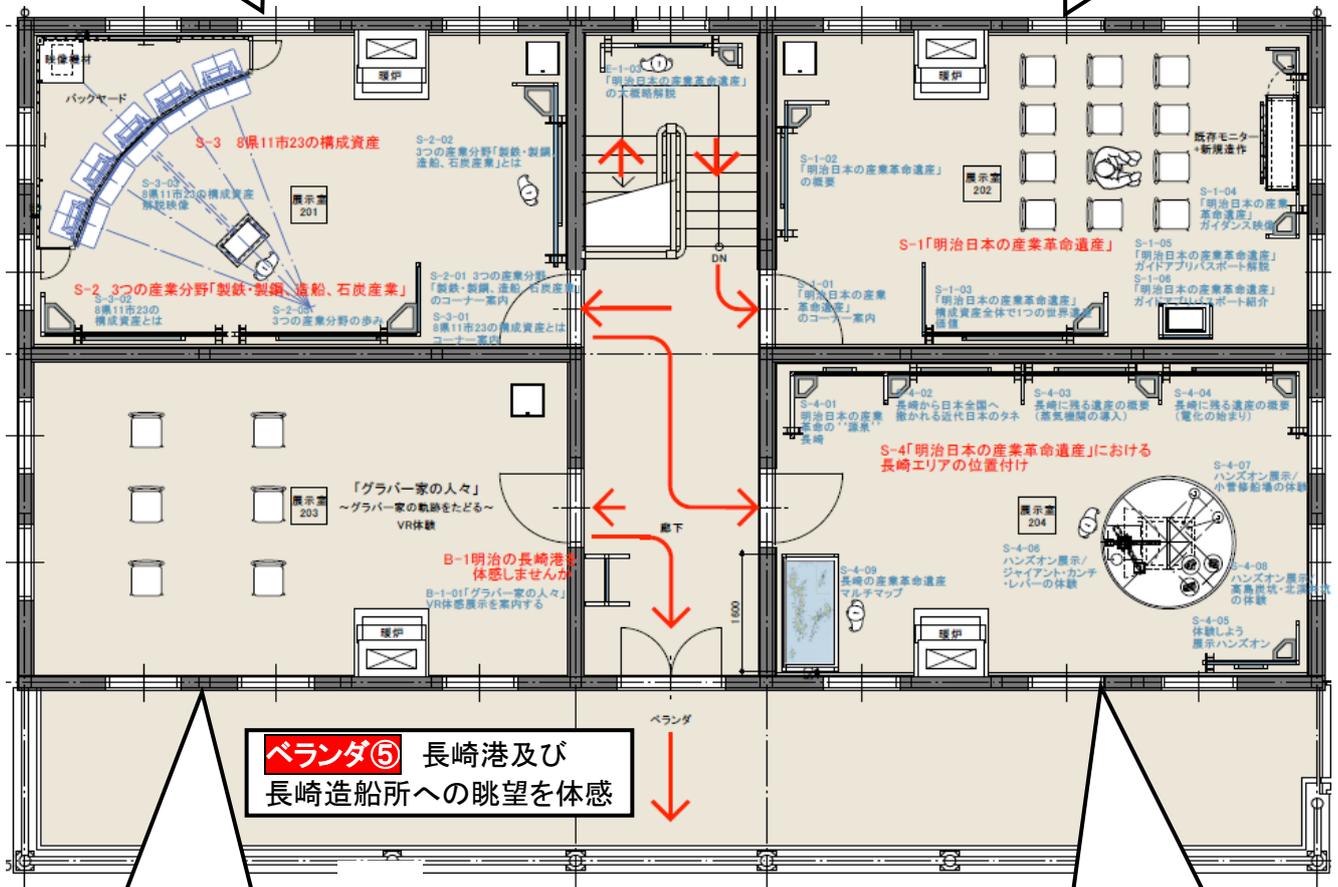
他のエリアの構成資産の古写真

参考資料 2 リニューアル後の展示イメージ(旧三菱第2ドックハウス 2階)

部屋② 3つの産業分野「製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の説明、8県11市の構成資産の紹介



部屋① 「明治日本の産業革命遺産」の顕著な普遍的価値の説明



ベランダ⑤ 長崎港及び長崎造船所への眺望を体感

部屋④ グラバーの軌跡を通して明治時代の長崎港の様子を体験できるVR展示 (指定管理者実施)



部屋③ 長崎市内の8つの構成資産の全体の中での位置付けや世界遺産価値への貢献の説明、実際に触れて学べるハンズオン展示



予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
134 ～ 135	2 総務費	1 総務 管理費	22 世界遺産 推進費	2-2	【補助】世界遺産保存整備事業費 端島炭坑	千円 109,500

1 概要

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである「端島炭坑」を、世界遺産及び国指定史跡として将来に渡り適切に保存管理していくため、「史跡高島炭鉱跡整備基本計画及び高島炭坑端島炭坑修復・公開活用計画」に基づき、平成30年度から令和9年度の10年間に渡って優先順位をつけて継続費として整備事業を行う。

2 総事業費 2,641,700千円（※平成30年度に継続費を設定）

年度	各年度事業費 [千円]	主な整備事業
平成30年度 (2018)	7,400	モニタリングカメラ機器設置ほか
令和元年度 (2019)	54,700	第3竖坑捲座跡 調査ほか
令和2年度 (2020)	42,300	第3竖坑捲座跡 基本設計ほか
令和3年度 (2021)	102,200	第3竖坑捲座跡 詳細設計ほか
令和4年度 (2022)	209,300	第3竖坑捲座跡 I期工事ほか
令和5年度 (2023)	109,500	第3竖坑捲座跡整備工事及び指導助言 【工事完了予定】
令和6年度 (2024)	789,600	入坑棧橋 詳細設計
令和7年度 (2025)	360,000	1号棟 調査
令和8年度 (2026)	362,500	貯炭ベルトコンベア 実施設計
令和9年度 (2027)	604,200	貯炭ベルトコンベア 工事
合 計	2,641,700	

3 令和5年度事業内容

(1) 第3竖坑捲座跡整備工事及び指導助言 109,500千円

明治期の石炭生産施設で、世界遺産の顕著な普遍的価値に貢献する要素である第3竖坑捲座跡の補強工事及び隣接する鉄筋コンクリート構造物(総合事務所)の2階部分の防水工事等を行う。

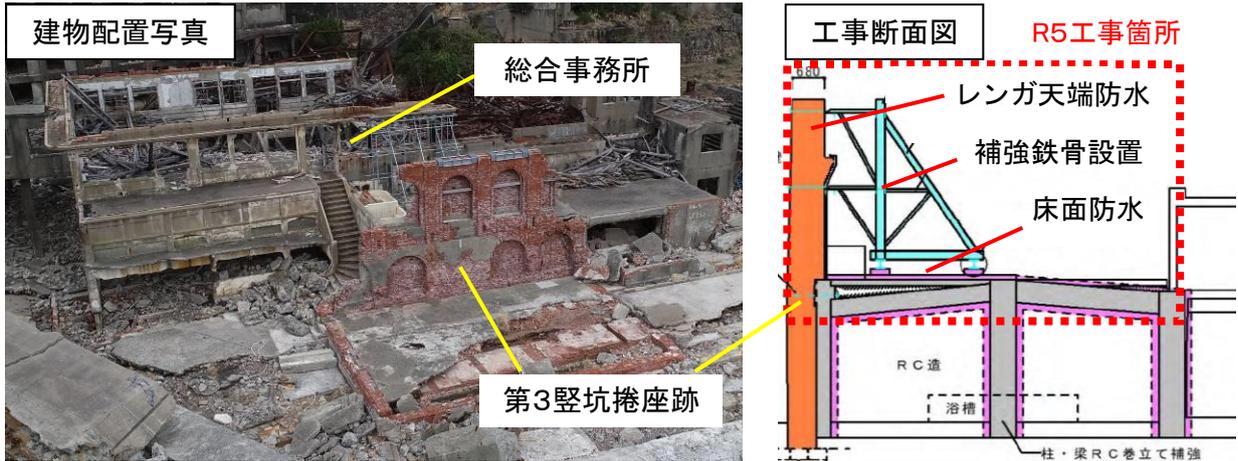
ア 構造物概要 明治29年(1896年)建設、煉瓦造2階建

竖坑櫓直下の垂直坑道において、人や石炭を運ぶケージ(エレベータ)を昇降するためのワイヤーロープを捲く機械を格納した小屋、昭和7年以降は資材倉庫に転用された。

イ 整備計画

事業内容	R1	R2	R3	R4	R5
現況調査	←→				
基本設計		←→			
実施設計			←→		
整備工事(I期) 煉瓦の補充、総合事務所棟1階補強				←→	
整備工事(II期) 煉瓦鉄骨補強、総合事務所2階防水					←→● 【整備完了】

ウ 現況写真等



4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
109,500	54,750	50	54,700	—	—

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率:1/2

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率:国庫補助金を除き、地方債充当に係る交付税措置相当額を除く負担額の2/5以内

※3 過疎対策事業債 充当率:100%(交付税措置率 70%)

5 端島炭坑整備計画

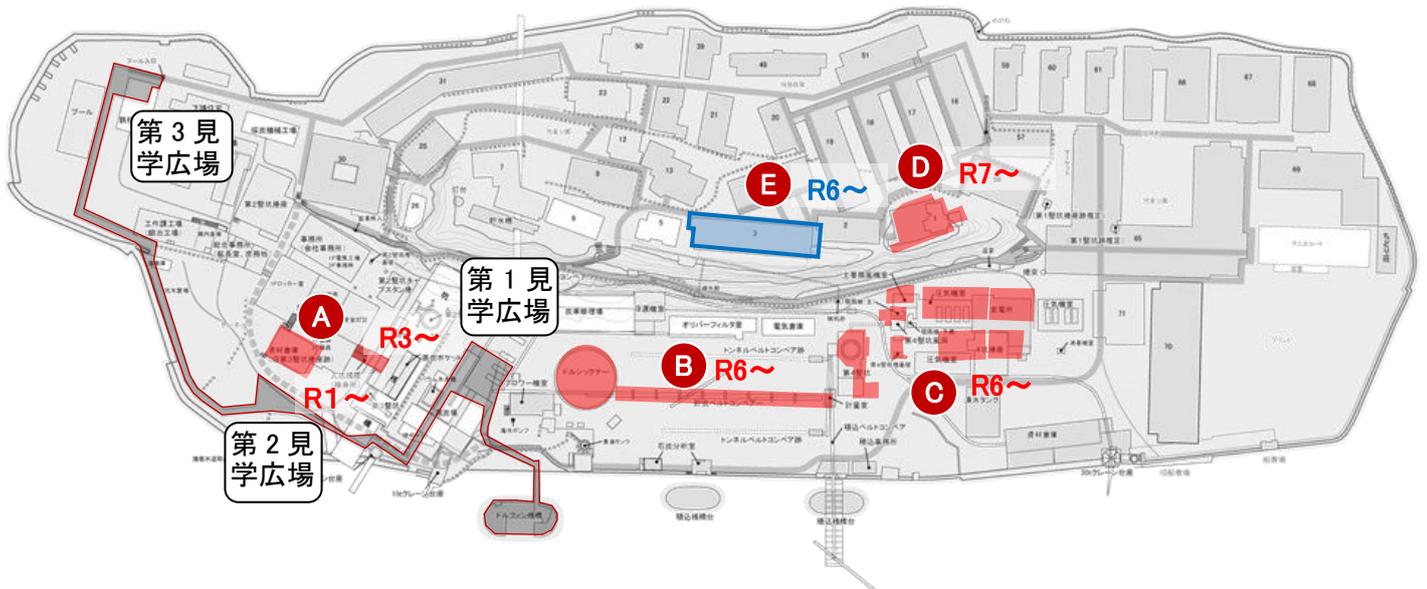
端島炭坑は、「整備基本計画」に基づき、国や県の補助を受けて整備を行うこととしている。整備計画では、端島炭坑の構成要素である「護岸遺構」「擁壁遺構」「生産施設遺構」「居住施設遺構」を対象として、平成30年度(2018)から30年間にわたって優先順位をつけて整備を行うこととしており、全体事業費約110億円を想定しているが、進捗状況や財政状況、研究成果等を踏まえ10年毎(次回、令和9年(2027))に見直す。

【30年間の内訳】総事業費 110億3,000万円

ア.護岸の整備	40.2億円
イ.擁壁の整備	7.5億円
ウ.生産施設の整備	38.7億円
エ.工事用通路・見学通路等の整備	6.8億円
オ.居住施設の維持のための整備	17.1億円
合計	110.3億円

【継続費の内訳】総事業費 26億4,170万円

ア.擁壁の整備	804万円
イ.生産施設の整備	19億6,831万円
ウ.居住施設の整備	4億3,475万円
エ.その他調査など	2億3,060万円
合計	26億4,170万円



平成30年に設定した継続費による10年間の整備予定位置

「生産施設遺構」は、産業システムを理解するうえで重要な遺構であり、世界遺産の要素の維持を優先し(A)→(B)→(C)→(D)の順番で整備していく。

「居住施設遺構」は、端島の景観形成に貢献し、劣化度が低い建築物が補修の延命効果を見込むことから、(E)の3号棟から整備する。

●継続費(平成 30～令和 9 年度)を設定している事業

位置	優先的に修復する施設	優先順位が高い理由	写真	整備予定時期	予算計画
①	第3竖坑捲座跡 入坑棧橋	明治期の生産施設遺構および鉱員が入出坑する姿をイメージできる遺構	 第3竖坑捲座跡	R1～R5	R5 予算 (完成予定)
			 入坑棧橋	R3～R7	計上なし (国補助内示 0 円のため)
②	ドルシクナー 貯炭ベルトコンベア 積込ベルトコンベア	選炭・貯炭・積込という石炭運搬の流れが理解できる遺構	 ドルシクナー	R6～	—
③	第4竖坑 檣基礎 第4竖坑捲座跡 変電所 圧気機室(大、小) 主要扇風機室 第4竖坑風洞	地上部における石炭の採掘システムが理解できる遺構	 変電所(手前右)他	R6～	—
④	1号棟	労使協調の下に作業の安全を祈願した施設であり、産業景観の形成にも貢献している遺構	 1号棟(神社)	R7～	—
⑤	3号棟	軍艦をイメージさせる景観の形成に貢献し、かつ代表的な居住施設の遺構	 3号棟(居住施設)	R6～	—

—	事業	実施時期
1	定点カメラによる資産のモニタリング調査	H30～継続中
2	樹木等伐採	H30～継続中
3	石積カルテ作成	H30 完了
4	端島炭坑跡遺構状況記録調査(島全体)	R1 完了
5	石積変位計測調査	R7 予定

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
134 ? 135	2 総務費	1 総務 管理費	22 世界遺産 推進費	3-1	【補助】世界遺産保存整備事業費 補助金 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン 関連遺産」	千円 66,762

1 概 要

平成 30 年に世界遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の関連資産である重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の重要な構成要素を適切に保存管理するため、所有者が実施する整備事業に対する補助を行うもの。

2 事業内容

(1) 大平作業場跡整備事業 補助額:58,764千円

重要文化的景観の重要な構成要素かつ市指定史跡である大平作業場跡(民間団体所有)の整備事業に対する補助

ア 事業内容 大平作業場跡活用施設整備工事及び工事監理(Ⅲ期)

イ 事業費内訳 総事業費:71,230千円

ウ 補助率 82.5%

市補助:58,764千円(82.5%) 所有者負担:12,466千円(17.5%)

(市補助内訳)

国補助(65%)	県補助(14%)	市補助(21%)
38,196千円	8,227千円	12,341千円

エ 事業計画

事業内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5
基本設計・実施設計	←→					
石垣修理工事等		←→				
実施設計修正(台風被害)			←→			
整備工事(Ⅰ期) 躯体工事他				←→		
整備工事(Ⅱ期) 屋根工事他					←→	
整備工事(Ⅲ期) 石積み補強、建具、照明他						←→● 【整備完了】 →公開活用

(2) 石積み(ネリベイ)建物整備事業 補助額:7,998千円

重要文化的景観の重要な構成要素である石積み(ネリベイ)建物(個人所有)の整備事業に対する補助

ア 事業内容 石積み(ネリベイ)建物整備工事及び工事監理(Ⅱ期)

イ 事業費内訳 総事業費:9,695千円

ウ 補助率 82.5%

市補助:7,998千円(82.5%) 所有者負担:1,697千円(17.5%)

(市補助内訳)

国補助(65%)	県補助(14%)	市補助(21%)
5,199千円	1,119千円	1,680千円

工 事業計画

事業内容	R1	R2	R3	R4	R5
基本設計	←→				
実施設計		←→			
整備工事(Ⅰ期) 屋根解体・撤去、鉄骨補強他				←→	
整備工事(Ⅱ期) 屋根復旧、建具・外構工事他					←→● 【整備完了】 →公開活用

3 財源内訳

総事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳				事業者 負担額 ①-②
		国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	一般財源	
千円 80,925	千円 66,762	千円 43,395	千円 9,346	千円 14,000	千円 21	千円 14,163

総事業費の
82.5%

(100%)

(65%)

(14%)

(21%)

総事業費の
17.5%

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助 補助率65%

※2 指定文化財等保存整備事業 補助率14%

※3 過疎対策事業債 充当率100%(交付税措置率 70%)

4 位置図



5 補助対象事業に係る現況写真等

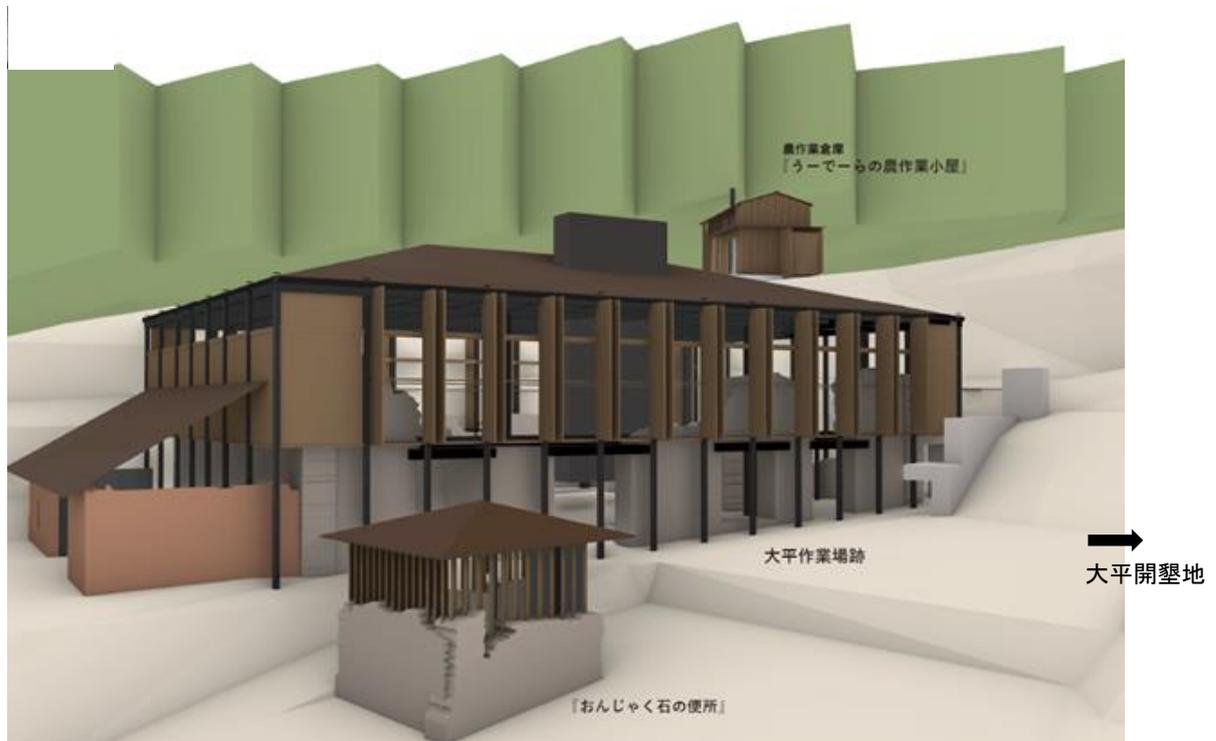
(1) 大平作業場跡整備事業



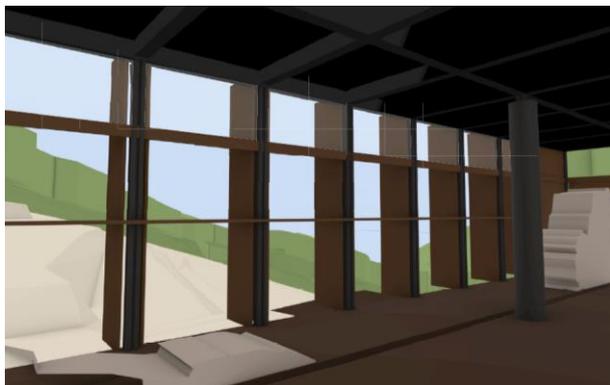
整備工事前の状況



現在の状況(令和4年撮影)



大平作業場跡活用施設 完成予想図(南東方向から)



大平作業場跡活用施設 完成予想図
(見学ブリッジから大平開墾地を望む)



大平開墾地(令和4年度末整備完了予定)
活用イメージ(お茶摘み体験)

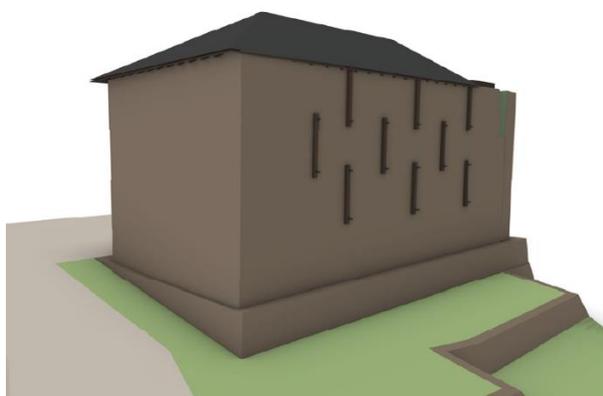
(2) 石積み(ネリベイ)建物整備事業



整備工事前の状況



現在の状況(令和4年撮影)



石積み(ネリベイ)建物 完成予想図

宿泊税の活用について

1 概要

都市の魅力を高め、国内外の人々の来訪及び交流を促進するとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てることを目的とし、令和5年4月1日から宿泊税を導入する。

宿泊税は、「訪問客への還元」を方針とし、「利便性」「満足度」「再訪意欲」の向上につながる事業に活用することとしており、使途の分類である「5つの柱」(宿泊税賦課費を除く)に基づき、①から⑤の順位で充当する。

- ① サービス向上・消費拡大
- ② 情報提供
- ③ 受入環境整備
- ④ 資源磨き
- ⑤ 緊急時の対応

2 宿泊税の使途の分類

①サービス向上・消費拡大
サービス向上により、訪問客の滞在時間や消費機会が拡大することで満足度の向上につながる事業として、主に長崎ならではの朝型・夜型の体験コンテンツの充実に取り組む。
②情報提供
ICTなどを活用し、訪問客が求める情報を適時提供し満足度の向上に繋げる事業として、主にワンストップの情報提供に取り組む。
③受入環境整備
施設等の受入れ環境を整え、訪問客の利便性や満足度の向上に繋がる事業として、「観光案内所運営」や「無線 LAN」などの整備に取り組む。
④資源磨き
資源の磨き上げや施設の利活用により、訪問客の満足度を向上させる事業として、主に観光施設のライトアップ整備やユニークベニューの利活用支援事業に取り組む。
⑤緊急時の対応等
基金を積み立て、その基金を国内外の人々の交流を促進し、観光需要の回復及び喚起を図るための事業(観光キャンペーン等)に充当する。
●宿泊税賦課費
宿泊税周知に係る広告費や賦課システム等に要する費用に充当する。

3 令和5年度の宿泊税活用事業

宿泊税充当額 372,337 千円

①サービス向上・消費拡大	53,395 千円 (事業費 94,146 千円)
○観光地域づくり推進費	45,950(46,855)
・サステナブルツーリズムの提供	13,618
・体験商品・長崎グルメ情報の提供	22,045
・店舗情報の充実(Google Business Profile の活用)	10,287
○長崎さるく推進費	2,348(37,095)
・長崎さるくの情報発信、ガイド研修	
○ナイトタイムエコノミー推進費	5,097(10,196)
②情報提供	141,633 千円 (事業費 203,924 千円)
○観光地域づくり推進費	139,078(178,997)
・観光ワンストップサイトにおける情報提供	30,391
・デジタル広告等による訴求プロモーション	108,687
○シーボルト来日 200 周年記念事業費	2,055(20,163)
・記念事業における広報プロモーション	
○世界・日本新三大夜景推進費	500(4,764)
・日本新三大夜景情報発信	
③受入環境整備	44,193 千円 (事業費 136,123 千円)
○観光地域づくり推進費	32,601(68,074)
・市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成	29,126
・MICE 向けコンテンツの充実	3,475
○世界遺産保存整備事業費「明治日本の産業革命遺産」	
・グラバー園 旧三菱第2ドックハウス(世界遺産ガイダンス施設) デジタル映像導入等による展示リニューアル	1,850(35,500)
○総合観光案内所運営費	9,742(32,549)
⑤緊急時の対応等	111,312 千円
○観光交流基金積立金	
●宿泊税賦課費	21,804 千円 (事業費 21,816 千円)
○宿泊税周知に係る広告費や賦課システム等	

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
226 } 227	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-2	観光地域づくり推進費	千円 293,926

1 概 要

長崎市の観光まちづくりのパートナーである DMO において、多様な関係者と連携しながら、地域資源を活かした魅力づくりを行うとともに、各種データの継続的な収集・分析に基づく戦略の策定と検証を行うことで戦略的に観光客や MICE の誘致・受入を推進し、地域経済の活性化につなげるもの。

<長崎市 DMO 第 1 期中期目標と長崎市 DMO 事業計画>



2 事業内容

(1) 委託先 一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会
(平成 30 年 3 月 30 日 DMO 法人 (観光地域づくり法人) に登録)

(2) 「長崎市 DMO 第 1 期中期目標」

長崎市観光・MICE 戦略の計画期間内に、市が DMO に求める成果・DMO が達成すべき目標を設定し、「選ばれる 21 世紀の交流都市」の実現に向けて、DMO が取組む事項を定めている。

第 4 「選ばれる 21 世紀の交流都市」の実現に向けて長崎市 DMO が取組む事項

- 1 資源磨きと魅力あるコンテンツの創造に関すること
- 2 安全安心・快適な滞在環境の整備に関すること
- 3 戦略的な魅力発信と誘致活動の推進に関すること
- 4 観光・MICE 関連産業の活性化に関すること

(3) DMO の具体的取組み 241,414 千円

中期目標	1 資源磨きと魅力あるコンテンツの創造に関すること (1) ストーリー性・テーマ性に富んだ魅力あるコンテンツへの磨き上げ
-------------	---

ア サステナブルツーリズムの推進 11,185 千円

コロナ禍の観光トレンドの変化も踏まえ、国連世界観光機関 (UNWTO) や日本政府観光局 (JNTO) において強化しているサステナブルツーリズムについて、長崎市においても持続可能な観光地域づくりを目指す。

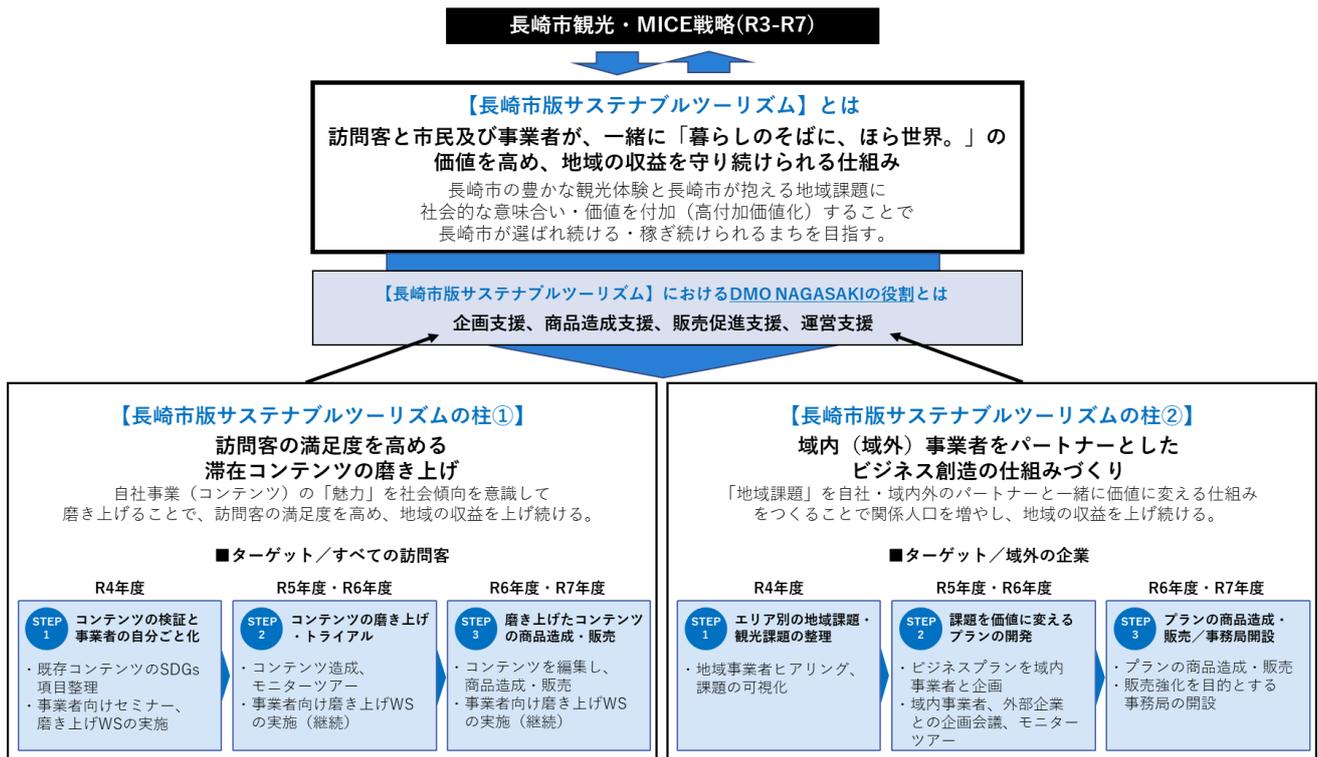
令和 4 年度で実施した「長崎市版サステナブルツーリズム」推進事業の 2 年目として、戦略設計に基づき、企画、ブランディング、モデル検証、販売計画、テストマーケティングを実施し、訪問客に観光マスターブランド「暮らしのそばに、ほら世界。」の世界観を感じてもらえるような高付加価値体験や、地域課題の解決をビジネスチャンスにつなげる仕組みを構築する。

体験コンテンツについては SDGs の観点から付加価値を高める磨き上げを行うとともに、食についても、飲食店等における地産地消の取組みを可視化し、アレルギーやベジタリアンなど多様な食のニーズへの対応強化を図ることで、長崎の食の魅力向上を目指す。

【令和 4 年度実施 (予定含む)】

- 長崎市内滞在コンテンツと SDGs17 の項目の関連性調査
- 「サステナブルな視点で訪問客の体験価値を高めビジネスチャンスを創出する」セミナーの開催
- 長崎市版サステナブルツーリズムの考え方を共有するワークショップの開催
→ 令和 4 年度の着地点として、「長崎市版サステナブルツーリズム」を定義 (概念の共有) し、磨き上げのテーマを策定

【取組みのイメージ】



イ 朝たび・夜たびの取組み（自主事業）

コロナ禍における宿泊事業者の朝食提供方法見直しを契機に、長崎らしさを味わえる朝食の提供を行う泊食分離の取組みと、朝の体験型コンテンツを組み合わせた宿泊プランを造成・販売し、令和3年度から対象エリアと参画事業者を拡大するなどプランの磨き上げを行っている。さらに、令和4年度からは、消費の更なる拡大を目指すため、夜のプランを開始した。

今後は、インバウンド向けの着地型商品としても拡大するとともに、事業者間の連携を促進し、予約なしでも購入できる商品として磨き上げを図る。

中期目標	2 安全安心・快適な滞在環境の整備に関すること (1) 安全安心な滞在環境づくり (2) 快適な滞在環境づくり
-------------	---

ア 「team NAGASAKI SAFETY」の取組みの発信（自主事業）

「team NAGASAKI SAFETY」の取組みである各施設の新型コロナウイルスをはじめとした感染症予防対策など、安全安心に関する情報を発信する。

イ 着地情報の発信 17,260 千円

掲載内容を刷新した新・長崎市観光マップ（日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語）を制作し、旅ナカにおける情報発信を強化する。

- (ア) 着地型観光マップの作成 15,389千円
(日本語、英語、韓国語、繁体字、簡体字)
- (イ) AIチャットボット利用 1,871千円



中期目標	<p>3 戦略的な魅力発信と誘致活動の推進</p> <p>(1) 市場分析等に基づく戦略的な誘客・MICE 誘致の展開</p> <p>(2) 長崎ブランドの確立と効果的なプロモーションの推進</p> <p>(3) DMO を中心としたワンストップの誘客・MICE 誘致</p>
-------------	--

ア 観光動向調査 29,136千円

マーケティング活動の中で発生する課題（企画・実行・効果検証）に対し、観光客、MICE 参加者・主催者、市民、事業者を対象とした調査やビッグデータの収集など、様々な手法を用いて幅広く調査・分析を行う。



(ア) 包括的マーケティングリサーチ	21,383 千円
● 市場調査	
・ ブランド調査 (ブランド認知度・想起率、シーズンプロモーション効果測定等)	
・ コンテンツ・ターゲット調査 (例: 消費者インサイト調査分析)	
● 来訪者調査 (アンケートによる観光動向調査 (日本人、外国人))	
● MICE 調査 (主催者・参加者調査)	
● 事業者調査 (観光・MICE 関連事業者調査、受入水準調査)	
● 市民調査 (おもてなし、観光・MICE 参加意向調査)	
● マンスリーレポート等の発行	
(イ) ビッグデータの購入・利用 (モバイル空間統計、DS. INSIGHT)	2,420 千円
(ウ) データ分析ツール (Tableau) の使用	240 千円
(エ) イベント実施に伴う調査・分析	4,132 千円
(オ) 秋期・春期国道交通量・発地調査	961 千円

イ 観光マスターブランドの浸透・認知拡大 (域外向け) 11,140 千円

観光マスターブランドを中核に一貫性のある誘致戦略を本格化させるため、中長期的な視点で本質的価値を伝え続けることで、各プロモーションやセールス効果を最大化させ、想起率や訪問意欲度を高めていく。

(ア) 全国交通機関とのタイアップ	3,097 千円
(イ) ブランドコミュニケーション記事制作	4,848 千円
(ウ) ブランド訴求グッズの制作	2,195 千円
(エ) その他・関係者等との協議	1,000 千円

ウ 観光ワンストップサイトの運用 30,131 千円

これまで一方通行の発信だけであった「あっ!とながさき」から、令和4年9月に「travel nagasaki」にリニューアルオープンし、DMOからの発信だけではなく、事業者の観光情報や訪問客からクチコミなどの情報をワンストップで収集し、適切に発信するとともに、取得したマーケティングデータを新たな戦略に活用するなど、観光のDX化を推進している。さらに、長崎の魅力を発信するための各種サイトを集約し、訪問客の滞在時間と消費の拡大につなげる。

(ア) 長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」	13,821 千円
(イ) 体験商品予約・販売サイト「play nagasaki」	12,496 千円
● 日本語版ページ・多言語版ページ (英・韓・繁・簡) 保守管理	
● 域内イベント情報サイト (井戸端パーティーと調整中) との連携	
● WEB マガジン「PLAY MAG」記事制作	
(ウ) グルメサイト「ナガサキ飯」保守管理	3,210 千円
(エ) 修学旅行ページ保守管理	604 千円

エ 国内観光客誘致プロモーション

58,581 千円

今後も拡大する観光ニーズを捉え、主に Z 世代、クリエイティブクラス層を継続してターゲットに設定し、観光マスターブランドを軸に大都市圏へのブランド訴求、及び岡山以西の拠点都市（特に北部九州）においては、新幹線開業により物理的・心理的にも近づいたことを継続して訴求し、誘客と消費の拡大に繋がるようクロスプロモーションを行う。

メイン ターゲット	2023年(令和5年)									2024年(令和6年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	春シーズン			夏シーズン			秋シーズン			冬シーズン		
	観光マスターブランド 訴求											
【属性】	夏プロモーション デジタル広告中心			秋プロモーション デジタル広告中心			冬プロモーション デジタル広告中心			春プロモーション デジタル広告中心		
・クリエイティブ クラス	通年でデジタル広告運用											
・Z世代	SNSを活用した情報発信											
【エリア】	食 / 歴史・文化 / 体験 / 夜景・景観 / 恐竜博物館などのコンテンツ訴求											
・大都市圏	通年で宣伝素材制作及びコンテンツ追加/更新											
・福岡・九州北部	帆船まつり PR強化						ランタンフェスティバル PR強化					
・広島、岡山	屋外/交通広告											
	ライフスタイル系メディア掲載											

<ターゲット層ごとのプロモーション手法>

ターゲット層	知識層 (クリエイティブクラス)	富裕層	ジェネレーション Z
年齢、性別等の基礎情報に加え、関心事や行動履歴から、ユーザーを選定	25～35歳の芸術、観光、グルメ、歴史、ライフスタイルなどに興味関心を持つ世帯年収500万円以上の方	学士号・博士号を持つ30歳以上で、観光、高級ホテル、旅行に興味関心を持つ世帯年収1,500万円以上の方	18～27歳の長崎市、観光、旅行に興味関心を持つ方
全体の方向性	<p>■ターゲットと訴求の内容に応じ、デジタルとリアルを最適に掛け合わせるクロスメディアプロモーションを行うことで、旅先として長崎を認知させ、誘客への行動変容を起こす導線設計を行う。</p> <p>① WEB・SNS「travel nagasaki」を活用し、シーズン性を捉えた記事制作と掲載を行う。 観光マスターブランドを軸とし、世界新三大夜景、2つの世界遺産、魚（特にフグ）を中心としたグルメ、長崎のもぎき恐竜パーク、暮らすように旅する歴史・文化・自然体験などを紹介する。また、体験、グルメの各サイトへリンクさせ、消費拡大に繋げる。</p> <p>② ターゲットや旅行スタイルなどのニーズに応じた広告の制作や取材の対応を行う。</p> <p>③ ディスプレイ広告、検索連動広告、動画広告として下記媒体を中心に投稿、travel nagasaki 掲載の各記事に誘導する。（Google、Yahoo!、Instagram、YouTube、その他 OTA 等）</p>		

		知識層 (クリエイティブクラス)	富裕層	ジェネレーション Z
WEB 広告	広告媒体	Google、Yahoo!		Instagram、YouTube
		ディスプレイ広告	検索連動広告	動画広告
		認知獲得・拡大	行動喚起	共感の創出
広告の 使い分け	旅先が決まっていない、 長崎認知が低い人に。	旅先として「長崎」を想 起したことがある人に。	SNS ネイティブであり “映え”や“自分らしさ”を 大切にする人に。	
広告の 方向性	歴史、文化、グルメ、体 験、ワーケーションなど が写真などで表現され 端的で分かりやすく来 崎のきっかけになる内 容	家族旅行や女子旅など 旅のスタイルや休暇の 過ごし方提案及びグレ ード感やローカル性が 高い食や体験を提案し、 行動を喚起できる内容	夜景、都市景観、カフェ、 スイーツ、昭和レトロ、 パワースポットなどタ ーゲット自らが見たい、 体験したいと思わせる 内容	
シ ー ズ ン プ ロ モ ー シ ョ ン	広告媒体 と 方向性	■ローカル誌 きめ細かくまちの魅力や事業者情報を取材。特集記事を制作し掲載する。この記事を起点として「travel nagasaki」サイトやアカウントにも連動掲載（公開）し行動喚起に繋げる。		
		■ライフスタイル系全国誌 編集テーマや特集を活用し、ローカル性を掛け合わせた取材記事を掲載させる。これらを域外のターゲットの長崎への憧憬と認知の獲得、拡大に繋げる。		
		■メディア招聘 ターゲットの様々なニーズを満たす各メディア（誌面・WEBメディア等）を招聘し、趣味嗜好とまちや事業者とのマッチングを図る記事を制作掲載（公開）させる。これらを域外のターゲットの長崎への憧憬と認知の獲得、拡大に繋げる。		

(ア) WEB 広告

23,016 千円

Google、Yahoo!、Instagram など各種 WEB 媒体において、認知を獲得するバナー広告、動画広告と、訪問意欲を持つ人に訴求できる検索連動型広告を併用し、旅マエから旅ナカに至る動線に出稿する。

- 静止画広告（Google、Instagram を想定）
- 動画広告（YouTube、Instagram を想定）
- 検索連動型広告（Google、Yahoo! を想定）
- OTA 広告（楽天を想定）
- 広告クリエイティブ、コピー制作

(イ) シーズンプロモーション

21,183 千円

年間を通じて長崎市の多面的で重層的な魅力の浸透を図るとともに、長崎ならではの楽しみ方を紹介する。WEB プロモーションでは、「travel nagasaki」をハブに取材記事を公開、リアルプロモーションでは、ライフスタイル系全国誌への出稿のほか、ターゲットに親和性が高いメディアを招聘するなど、特集記事を掲載する。

- ローカル誌への特集記事掲載
→ 「travel nagasaki」（WEB、Instagram）への展開
- ライフスタイル系全国誌への出稿
- メディア招聘

- (ウ) グルメサイト情報発信施策 2,400 千円
 グルメサイト「ナガサキ飯」をハブとして、さしみシティとの連携、長崎市ならではの食の楽しみ方や利用シーンに応じた WEB マガジン仕立ての特集記事（4 回）を制作・配信する。
- (エ) 観光ポスター印刷 682 千円
- (オ) パンフレット等の管理・発送 3,064 千円
- (カ) その他（セールス、リーフレット作成等） 8,236 千円
- オ インバウンドプロモーション 17,282 千円
 外国人訪問客にもわかりやすく、長崎らしさを感じられるストーリー性のある体験コンテンツや旅の過ごし方を訴求するためのデジタルプロモーションを行う。
- (ア) 多言語 WEB サイト連携 3,510 千円
 長崎市の公式観光サイト「travel nagasaki」とデータ連携している多言語版の長崎県公式サイト「DISCOVER NAGASAKI」における掲載情報の充実を図る。日本人向けコンテンツを外国人向けに再編集し、長崎の魅力を訴求する。さらに、外国人向けのモデルコースを新規作成し、魅力の発信を強化する。
- (イ) 台湾向けプロモーション 3,268 千円
 モデルコースを作成し、台湾・香港向けの日本観光情報サイト「樂吃購（ラーチーゴー）」を用いた情報発信を行う
- (ウ) 欧州・豪州向けプロモーション 2,576 千円
 福岡市、熊本市等と連携し、2023 年の世界水泳開催を契機に、福岡・九州を訪れる方に対し、長崎の魅力を発信する WEB プロモーションを強化する。
- (エ) その他（セールス、翻訳・海外への資料発送等） 7,928 千円
- カ MICE 誘致プロモーション 18,048 千円
 市及び株式会社ながさき MICE と連携し、MICE 開催地として長崎の魅力を高め、セールス情報を共有しながら、長崎市全体への誘致を促進する。
 MICE 情報管理システムを活用して得られた長崎での開催可能性の高いターゲットをリストアップし、セールスを実施する。
- (ア) 商談会参加、首都圏セールス 14,058 千円
- (イ) キーパーソン受入れ 1,971 千円
- (ウ) JCCB^{※1}、ICCA^{※2} 年会費等 2,019 千円
 ※1 JCCB・・・日本コンgres・コンベンション・ビューロー
 ※2 ICCA・・・国際会議協会

キ 修学旅行誘致プロモーション

13,425 千円

新規校の獲得に加え、コロナ禍により、海外や沖縄から長崎に振り替えられた学校に今後も継続して来ていただくことを重点項目として誘致を強化する。

また、キラークンテンツである平和学習を主軸に、総合的な滞在プランを提案するとともに、宿泊事業者や旅行会社とのヒアリング結果から、修学旅行リピート校においても、長崎の体験プログラムが十分に知られていないことが分かったため、情報の集約と発信に注力する。

(ア) メディア・視察の招聘

3,571 千円

修学旅行専門誌や旅行会社などを招聘し、長崎の魅力を知っていただくことで、誘致につなげていく。

(イ) 修学旅行プランニングガイドの作成 (5,000 部)

3,021 千円

(ウ) 事業者向け研修

743 千円

修学旅行における現状と経済効果を地元事業者に知っていただく機会を提供し、ビジネスチャンスの創出とさらなる受入環境の構築につなげる。

(エ) その他 (セールス、資料発送、修学旅行関連団体年会費等)

6,090 千円

中期目標	<p>4 観光・MICE 関連産業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none">(1) DMO を中心とした観光まちづくりの推進体制の充実(2) 民間事業者の稼ぐ力の向上(3) まち MICE プロジェクトの推進
-------------	--

ア 長崎市観光まちづくりネットワーク (仮称) の活性化 13,336 千円

観光・MICE 産業を取り巻く多様な事業者が、「長崎市観光・MICE 戦略」が目指す観光まちづくりの方向性に共感し、能動的にな相互連携し、共創によって成長し続けることを目的にネットワークを形成する。

DMO と事業者 (地域)、また、事業者 (地域) 同士が連携し、商品やサービスの魅力向上や高付加価値化、ビジネスチャンスの創出などに持続的に取り組むことで、変化する市場ニーズに対応していく。

将来的には、長崎 MICE 事業者ネットワークも本ネットワークに取り込むことで、観光・MICE 全般に対する消費拡大を促進していきたい。

「長崎市観光まちづくりネットワーク」とは？

長崎市の観光まちづくりに携わる事業者の皆さまの、

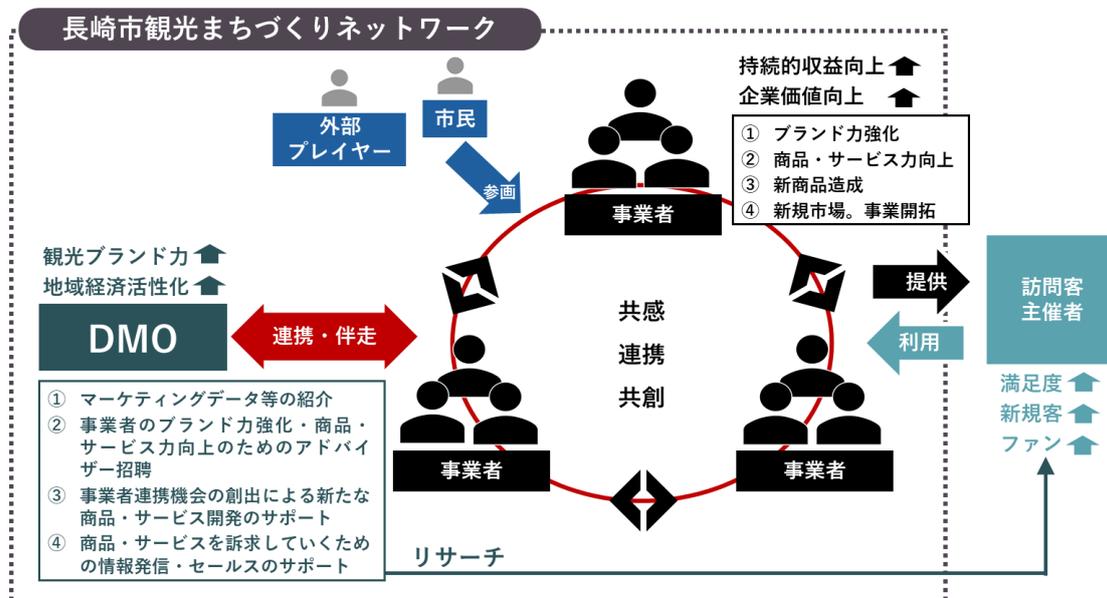
- ① **ビジネスチャンス拡大**
- ② **取引先の拡大**
- ③ **スキルアップ**

を目指すネットワークです。

参加無料で、業種や事業規模に関わらずどなたでも参加いただけます。

【令和5年度の取組み】

- 事業者それぞれのビジネスチャンスに繋がる情報発信
- セミナーの開催
- ネットワーク会員事業者の連携を深める意見交換会の実施



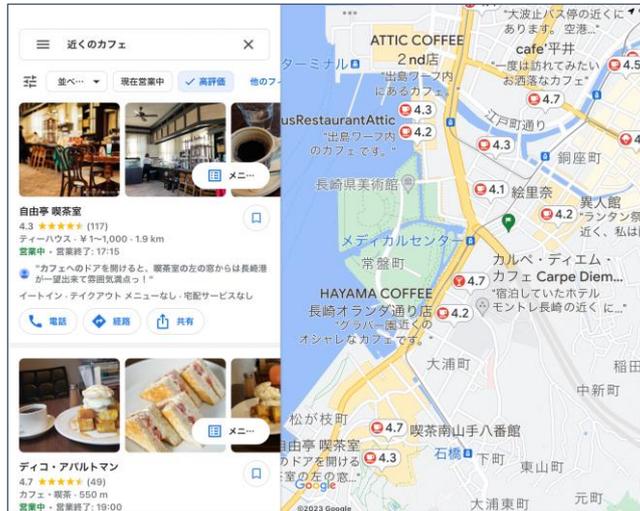
	R5 会員限定WEBページ完成	R6 WEBの機能活性化	R7 企業間コミュニティの組成
	観光まちづくりに積極的な事業者(プレイヤー)に有益な情報を届けるための基盤をつくる	観光まちづくりに積極的な事業者(プレイヤー)の輪が広がるためのコンテンツや施策の拡充を図る	事業者やプレイヤーが連携してビジネスチャンスを得られる環境と機会をつくる
	【登録者】 DMOの活動にアクティブな市内事業者の登録	【登録者】 DMOの活動にアクティブな市内事業者と取り組みに関心をもった市内事業者	【登録者】 DMOの活動にアクティブな市内事業者と取り組みに関心をもった市内事業者 + 域外プレイヤー
	【重点】 活動熱心な事業者が必要とする情報を伝わりやすく届ける	【重点】 事業者が主体となった活動の支援を行いその活動内容をシェアする	【重点】 事業者側がサイトを使って発信・活動するための支援をする
活性化施策	会員メリットの訴求 ・訪問・MICE情報掲示板機能 ・行政情報(補助金、制度の新規・廃止など) ・事業の役に立つ情報(ワークショップ場所、企業交流会など) 直近のDMO活動報告・イベント参加募集 ・セミナー・ワークショップの意図と内容 登録事業者の簡単な紹介 ・登録事業者のプロフィール	事業者の活動・意思が伝わる記事 ・事業者インタビュー記事 ・事業者の取り組み紹介 DMO×事業者での取り組みや成功事例の紹介 ・協業で行っている活動の共有(プロセス等)	事業者の投稿機能 ・事業者用の投稿フォーム→DMO確認→投稿 ・グループとチャット機能 DMO×事業者での取り組みや成功事例の紹介 ・協業で行っている活動の共有(プロセス等)
	DMOが主体となったセミナーの開催 ・DMOが主体となったセミナー・WSの実施 事業者との意見交換会の実施	事業者が主体となったイベント開催支援 ・コアな事業者が主体となったイベント開催 サイトのオフライン説明会 外部プレイヤーとの接点をつくるためのアイデアコンテストの開催 ・事業支援につながるイベントの実施	事業者が主体となったイベント開催支援 ・コアな事業者が主体となったイベント開催 事業者投稿を起点としたイベント創出 ・事業者が実現したいことを支援する企画 定期的なワーキング活動 ・課題テーマ別でのチームづくり
KPI	アクティブ事業者の登録数	登録者数・閲覧数・事業支援数	KPIは登録者数・閲覧数・事業者の投稿数・事業支援数

イ 消費拡大に向けたクチコミ強化

8,449千円

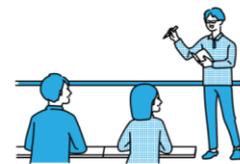
旅ナカの消費行動においてはスマートフォンの普及に伴い「クチコミ」が重視されるようになったことから、市内事業者に無料で登録が可能な Google ビジネスプロフィールの活用を促すことで「クチコミ」対策を強化し、飲食等の消費拡大につなげる。

- セミナーの開催
- 登録サポート支援（登録マニュアル作成、配布、個別説明会等）
- 登録事業者への効果検証調査



STEP 1 事業者向けGoogleビジネスプロフィールへの登録啓蒙セミナーの実施

インバウンドも含めた国内外の口コミ対策や受入強化施策として Googleビジネスプロフィール登録の重要性を説くセミナーを開催



STEP 2 Googleビジネスプロフィールへ事業者の自主的な登録

訪問者 → 旅ナカの口コミなどによる店舗、コンテンツ選定
 事業者 → 旅ナカにおけるビジネスチャンス拡大



ウ 観光マスターブランドの浸透・認知拡大（域内向け） 10,587千円

長崎市観光マスターブランドの構築背景や策定のプロセス、コンセプトなど、市民や市内事業者へのブランドの浸透・理解促進を図り、ビジネスにおける活用を促す。

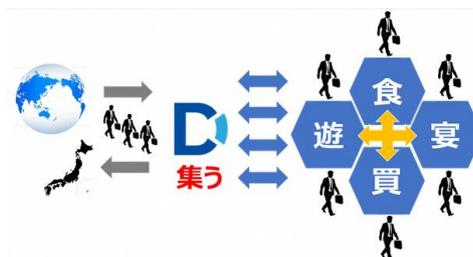
- (ア) アクションプランの策定 4,106千円
 令和5年から令和7年（DMO 事業計画後期3カ年）をブランド浸透強化期間とし、特に市内事業者や市民へのインナーブランディングの浸透に取り組むためアクションプランを策定し、PDCA を実行していく。
- (イ) JR 長崎駅コンコースサイネージへの掲示 2,327千円
- (ウ) ローカル交通機関とのタイアップ 1,927千円
- (エ) 「長崎のふつうは世間のふしぎ展」の開催 2,227千円

エ まち MICE の取組み（回遊促進のためのチラシ等の作成）

2,854 千円

これまで、市有施設のユニークベニューとしての活用促進や MICE 参加者向け体験コンテンツの造成に取り組んできた。今後は、MICE 主催者へ具体的に提案していくことで、まちなかに人を呼び込み、滞在時間と消費を拡大させることで、MICE 開催の効果をまち全体に波及させる。

また、地元事業者へ MICE 開催情報の提供を行う。



オ 長崎 MICE 事業者ネットワーク（事務局：自主事業）

地元事業者が相互に連携することで、MICE 業務の受注拡大を図り、地域活性化等に繋げていく。

（4）管理費・消費税

52,512 千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 293,926	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 293,926

4 事業実施の必要性とその効果

（1）必要性

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、旅行形態や安全・安心に対する考え方が大きく変化している。そのような中、交流人口の拡大による地方創生を実現するためには、DMO が舵取り役となって、旅行者のマーケットに柔軟かつ的確に対応するとともに、地域の多様な関係者と連携して観光客や MICE の誘致・受入を推進し、地域経済の活性化につなげる必要がある。

（2）効果

ア 継続したデータ収集・分析等により、訪問客のニーズを客観的に把握することで、コロナ禍における事業計画を適宜見直しながら戦略的な事業実施が可能となる。

イ 多様な関係者と戦略を共有し、効果的なプロモーション・セールスを実施することで、訪問客の観光消費を促すとともに、域内調達率を高め、経済効果を地域に波及することができる。

ウ DMO が観光地域づくりの舵取り役を担うことで、観光地域づくりを継続的かつ効果的に実施することができる。

DMOの市場別事業計画

前期計画(R3~R4)			
取組みの課題	主な取組み	主な成果	
国内	<ul style="list-style-type: none"> ●ブランディングと運動した戦略的プロモーション ●多様化する旅行スタイルへの対応と宿泊客の誘引強化 ●訪問客の消費単価の向上 ●閑散期対策による年間を通じた訪問客の誘引 	<ul style="list-style-type: none"> ①長崎市観光マスターブランド構築 ②体験型コンテンツの充実とまち歩き観光「長崎さるく」のリニューアル ③通年型のデジタルプロモーションの実施 ④佐賀・長崎デザインセッションキャンペーンの実施 ⑤体験型コンテンツ予約販売サイト「play nagasaki」の構築 ⑥有償ガイド育成 ⑦公式観光サイトの全面リニューアルと運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ①ブランド検討委員会や市民向けワークショップを通じ、訪問客起点、地域起点、社会起点によるブランド(コンセプト、スローガン、シンボルマーク)を構築することができた。 ②WEBサイトを刷新し、各ガイド団体の商品の掲載、訪問客とのマッチングを促進。また、当日予約・事前決済を可能とし、旅ナカ行動変容の促しや利便性の向上に繋げた。 ③季節に応じた過ごし方や食の楽しみなどをターゲットに応じて表現を変えて伝えることで、ランディングページ内の滞在時間の増と興味関心の意欲向上に繋がった。 ④事務局、関係自治体、観光関係者が協力・連携し、観光資源や食などの魅力を専用サイトや全国主要駅等に設置したガイドブック等で発信したことで、機運醸成及び誘客促進に寄ることができた。 ⑤DX化を視野に入れたデータベースを構築でき、一部商品については、DMOのサイト内で予約・決済まで行える仕組みを整えた。 ⑥「長崎さるく」のリニューアルに伴い、既存ガイドのスキルやノウハウの活用を図りつつ、新規商品の造成やスキルアップの取組みを強化したことで、客数が増加した。(【R3:4~3月】2,375名、【R4:4~12月】5,075名で、12月末時点で昨年度年間に対し214%) ⑦現代のマーケットニーズに合わせた情報発信・コミュニケーションの仕組み(提案型、参加型)を導入した。
インバウンド	<ul style="list-style-type: none"> ●旅行先としての認知度向上と選ばれるためのブランドコミュニケーション ●長崎市の優位性が高い「欧米豪」と最大市場であるアジア主要国を中心とした誘致強化 ●宿泊率の向上と旅ナカ満足度の向上のための着地型コンテンツの造成と受入基盤強化 	<ul style="list-style-type: none"> ①体験型コンテンツの充実 ②広域連携デジタルプロモーション ③JNTOとの連携プロモーション ④インバウンド旅行セールス・商談会への参加 ⑤「team NAGASAKI SAFETY」の等、安全安心の受入態勢の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ①個人旅行者への対応強化も視野に、地域資源を活かした新たなコンテンツの造成や既存商品の高付加価値化などに取り組み、当日予約可能なコンテンツの充実を図ることができた(18商品)。 ②豪州向けに、北部九州の自治体等と連携し、在日外国人インフルエンサーを招聘し、九州ならではの食、自然、文化体験等についてWEB媒体による情報発信を行った。YouTube再生回数は目標達成率123%で、約4割が豪州に在住であり、魅力を効果的に訴求できた。また、個人旅行者向けのデジタルプロモーションでは、他都市よりもページ流入数が多く、目標達成率104%だった。 ③JNTOのグローバルサイトへのコンテンツ掲載、発信力の高い媒体を活用したWEBプロモーションが実施できた。 ④九州観光機構のオンライン商談会に参加し、在京のランドオペレーター社との商談や情報交換などにより、R6年度以降のインバウンド本格回復に向けた関係構築や市場動向を把握することができた。 ⑤国籍に関わらず、全ての訪問客が安心して滞在を楽しめるように、英語による情報発信も実施し、安全安心の観光を推進することができた。
MICE	<ul style="list-style-type: none"> ●経済効果が期待される学会や大会、会議等の戦略的誘致 ●展示会やイベントなどの開催促進 ●「まちMICE」による主催者・参加者双方の消費拡大・満足度向上のための受入体制強化 ●域内調達率向上に向けた事業者連携 ●コロナ禍・ニューノーマルでの継続的な市場開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ①DMOを中心とした誘致・受入態勢の確立 ②企画提案力の強化 ③セールスの強化 ④プロモーション ⑤ユニークベニュー、体験コンテンツの拡充 ⑥参加者向け飲食情報の発信強化 	<ul style="list-style-type: none"> ①ながさきMICE・市との定期的な情報交換と併せ、営業部の設置により誘致から開催まで一貫した支援体制が構築された。 ②セールスツールの充実等により、商談のきっかけや興味喚起の手法の幅が広がった。また、コンベンションビュロー機能や主催者へのヒアリング力が高まったことで、長崎MICE事業者ネットワークと連携して、主催者ニーズや大会・学会の開催趣旨に合わせた提案が行えるようになった。 ③大会・学会だけでなく、インセンティブツアーを対象とした営業活動を強化し、誘致に結びついた。 ④主催者の目にとまるよう、WEBや業界専門誌等の媒体を活用してプロモーションを展開したことで、主催者から問い合わせ案件が増加した。 ⑤継続した磨き上げにより、ユニークベニューは20施設、体験コンテンツについては33商品が整備された。 ⑥飲食店情報のデータベースを構築し、主催者を通じた情報発信を行うことで、参加者による飲食消費拡大につなげた。
修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> ●修学旅行先として選ばれるための付加価値の高い学習・体験プログラムの開発 ●満足度を高めるための受入態勢の強化 ●誘致実現のためのセールスプロモーションの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育ニーズに即したコンテンツ開発 ②ガイド育成 ③情報発信・セールスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ①デジタル技術を活用して「長崎平和ARアプリ」を開発し、学生たちが事前学習から能動的に平和学習に臨む機会を提供するなど、学習コンテンツの充実を図った。 ②「長崎SDGs平和ワークショップ」プログラムの造成に伴い、既存ガイドに加え、宿泊施設の若手スタッフも含め25人のガイドを育成した。平和ガイドとしての知識に加え、SDGsの意義、ファシリテーターとしてのスキルを高めた。 ③教育関係の専門誌に情報を掲載するとともに、旅行会社や学校関係者向けの営業を強化し、具体的な行程や滞在プランを提案したことで、旅行会社の理解促進や既存校の内容充実につながった。

調査・分析・結果	今後注視すべき要素	後期計画(R5~R7)	令和5年度の取組み
		方向性	誘致ターゲット・手法
<p>●市場動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅の本質的な目的が変化し、「消費型レジャー」から、「観光・生活を超越した「ライフスタイル」の実現へとニーズがシフト 1つの地域に滞在し、文化や暮らしを体感してじっくり楽しむ「滞在型観光」など新しい観光トレンドの顕在化 ●国内ブランド調査(R3年度) <ul style="list-style-type: none"> 長崎市のイメージは、カステラ、ちゃんぽん、ハウステンボス。固定概念と間違った印象が浸透し、長崎市の魅力が届いていない可能性 長崎市は行きたい旅先の上位に想起される観光地ではない(助成想起20.3%) 訪問しない理由は、「距離」以外では「見るべきところが少なそう」が男女ともにトップ(特にF1層)→ブランディングの必要性あり ●プロモーション効果検証 <ul style="list-style-type: none"> 広告到達率は10.5%と高く、広告認知の約7割が「長崎に行きたくなった」と回答しており、ターゲットに即した訴求による効果が見られた →引き続き、WEB広告実施の必要性あり 	<ul style="list-style-type: none"> ●新幹線開業による新たな人の流れの創出 ●スタジアムシテプロジェクトなど都市再生の推進 ●ウィズコロナ社会における持続可能な観光スタイルの定着 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブランドの醸成と認知拡大(域内外コミュニケーション) ●ブランドを具現化する商品・サービス開発とその訴求 ●デジタルとリアルが融合した効果的なプロモーション戦略 ●旅ナカでの情報タッチポイントの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブランディング <ul style="list-style-type: none"> ①インナーブランディングの醸成・・・市民や市内事業者へのブランドの浸透・理解促進とビジネス活用に向けた取組みの本格化 ②域外の認知拡大・・・マスターブランドを中核に一貫性のある誘致戦略を本格化させ、中長期的な視点で本質的価値を伝え続ける。 ●誘致施策 <ul style="list-style-type: none"> 観光マスターブランドを中核に一貫性のある誘致戦略の本格化(WEB広告、シーズンプロモーション) ●旅ナカにおける情報発信強化 <ul style="list-style-type: none"> リニューアルした公式観光サイト「taravel nagasaki」をハブに、旅ナカにおける情報発信の強化と、デジタルサイネージや観光案内所との連携により、タッチポイントを拡大する(シーズンプロモーションとの連動) ①体験型コンテンツの充実と発信強化・・・前日・当日予約可能な商品の増加及びWEBマガジン等による魅力の発信強化 ②グルメサイト・・・掲載店舗の増加及び地元ならではの食の魅力の発信強化 ●受入強化策 <ul style="list-style-type: none"> 長崎市版サステナブルツーリズムの基礎構築 ①コンテンツ・サービス磨き上げ、②地産地消等の高付加価値メニュー開発や多様なニーズへの対応
<ul style="list-style-type: none"> ●ソーシャルリスニング調査・・・世界のHPやSNS上での投稿などを分析することで、国・地域(言語)別での長崎市のイメージなどを把握 対象：日本、米、英、豪、韓、中、台湾、香港 結果：「夜景」「グルメ」「平和」などに関する話題が多い一方で、観光地としてのイメージは発展途上 <ul style="list-style-type: none"> 韓国語・繁体字圏では「夜景」「グルメ」などの話題が多く、日本人と近い傾向が見られた 英語・簡体字圏では「平和」に関する話題が多いが、広島や金沢と比較しても観光地としてのイメージは薄く、認知度拡大に向けた施策が重要 ●海外ブランド調査・・・アフターコロナのターゲット国候補の分析と重点市場の選定(認知度や来訪意欲等) 対象：米、英、豪、独、仏、韓、中、台湾、香港、シンガポール、フィリピン 結果：(マシ市場)韓国、台湾(成長市場)香港、フィリピン、米、豪、独 →台湾、香港向け及び欧豪州向けプロモーション ●プロモーション実施結果・分析 <ul style="list-style-type: none"> 訪問意欲はあるため、安全安心の発信とともに、九州周遊や滞在期間の伸ばすコンテンツを欧米豪市場へ向けて配信していく(広域連携) 効率的・効果的な訴求に向け、ポストコロナにおける重点ターゲット国の再設定、ニーズ等の把握、ターゲットに合わせたコンテンツ訴求が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●本格的なインバウンド需要の回復 ●マーケットニーズの変化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ターゲットの再設定(国・地域別のターゲットニング) ●ターゲットに応じたコンテンツの可視化 ●ターゲットに応じた戦略的かつ効率的なプロモーション ●受入環境(ソフト面)の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関・他都市との連携強化、デジタルプロモーションを中心とした訪日・長崎旅行の期待感の醸成に注力(重点国：台湾、世界水泳開催による欧米豪) ●ブランディング <ul style="list-style-type: none"> 長崎らしさを感じられるストーリー性のある体験コンテンツや旅の過ごし方を訴求するためのデジタルプロモーションの実施 ●多言語WEBサイトによる情報発信強化 長崎県公式観光サイト「DISCOVER NAGASAKI」における掲載情報の充実 日本人向けコンテンツを外国人向けに再編集、外国人向けのモデルコースの新規作成など、魅力の発信を強化 ●台湾向けプロモーション <ul style="list-style-type: none"> 台湾旅行社向けモデルコースの作成 現地の日本観光情報サイトを活用した情報発信 ●欧州・豪州向けプロモーション <ul style="list-style-type: none"> 2023年開催の世界水泳開催を契機としたWEBプロモーションの強化
<ul style="list-style-type: none"> ●主催者満足度(総合評価) <ul style="list-style-type: none"> R2：92.4%(やや不満 7.6%) R3：66.7%(どちらともいえない 33.3%) ※R2年度とR3年度の選択肢の相違があり単純比較はできない。 ●市内事業者の長崎市で開催されたMICEの受注経験について「有」と回答した割合 <ul style="list-style-type: none"> R2：25.2%、R3：37.2% ●市内事業者のMICE事業への参入意欲(「ぜひ参加したい」、「機会があれば参加したい」と回答した事業者の割合) <ul style="list-style-type: none"> R2：84.2%、R3：83.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ●国際会議・インセンティブツアーの受入強化 ●スタジアムシテとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ●MICEブランドの醸成 ●関係機関と連携した誘致強化 ●スポーツコンベンションなど新たなMICEの創造 ●インセンティブツアーの開拓・誘致強化 ●域内経済波及効果の最大化 	<ul style="list-style-type: none"> ●MICEブランドを軸とした情報発信 ●JNTOオウンドメディアを活用した長崎MICEブランドの発信 ●JNTOとのコミュニケーションを通じた情報収集・ブランド理解浸透 ●誘致プロモーション(主なターゲットは医療、水産、平和) <ul style="list-style-type: none"> ながさきMICE・市と連携し、MICE開催地としての魅力アップ、セールス情報の共有により、市全体への誘致促進 開催可能性の高いターゲットへのセールス強化 ●インセンティブツアーの取組み <ul style="list-style-type: none"> 広域連携によるモデルコースの作成(SDGsの取組み、チームビルディングなど目的を明確にしたモデルコース) 旅行会社・ランドオペレーターへのセールス、県観運と連携した海外セールス ●まちMICEの推進 <ul style="list-style-type: none"> ユニークベニューや参加者向け体験コンテンツを主催者への具体的提案 誘致段階から地元事業者の受入体制を主催者に提案 大会・学会HPにまちMICEを紹介するランディングページを掲載・情報発信(主催者→ユニークベニュー・エクスカーション、参加者→観光・宿泊・飲食・お土産等) ●MICE開催情報の地元事業者への発信
<ul style="list-style-type: none"> ●満足度調査 <ul style="list-style-type: none"> 学校満足度(総合評価) R3：87.1% 平和学習・体験プログラムに対する満足度 R3：93.9% その他学習・体験学習プログラムに対する満足度 R3：66.2% ●その他調査結果 <ul style="list-style-type: none"> 訪問地を決定するにあたって重視すること・・・「学習・体験プログラムの内容・充実度」、「歴史文化の豊かさ」、「旅行全体の料金」、小学校では「訪問地までの移動時間」も重視 長崎市を修学旅行の訪問地として決定した理由・・・「学習・体験プログラムの内容・充実度」、「歴史文化の豊かさ」を7割以上が選択 充実・強化が望まれる学習・体験プログラム・・・「複合的なテーマでの体験」、「歴史文化のフィールドワーク」、「ガイドとのフィールドワーク」、「デジタル素材・コンテンツを活用した体験」、小学校では「複合的なテーマでの体験」、「ガイドとのフィールドワーク」のニーズが高い 	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタルとリアルが融合した効果的・効率的な学習ニーズの拡大 ●学習指導要領の改変に合わせた体験学習の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ●誘致・受入強化 ●デジタルとリアルが融合した「SDGs×平和学習」など、長崎の強みを活かしたプログラムの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●誘致プロモーション <ul style="list-style-type: none"> キラコンテンツである平和学習の強化を主軸に、総合的な滞在プランの提案により、主に新規校の誘致を強化 コロナ禍における他都市からの振り替え校の継続的な来訪が重点項目 宿泊事業者や旅行会社とのヒアリング結果から、修学旅行レポート校においても、長崎の体験プログラムが十分に知られていないことが分かったため、情報の集約と発信に注力 ①メディア・視察の招聘、②修学旅行プランニングガイド作成、③セールス活動、④事業者向け研修 ●受入強化(新たなニーズへの対応) <ul style="list-style-type: none"> 事前学習と事後学習の対応 SDGsやアクティブラーニング、GIGAスクール構想など、学習指導要領の改訂やニーズに対応する学習プログラム・体験コンテンツの開発 多様な文化・重層的な歴史をアクティブラーニングに取り組みめることをアピール オンライン形式での事前学習・事後学習にも対応できる体制の構築

債務負担行為		期 間	限度額 (設定額)
頁	事 項		
328 ～ 329	観光誘客プロモーション等委託	令和6年度から 令和7年度まで	千円 307,316

1 概 要

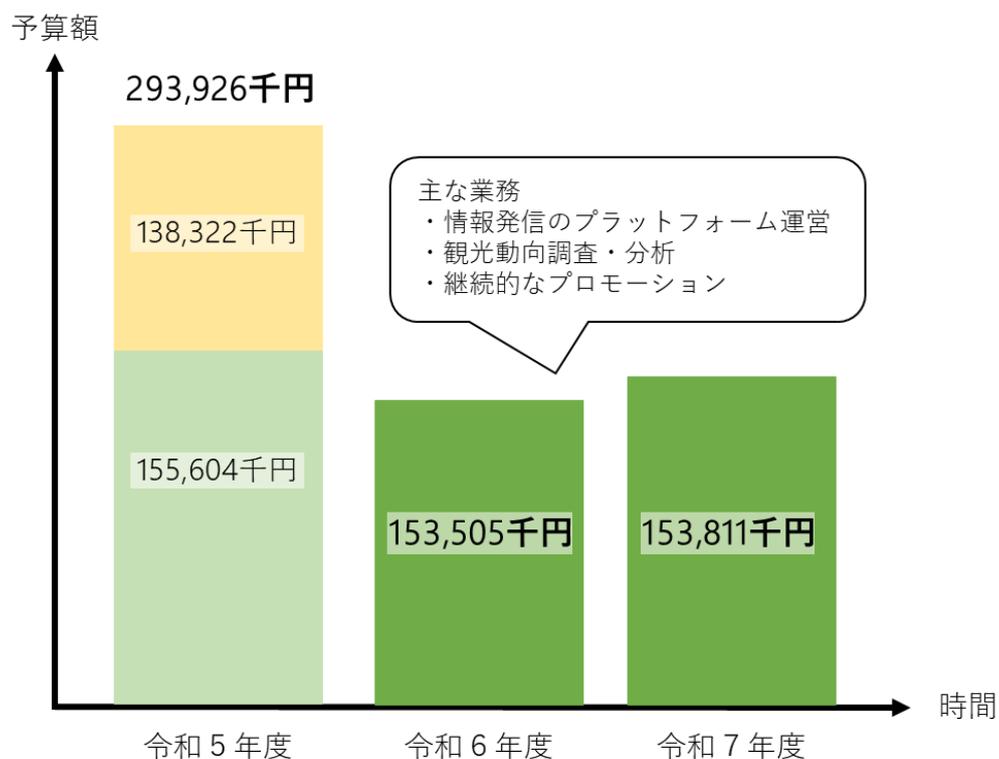
長崎市の観光まちづくりパートナーであるDMOにおいて、「長崎市DMO第1期中期目標」の達成のために、DMOの具体的な行動計画である「長崎市DMO事業計画」及び各年度において実施する事業を示した「DMO実施計画」を策定している。

中期目標の期間である令和5年度から令和7年度までのDMOの事業費(601,242千円)のうち、令和6年度から令和7年度までの事業費(307,316千円)について、債務負担行為の設定を行うもの。

2 債務負担行為限度額の年度内訳

(単位：千円)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
—	153,505	153,811	307,316



3 事業内容

(単位：千円)

事業	令和5年度 (参考)	令和6年度	令和7年度	6・7年度 合計
1 資源磨きと魅力あるコンテンツの創造に関すること	11,185	0	0	0
ア サステナブルツーリズムの推進	11,185	0	0	0
イ 朝たび・夜たび の取組み (自主事業)	—	—	—	—
2 安全安心・快適な滞在環境の整備に関すること	17,260	15,273	15,283	30,556
ア 「team NAGASAKI SAFETY」 の取組み発信 (自主事業)	—	—	—	—
イ 着地情報の発信	17,260	15,273	15,283	30,556
(ア) 着地型観光マップの作成	15,389	13,395	13,399	29,794
(イ) AI チャットボット利用	1,871	1,878	1,884	3,762
3 戦略的な魅力発信と誘致活動の推進	177,743	105,970	106,199	212,169
ア 観光動向調査	29,136	29,183	29,223	58,406
(ア) 包括的マーケティングリサーチ	21,383	21,421	21,453	42,874
(イ) ビッグデータの購入・利用	2,420	2,420	2,420	4,840
(ウ) データ分析ツールの使用	240	240	240	480
(エ) イベント実施に伴う調査・分析	4,132	4,136	4,140	8,276
(オ) 秋期・春期国道交通量・発地調査	961	966	970	1,936
イ 観光マスターブランドの浸透・認知拡大 (域外向け)	11,140	0	0	0
(ア) 全国交通機関とのタイアップ	3,097	0	0	0
(イ) ブランドコミュニケーション記事制作	4,848	0	0	0
(ウ) ブランド訴求グッズの制作	2,195	0	0	0
(エ) その他 (活動事務費)	1,000	0	0	0
ウ 観光ワンストップサイトの運用	30,131	25,019	25,080	50,099
(ア) 長崎市公式観光サイト	13,821	12,682	12,716	25,399
(イ) 体験商品予約・販売サイト	12,496	8,514	8,532	17,046
(ウ) グルメサイト	3,210	3,218	3,225	6,443
(エ) 修学旅行サイト	604	605	607	1,212
エ 国内観光客誘致プロモーション	58,581	30,891	30,929	61,820
(ア) WEB 広告	23,016	23,030	23,042	46,072
(イ) シーズンプロモーション	21,183	0	0	0
(ウ) グルメサイト情報発信施策	2,400	0	0	0
(エ) 観光ポスター印刷	682	0	0	0
(オ) パンフレット等の管理・発送	3,064	600	600	1,200
(カ) その他 (セールス等)	8,236	7,261	7,287	14,548

事業	令和5年度 (参考)	令和6年度	令和7年度	6・7年度 合計
オ インバウンドプロモーション	17,282	3,516	3,520	7,036
(ア) 多言語WEBサイト連携	3,510	3,516	3,520	7,036
(イ) 台湾向けプロモーション	3,268	0	0	0
(ウ) 欧州・豪州向けプロモーション	2,576	0	0	0
(エ) その他(セールス等)	7,928	0	0	0
カ MICE 誘致プロモーション	18,048	12,355	12,413	24,768
(ア) 商談会参加、首都圏セールス	14,058	11,697	11,755	23,452
(イ) キーパーソン受入れ	1,971	0	0	0
(ウ) JCCB、ICCA との連携	2,019	658	658	1,316
キ 修学旅行誘致プロモーション	13,425	5,006	5,034	10,040
(ア) メディア・視察の招聘	3,571	0	0	0
(イ) 修学旅行ナビ本の作成	3,021	990	994	1,984
(ウ) 事業者向け研修	743	0	0	0
(エ) その他(セールス等)	6,090	4,016	4,040	8,056
4 観光・MICE 関連産業の活性化	35,226	4,121	4,135	8,256
ア 長崎市観光まちづくりネットワークの活性化	13,336	0	0	0
イ 消費拡大に向けた食の多様化、クチコミ強化	8,449	0	0	0
ウ 観光マスターブランドの浸透・認知拡大(域内向け)	10,587	4,121	4,135	8,256
(ア) アクションプランの策定	4,106	4,121	4,135	8,250
(イ) JR長崎駅コンコースサイネージへの掲示	2,327	0	0	0
(ウ) ローカル交通機関とのタイアップ	1,927	0	0	0
(エ) 「長崎のふつうは世間のふしぎ展」の開催	2,227	0	0	0
エ まちMICEの取り組み	2,854	0	0	0
オ 長崎MICE事業者ネットワーク事務局(自主事業)	—	—	—	—
5 管理費・消費税	52,512	28,141	28,194	56,335
合計	293,926	153,505	153,811	307,316

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 307,316	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 307,316

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
226 ↳ 227	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-3	MICE推進費	千円 2,022

1 概要

出島メッセ長崎を中心とした MICE 誘致を強化するとともに、MICE 開催の効果を最大化するため、主催者や参加者による消費を促し、地域経済の活性化を図ることを目的とする。

DMO 及び出島メッセ長崎の施設運営者である(株)ながさき MICE と密に連携しながら、都市ブランドの向上に寄与する政府系会議(G7 等をいう。以下同じ)、国際会議等を誘致する。

2 事業内容

- (1) MICE 誘致・セールス活動等 1,400 千円
- ア セールス旅費等 955 千円
政府系会議・国際会議等の誘致・セールスに係る旅費等(延べ 15 人)
 - イ キーパーソン招聘 382 千円
MICE 主催者等キーパーソンの市内視察に係る費用弁償(延べ 6 人)
 - ウ 情報収集・研修に係る旅費等 63 千円
日本政府観光局や観光庁が開催する会議参加等に係る旅費・出席負担金(延べ 1 人)
- (2) その他事務費(タクシー借上料、一般消耗品費等) 622 千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 2,022	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 2,022

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

政府系会議、国際会議等の誘致にあたっては、地元自治体及び国の関わりが必要不可欠であることから、DMO 及び(株)ながさき MICE と連携しながら、誘致に取り組む必要がある。

(2) 効果

政府系会議、国際会議等は、国内外から多くの訪問客を呼び込むとともに、小規模でも開催期間が長いことから経済波及効果が高く、長崎市の都市ブランド向上にもつながる。また、MICE 開催に伴い発生する多様な業務を市内事業者が受注することで、地域経済の活性化を図ることができる。

5 MICE 誘致・受入関連予算

関係機関	役割等	関連事業・予算額
長崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府系会議、国際会議等の誘致を行う。 ・ 市役所内の各部局の業務や関係団体に関連した大会、会議等の誘致を行う。 	MICE 推進費 (2,022 千円)
DMO	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長崎市全体への MICE 誘致・受入の中心的役割を担う。 ・ MICE をまち全体で受け入れられるよう受入態勢の充実を図る。 	観光地域づくり推進費(事業費) (20,902 千円) コンベンション開催費補助金 (19,800 千円)
(株)ながさき MICE	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出島メッセ長崎の施設運営者として、独立採算で施設の維持管理業務及び運営・MICE 誘致業務を行う。 	なし

(参考) 出島メッセ長崎の運営状況について

1 1年目（令和3年11月～令和4年10月）の開催実績（確定値）

学会・大会の件数については目標を達成したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、中止・延期、ハイブリッド開催が多く、他都市でも同様に参加人数が減少していた。そのため、目標達成のためコロナ禍においても、確実に実施される資格（国家）試験やイベント展示に力を入れ誘致を進めた結果、1年目の最終利用者数は目標の610,300人に対し、663,843人（達成率109%）となった。

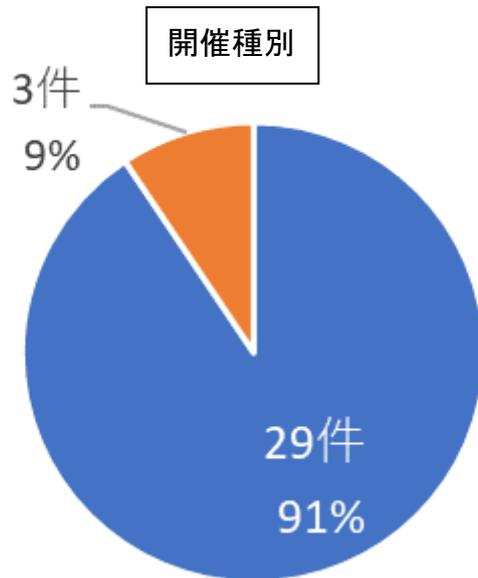
ア 目標に対する催事種別ごと件数及び利用者数一覧

催事種別	人数規模	目標		実績（確定値）	
		件数	利用者数	件数	利用者数
学会	500人未満	10件	5,800人	26件	2,485人
	500人以上1,000人未満	8件	13,800人	3件	2,317人
	1,000人以上	6件	31,200人	3件	4,950人
	小計	24件	50,800人	32件	9,752人
一般会議	500人未満	650件	82,500人	1,534件	47,279人
	500人以上1,000人未満	34件	26,000人	17件	10,797人
	1,000人以上	14件	47,000人	10件	20,117人
	小計	698件	155,500人	1,561件	78,193人
イベント展示	500人未満	-	-	27件	3,924人
	500人以上1,000人未満	10件	7,500人	4件	2,216人
	1,000人以上	43件	396,500人	38件	569,758人
	小計	53件	404,000人	69件	575,898人
総計 （達成率）		775件	610,300人	1,662件 （214%）	663,843人 （109%）

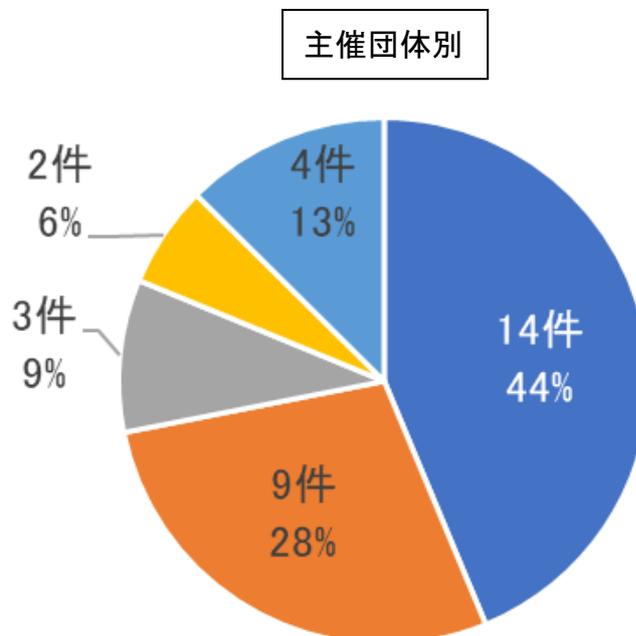
イ 催事種別ごとの詳細

【学会】

学会については、テーマは医療分野が多数約9割を占めており、主催者は長崎大学が約4割を占めている。



■ 医療分野 ■ それ以外

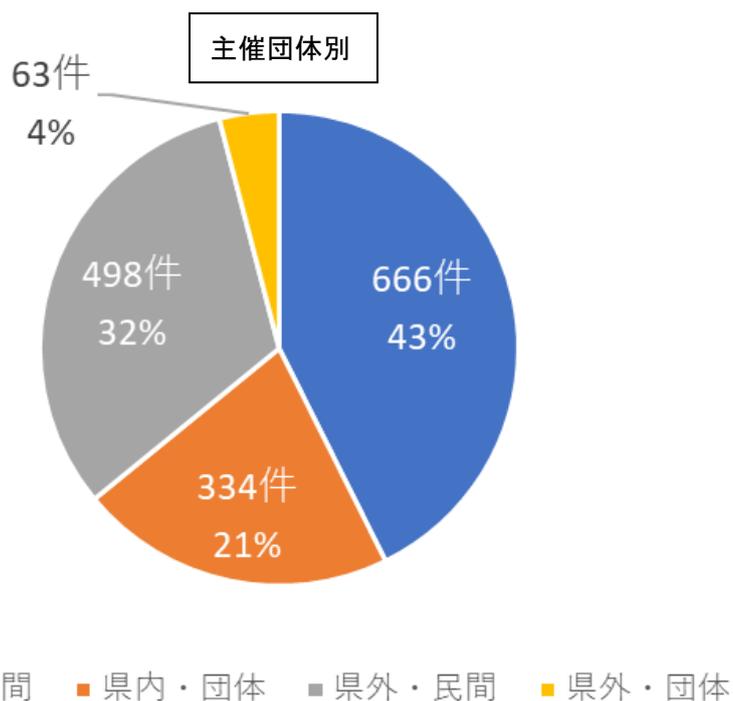
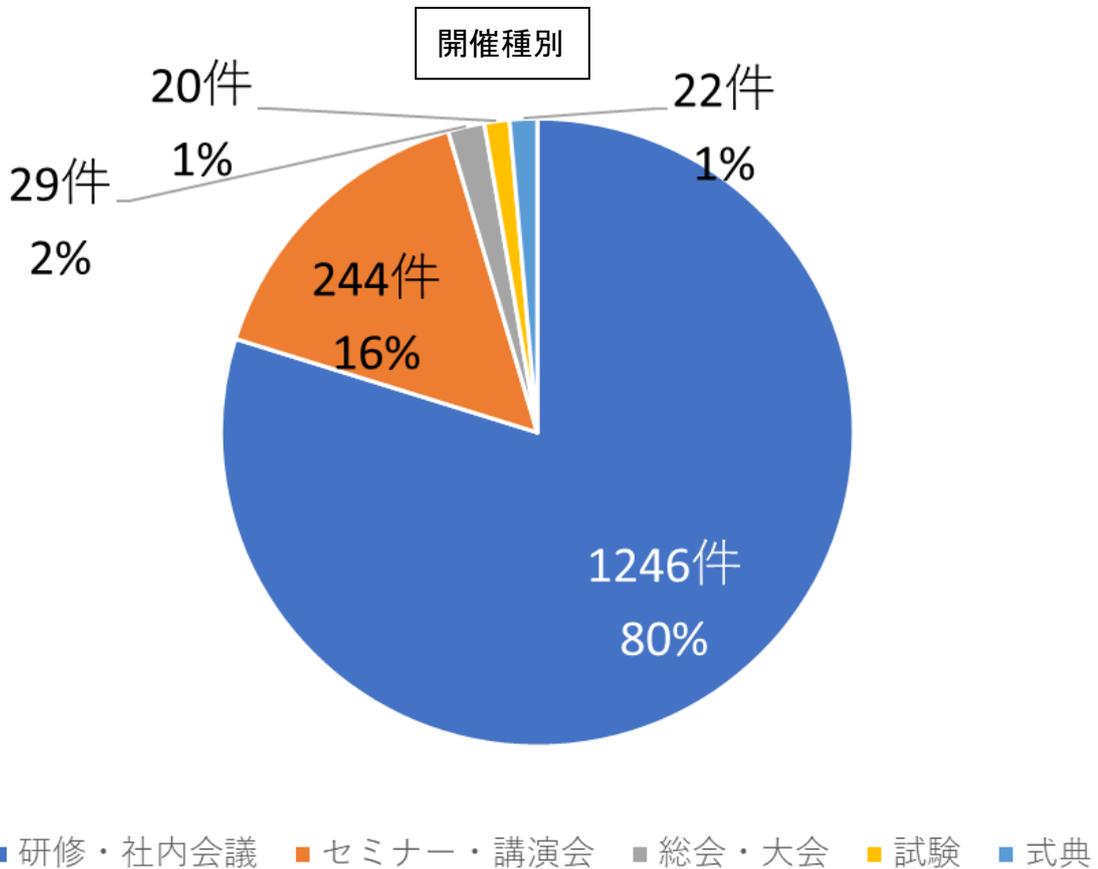


■ 長崎大学 ■ 協会・団体 ■ 製薬企業 ■ 他病院 ■ 民間企業

【一般会議】

開催種別においては研修・社内会議による開催が多く8割を占めており、次いでセミナー・講演会が2割弱、また、主催団体別では県内の企業・団体が主催する会議等は全体の約6割となっており、県外の企業・団体は約4割となっている。

なお、利用者数が500人以上の会議等においては、県内、県外の企業・団体ともに同程度利用されている。（県内の団体等による、全国規模の大会等もあり）



利用者数が500人以上の催事の主催者団体別

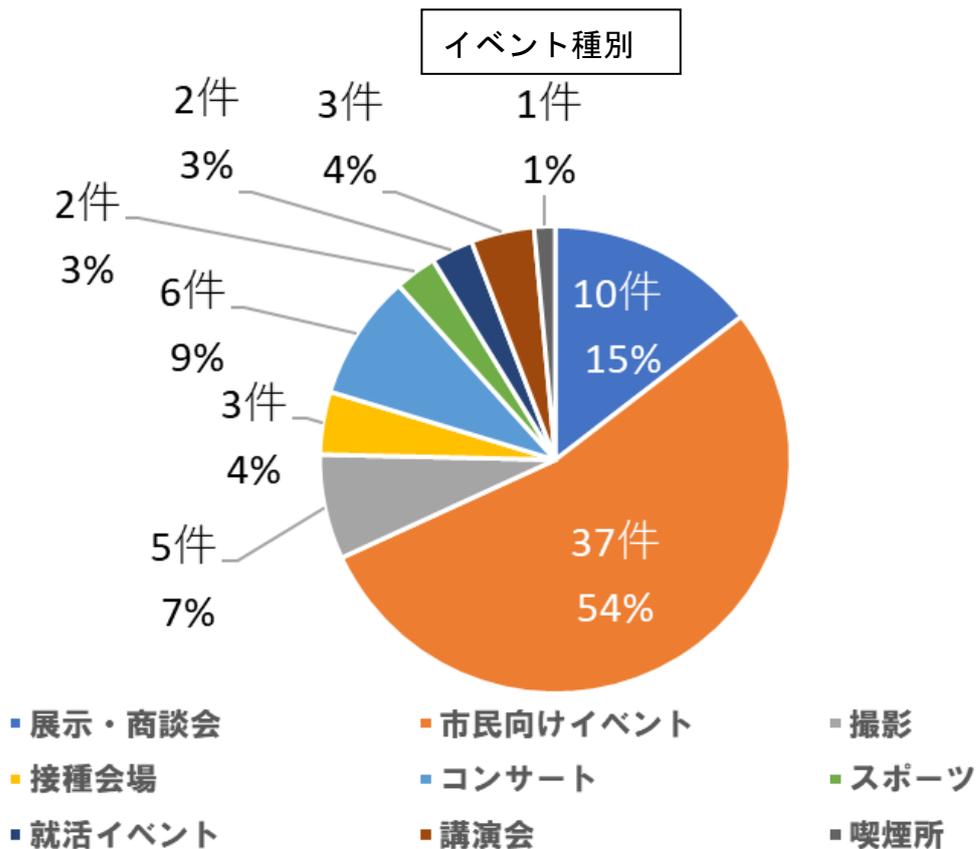
(単位：件)

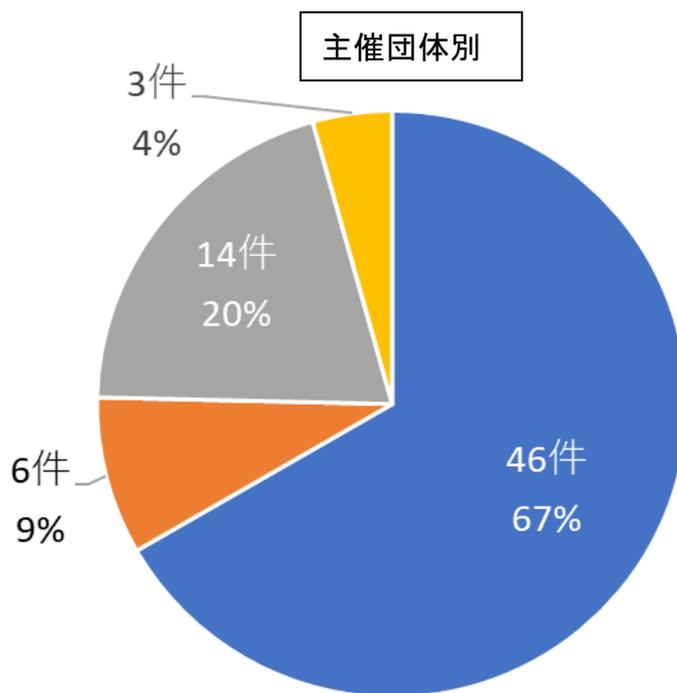
開業1年目	県内・民間	県内・団体	県外・民間	県外・団体	合計
総会・大会	1	3	2	0	6
式典	2	3	0	0	5
セミナー・講演会	0	1	1	0	2
試験	1	1	6	1	9
研修・社内会議	1	1	3	0	5
合計	5	9	12	1	27

【イベント展示】

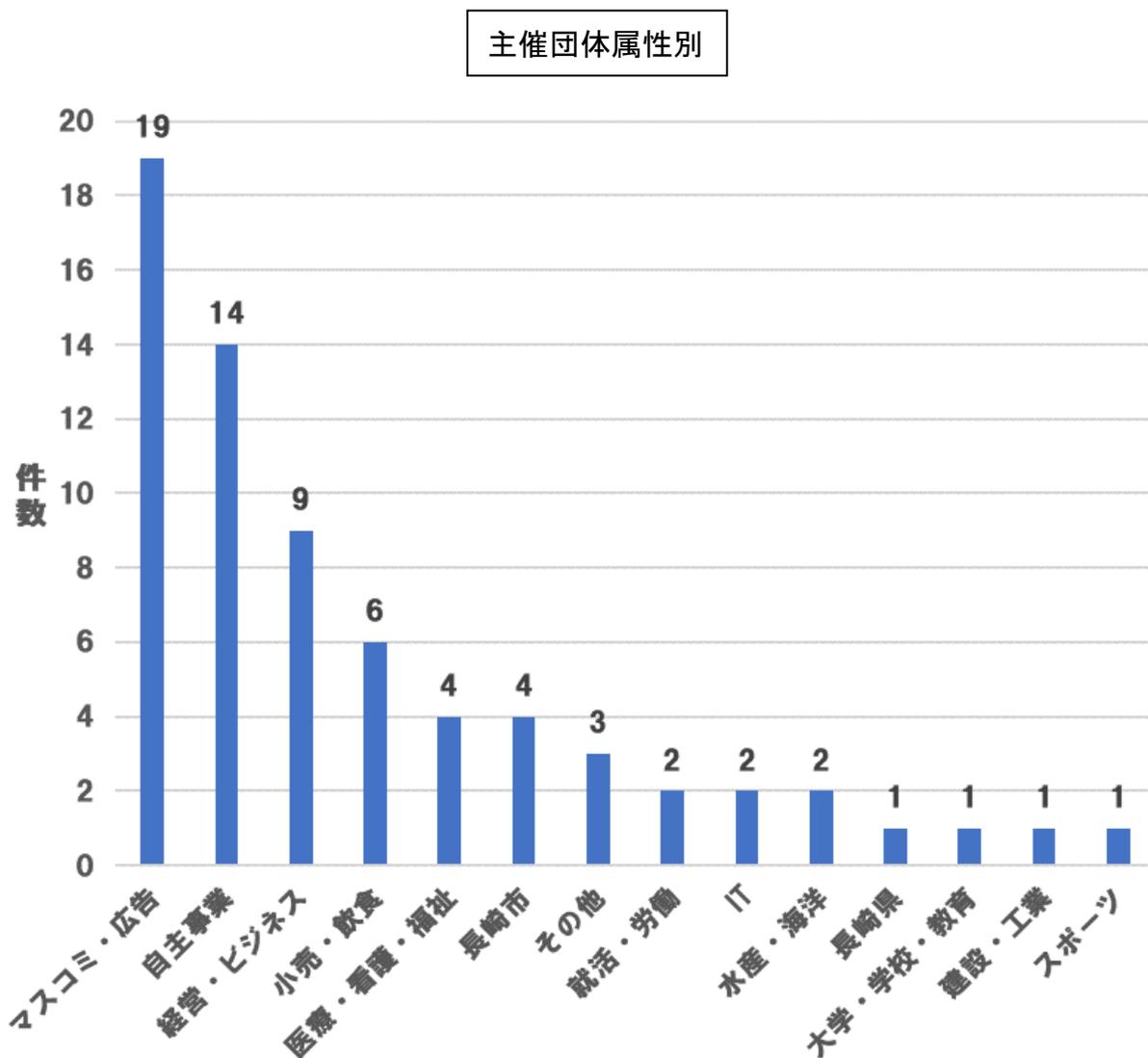
イベント展示については、イベント種別においては「こどもでじまはく」等のイベントやコンサート等による利用が約6割、「MICE EXPO」等の展示・商談会が1.5割程度となっている。

また、主催者としてはマスコミ・広告会社が約3割を超え、一番多い状況である。





-
 県内・民間
-
 県内・団体
-
 県外・民間
-
 県外・団体

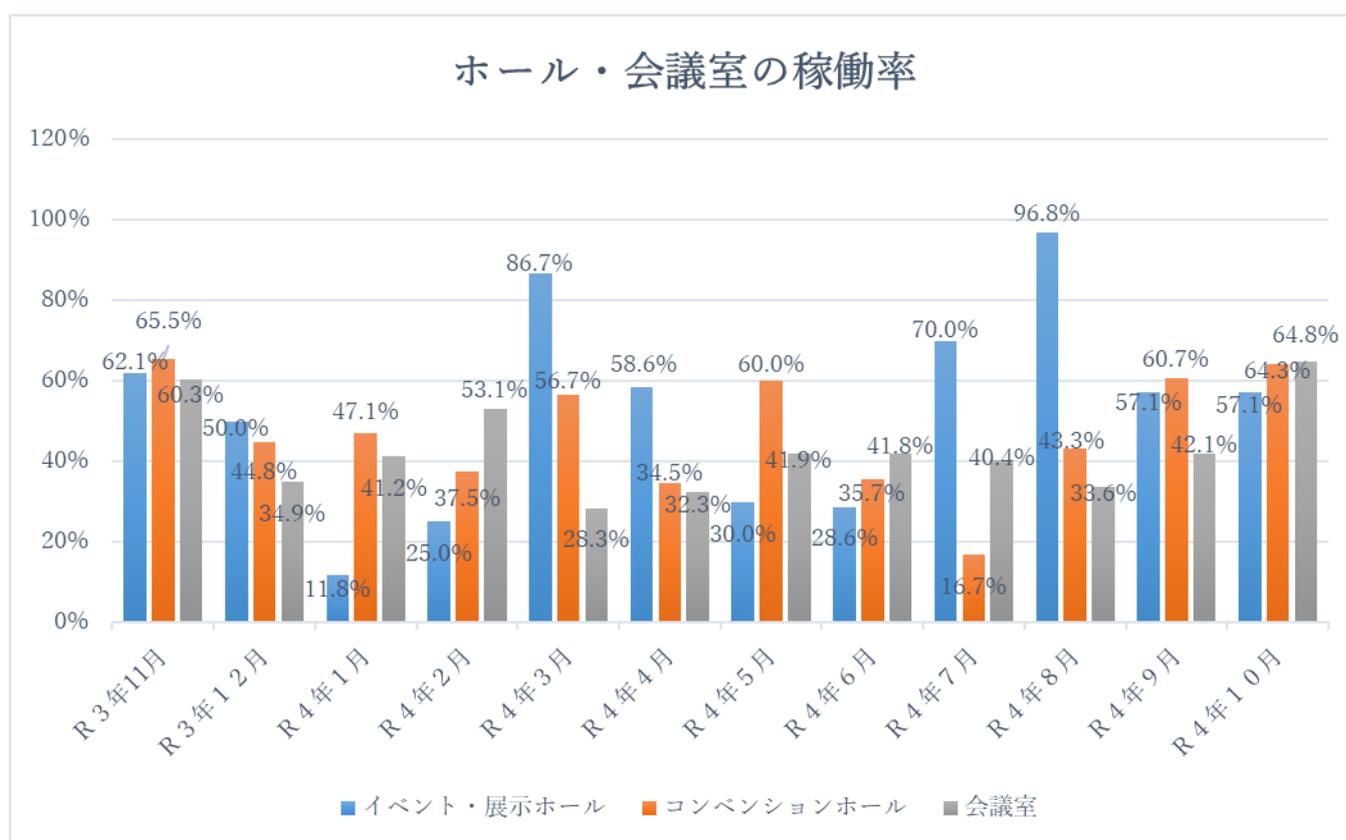


ウ ホール・会議室の稼働率

	R3年 11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平均
イベント・ 展示ホール	62.1%	50.0%	11.8%	25.0%	86.7%	58.6%	30.0%	28.6%	70.0%	96.8%	57.1%	57.1%	52.8%
コンベンション ホール	65.5%	44.8%	47.1%	37.5%	56.7%	34.5%	60.0%	35.7%	16.7%	43.3%	60.7%	64.3%	47.2%
会議室	60.3%	34.9%	41.2%	53.1%	28.3%	32.3%	41.9%	41.8%	40.4%	33.6%	42.1%	64.8%	42.9%
													47.6%

※ イベント・展示ホール及びコンベンションホール、会議室(全 24 室)の日稼働率

※ 1月～2月は休館あり(令和4年1月21日～令和4年2月20日)



(2) 開業 2 年目及び 3 年目以降の開催件数及び利用者数

開業 2 年目の誘致状況は、目標 775 件に対し 788 件で、目標利用者数 610,300 人に対し 615,172 人の利用が見込まれる。学会及びイベント展示においては、件数、利用者数ともに目標を超えて誘致が進んでいるが、一般会議においては、件数は目標を超えているものの、利用者数が目標の 3 割程度となっている。

開業 3 年目以降については、開催日の数年前から開催地が決まる「学会」において、1,000 人以上の参加が見込める学会が複数誘致されているが、開業 3 年目においては、目標の利用者数 50,800 人に対して 15,520 人となっている。

なお、令和 6 年には保健政策や保健システムの研究者らによるグローバル組織 Health Systems Global(HSG)が 2 年毎に開催する 2,000 名以上が参加する世界規模のシンポジウム「HSR2024」という、世界的にも知名度の高い案件の誘致が決定している。(その他、未計上の案件あり。)

【令和 5 年 1 月 1 日時点誘致状況】

● 件数

(単位:件)

		目標	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
学 会	小計	24	33	11	5	1
	1,000 人以上	6	15	5	4	1
	500 人～999 人	8	4	3	1	0
	500 人未満	10	14	3	0	0
一般会議		698	706	15	1	1
イベント展示		53	49	1	0	0
総計		775	788	19	6	2

● 利用者数

(単位:人)

		目標	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
学 会	小計	50,800	68,554	15,520	15,500	1,500
	1,000 人以上	31,200	63,684	13,200	15,000	1,500
	500 人～999 人	13,800	2,210	2,000	500	0
	500 人未満	5,800	2,660	320	0	0
一般会議		155,500	46,812	11,020	200	3,200
イベント展示		404,000	499,806	20,000	0	0
総計		610,300	615,172	46,540	15,700	4,700

【2年目の主な催事】(予定)

	利用期間	催事名称	想定規模 (人)
学 会	令和5年3月8日~3月10日	第10回慢性期リハビリテーション学会	約3,000
	令和5年4月5日~4月8日	第109回日本消化器病学会総会	約20,000
	令和5年4月25日~4月28日	第66回日本形成外科学会総会・学術集会	約9,000
	令和5年5月17日~5月19日	第61回日本小児歯科学会大会	約5,000
一 般 会 議	令和5年4月中旬	全国経済同友会セミナー長崎大会	約1,000
	令和5年6月初旬	長崎法人会23年度総会・講演会	約500
	令和5年8月初旬	全国高等学校家庭科実践研究会長崎大会	約500
イ ベ ン ト 展 示	令和5年3月上旬	SDGsラブベイベー	—
	令和5年3月中旬	ざんねんないきもの事典 in 出島メッセ長崎	—
	令和5年6月初旬	文具フェス	—

※ 利用期間に日時記載のものは設営・撤去等の期間も含む

※ イベント展示には1,000人以上想定のもの

■出島メッセ長崎利用実績（令和4年11月1日～令和4年12月31日）

公開可能案件のみ

利用期間		催事名称	団体名	人数	利用会場
開始	終了				
11月21日	11月28日	ラーメン出島博in出島メッセ長崎	株式会社長崎国際テレビ	35,224	イベント・展示ホール 全面
11月10日	11月13日	トコハピカーニバル	長崎文化放送	19,781	イベント・展示ホール 全面
12月8日	12月11日	クリスマスワイヤーマルシェ2022	株式会社コングレ	15,800	イベント・展示ホール 全面
11月17日	11月20日	B L A Z E U P N A G A S A K I 2022	株式会社長崎国際テレビ	4,480	イベント・展示ホール 全面
11月30日	12月3日	大相撲長崎巡業	株式会社長崎国際テレビ	3,280	イベント・展示ホール 全面
11月8日	11月10日	第74回中小企業団体全国大会	全国中小企業団体中央会・ 崎県中小企業団体中央会	2,045	コンベンションホール 全面
11月12日	11月15日	第69回日本ウィルス学会学術集会	長崎大学 感染症共同研究拠点 B S L - 4 施設設置 準備室	1,824	会議室101 全面
11月2日	11月5日	第92回日本感染症学会西日本地方学術集会	株式会社コンベンションリンクエージ	1,600	コンベンションホール 2/4
11月9日	11月11日	第118回日本食品衛生学会学術講演会	個人	710	会議室101 全面
11月18日	11月19日	NAGASAKIしごとみらい博	株式会社東京リーガルマインド	630	会議室101 全面
11月1日	11月1日	令和4年度市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）	長崎県教育庁総務課	554	会議室101 2/3
12月24日	12月25日	第二種電気工事士下期技能試験	株式会社全国試験運営センター 福岡事務所	503	会議室101 全面
11月28日	11月29日	酒と食の提案会 ～酒再生・新しい時代のニューノーマル～	(株)長崎日酒販	500	会議室101 全面
11月16日	11月17日	都市計画全国大会 全国都市計画担当課長会議	公益財団法人 都市計画協会	440	コンベンションホール 2/4
11月26日	11月26日	がんについて考えよう！！	アフラック生命保険株式会社	400	コンベンションホール 1/4
11月27日	11月27日	サイエンス・ファイト	株式会社コングレ	400	コンベンションホール 全面
12月10日	12月11日	第一種電気工事士技能試験	株式会社全国試験運営センター 福岡事務所	387	会議室101 全面
11月11日	11月11日	税を考える週間公開講演会	公益社団法人長崎法人会	300	コンベンションホール 2/4
11月12日	11月12日	令和4年度 ながさき自治振興推進大会	長崎市自治振興課	274	コンベンションホール 1/4
11月27日	11月27日	明日を拓く保育・教育シンポジウム	菜の花こども園	255	会議室101 全面
12月10日	12月10日	65期キックオフミーティング	株式会社システック井上	250	会議室101 全面
11月6日	11月6日	長崎国際平和映画祭	株式会社コングレ	220	コンベンションホール 1/4
11月7日	11月9日	ICT SOLUTION DAYS	西日本電信電話株式会社	220	会議室108
11月25日	11月26日	第一回九州パラスポーツ大会	九州パラスポーツ大会実行委員会	220	会議室109
11月19日	11月20日	第50回内科学の展望	日本内科学会	200	コンベンションホール 全面
11月11日	11月11日	令和4年度浄化槽トップセミナー長崎	一般社団法人全国浄化槽団体連合会	165	コンベンションホール 1/4
11月17日	11月17日	英雄再来 レイドロー選手と長崎を大いに語る	株式会社コングレ	150	会議室101 全面
11月20日	11月20日	令和4年度 賃貸不動産経営管理士試験	日本通信紙株式会社	150	会議室101 全面
11月30日	11月30日	協会けんぽ集団健診	全国健康保険協会長崎支部	150	会議室108
11月21日	11月21日	九州経済フォーラム	九州経済フォーラム	146	コンベンションホール 1/4
11月26日	11月26日	第47回九州集団療法研究会	医療法人志仁会西脇病院	140	会議室108
11月15日	11月15日	健康診断	(公財)福岡労働衛生研究所	130	会議室108
11月26日	11月26日	日本口腔科学会九州地方会	長崎大学口腔腫瘍治療学分野	130	会議室101 1/3
11月21日	11月21日	長崎県航空機産業クラスター協議会総会	長崎県	114	コンベンションホール 2/4
11月6日	11月8日	JPAAWG 5th General Meeting	株式会社イーサイド	110	会議室102
11月6日	11月6日	スーパーシティ・デジタル田園都市構想長崎セミナー	個人	110	会議室107
12月22日	12月22日	再生可能エネルギー推進フォーラム	(公財)長崎県産業振興財団	100	会議室108
11月23日	11月23日	第4回長崎無声映画鑑賞会	株式会社マツダ映画社	98	会議室107
12月10日	12月10日	第80回（令和4年度）海洋教育フォーラム（長崎）	株式会社コングレ	92	コンベンションホール 1/4
12月21日	12月21日	抱撲・希望のまちプロジェクトイベント「わたしがいる あなたがいる みんながいる」	認定NPO法人抱撲	80	会議室102
11月15日	11月15日	長崎銀行創業110周年記念 令和4年度 長銀会 講演会	長崎銀行	76	コンベンションホール 1/4
11月21日	11月21日	令和4年度九州都市税務職員研修会	長崎市役所	73	会議室107
11月8日	11月8日	経営トップセミナー	公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会 長崎支部	67	会議室101 2/3
11月25日	11月25日	設立20周年記念式典及び技術研修会	特定非営利活動法人 長崎県治水砂防ボランティア協会	63	会議室101 2/3
11月6日	11月6日	新中1進学説明会	株式会社 桑原塾	60	会議室108
11月12日	11月12日	2022年度 公益社団法人日本助産師会 九州・沖縄地区研修会	一般社団法人 長崎県助産師会	60	会議室103
11月16日	11月16日	令和4年度消防職員惨事ストレス研修会	長崎市消防局	60	会議室108
11月12日	11月12日	第2回長崎市中生プログラミングコンテスト	長崎市情報政策推進室	56	会議室108
12月17日	12月17日	第43回長崎脳神経外科研究会	長崎大学脳神経外科	55	会議室102
11月9日	11月9日	AWS Smart Business RoadShow 2022 in Nagasaki	株式会社イシマル	50	会議室110
11月17日	11月17日	濱村俊介税理士事務所 5周年記念セミナー	個人	50	会議室108
11月27日	11月27日	令和4年度長崎県アルコール依存症診療ネットワーク構築推進事業講演会	医療法人清潮会 三和中央病院	50	会議室108
12月11日	12月11日	子育て支援フォーラム vol.4	長崎市子育て支援ネットワーク連絡会	50	会議室110
11月12日	11月12日	「紹介予定派遣を活用した研修・就労支援事業」合同企業面談会	株式会社アソウ・ヒューマニーセンター	40	会議室206
11月12日	11月12日	第5回九州 CART研究会	九州CART研究会	40	会議室111
11月18日	11月18日	賃貸住宅の住環境向上セミナー	株式会社ハウジングロビー	40	会議室107
11月21日	11月21日	DMONAGASAKIマーケティングセミナーVOL.6	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会	40	会議室108
12月4日	12月4日	令和4年度 一般社団法人長崎県サッカー協会 第2回理事会	一般社団法人長崎県サッカー協会	37	会議室206

■出島メッセ長崎利用実績（令和4年11月1日～令和4年12月31日）

公開可能案件のみ

利用期間		催事名称	団体名	人数	利用会場
開始	終了				
12月1日	12月1日	西部ガス長崎主催 不動産セミナー	西部ガス長崎株式会社	35	会議室105
11月17日	11月17日	九電工 職長等・安全衛生責任者能力向上教育	株式会社九電工 長崎支店	32	会議室110
11月24日	11月24日	令和4年度 長崎MICE誘致推進協議会 通常総会	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会	31	会議室101 全面
12月14日	12月14日	第333回長崎胃癌患検討会	E A ファーマ株式会社	31	会議室108
12月21日	12月21日	12/21（水） 長崎県のHPVワクチンを考える会 (3555625)	東武トップツアーズ（株）	31	会議室107
11月1日	11月1日	令和4年度第5回長崎県公立大学法人評価委員会	長崎県	30	会議室107
11月20日	11月20日	あらためまして、セゾン投信です！	セゾン投信株式会社	30	会議室206
11月22日	11月22日	Lung Cancer New Generation Hands on Seminar in NAGASAKI	個人	30	会議室105
11月23日	11月25日	第7回長崎感染症検査フォーラム	バックマン・コルター株式会社	30	会議室103
12月6日	12月6日	長崎口腔がんセミナー2022	メルクバイオファーマ株式会社	30	会議室110
12月9日	12月9日	セミナー（株式会社オーリック不動産様）	株式会社福徳不動産	30	会議室109
11月26日	11月26日	九電工労組 分会役員研修会	株式会社九電工 長崎支店	29	会議室102
11月29日	11月29日	九州・沖縄観光連盟等連絡協議会会長会議	一般社団法人 長崎県観光連盟	27	会議室109
12月9日	12月9日	ロンドン&アムステルダム事務所長セミナー 「欧州の最新事情とデジタルを活用した欧州輸出の可能性」	ジェトロ長崎	27	会議室107
12月19日	12月19日	リーダーシップセミナー	NPO法人 encourage	27	会議室111
11月7日	11月7日	長崎エリア間質性膀胱炎診療の連携についての懇話会	杏林製薬株式会社	25	会議室107
12月8日	12月8日	Erbix HN Expert Webinar in 長崎	メルクバイオファーマ株式会社	25	会議室109
12月10日	12月10日	ミライのエンジニア現場見学ツアー	長崎市	25	会議室108
12月13日	12月13日	【観光庁事業】海外からのインセンティブ旅行誘致におけるコンベンションビュロー等機能高度化事業 第2回トレーニング	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会	25	会議室103
12月17日	12月17日	ぎものやまと成人式前撮り撮影会	株式会社K・Wプロジェクト	25	会議室106
12月15日	12月15日	九電工 職長等・安全衛生責任者能力向上教育	株式会社九電工 長崎支店	24	会議室110
12月2日	12月2日	令和4年度長崎県栄養教諭・学校栄養職員・栄養士研修会	長崎県学校栄養士会	22	会議室206
11月7日	11月7日	糖尿病WEBカンファレンス in 長崎	(株)三和化学研究所	20	会議室106
11月11日	11月11日	頭頸部外科医のための甲状腺がんSeminar in 長崎	エーザイ株式会社	20	会議室109
11月16日	11月16日	長崎産産婦人科自己フィブリン期セミナー	個人	20	会議室107
11月18日	11月18日	第3回長崎リハビリテーション懇話会	帝人ヘルスケア株式会社	20	会議室206
11月19日	11月19日	第4回糖尿病医療学研究会inながさき	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	20	会議室107
11月25日	11月25日	シスメックスヘマトロジーセミナー in 長崎	シスメックス株式会社	20	会議室108
12月1日	12月1日	多職種のためのCKD webセミナー	個人	20	会議室108
12月7日	12月7日	長崎産産婦人科学術講演会	科研製薬	20	会議室102
12月10日	12月10日	会社説明会	日本調剤株式会社	20	会議室110
12月22日	12月22日	令和4年度不動産セミナー	公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会	20	会議室103
12月24日	12月24日	地域で働くことの意義とローカルライフについて ～SCSK経営トップ遠藤フェローによるトークセッション～	リクルーティング・パートナーズ(株)	20	会議室206
11月16日	11月16日	ピクテ・スペシャル・ジャパン・ツアー2022	個人	19	会議室109
12月27日	12月27日	(株)Factory令和4年度 インターンシップ	株式会社Factory	19	会議室106
11月8日	11月8日	FFG経営者クラブセミナー	株式会社FFGビジネスコンサルティング	17	会議室107
12月9日	12月9日	Head & Neck Cancer Seminar	東武トップツアーズ（株）	17	会議室108
11月6日	11月6日	JICA海外協力隊 2022秋募集説明会	特定非営利活動法人九州海外協力協会	16	会議室105
11月1日	11月1日	循環器診療 Update in 長崎	個人	15	会議室109
11月16日	11月16日	西九州新幹線沿線5市ネットワーク会議 第2回担当者会議	長崎市まちづくり部長長崎駅周辺整備室	15	会議室115
11月24日	11月24日	JRコンサル5社情報交換会	J R九州コンサルタツ(株)	15	会議室111
11月25日	11月25日	九電工労組 支部執行委員会	株式会社九電工 長崎支店	15	会議室106
12月10日	12月10日	青年・女性委員会 ユースセミナー	J R九州労組	15	会議室105
11月24日	11月24日	遺伝性血管性浮腫（HAE）WEBセミナー in 長崎	株式会社ブイキューブ	14	会議室102
12月8日	12月8日	Meeting to discuss the Reality of skin cancer	個人	14	会議室111
11月18日	11月18日	第4回 長崎頭頸部がん腫瘍免疫セミナー	小野薬品工業株式会社	13	会議室102
11月24日	11月24日	百年床版現場見学会に向けて協議	株式会社ヤマウ	13	会議室105
11月25日	11月25日	長崎呼吸器疾患勉強会2022	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	13	会議室109
12月9日	12月9日	DiaMond Seminar in 長崎～糖尿病カードシステムの活用方法を考える～	住友ファーマ株式会社	13	会議室206
11月24日	11月24日	呼吸器疾患の未来戦略を考える in 長崎	ノバルティスファーマ株式会社	12	会議室106
11月26日	11月26日	第27回長崎県呼吸ケア研究会	帝人ヘルスケア株式会社	12	会議室116
12月12日	12月12日	ヒトマイクロバイオーム研究会～細菌叢からヒトの健康と疾患を読み解く～	ミヤリサン製薬株式会社	12	会議室103
12月13日	12月13日	Lilly CRC Seminar in Nagasaki	日本イーライリリー株式会社	12	会議室110
12月7日	12月7日	Lung Cancer & Supportive Care Seminar in NAGASAKI	大鵬薬品工業株式会社	11	会議室110
12月17日	12月17日	司法書士法人中央事務所 無料法律相談会	株式会社エルク	11	会議室201
11月17日	11月17日	FFG経営者クラブセミナー	株式会社FFGビジネスコンサルティング	10	会議室102

■出島メッセ長崎利用実績（令和4年11月1日～令和4年12月31日）

公開可能案件のみ

利用期間		催事名称	団体名	人数	利用会場
開始	終了				
11月30日	11月30日	第2回長崎産婦人科診断研究会	東武トップツアーズ 東京法人東事業部	10	会議室104
12月5日	12月5日	『長崎県チャンネル別商談会』フォローアップセミナー	有限会社永瀬事務所	10	会議室110
12月8日	12月8日	佐賀・長崎腎疾患講演会	アステラス製薬 佐賀・長崎グループ	10	会議室103
12月16日	12月17日	長崎県乳がん市民公開講座web配信	個人	10	会議室109
12月23日	12月23日	第109回日本消化器病学会総会 会場お打ち合わせ	長崎大学大学院医歯薬総合研究所 消化器内科学	10	会議室115
12月23日	12月23日	長崎GLP-1セミナー	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社	10	会議室110
12月16日	12月16日	イクスタンジWEBシンポジウム	アステラス製薬株式会社	9	会議室111
12月17日	12月17日	長崎U7法研究科	長崎イリザロフ法研究会	9	会議室116
11月16日	11月16日	令和4年度消防職員惨事ストレス研修会	長崎市消防局	8	会議室112
12月1日	12月1日	Psoriatic Disease web seminar in Nagasaki	株式会社日本旅行	8	会議室111
12月2日	12月2日	Expert Seminar in Nagasaki	株式会社ホスピタリティエージェント	8	会議室116
12月15日	12月15日	長崎県病院薬剤師会研修会	個人	8	会議室103
12月19日	12月19日	長崎市高血圧セミナー	大塚製薬株式会社	8	会議室104
11月16日	11月16日	長崎CTEPH講演会	バイエル薬品株式会社	7	会議室104
12月6日	12月6日	PD講演会	バクスター株式会社	7	会議室104
12月21日	12月21日	大塚製薬WEB講演会	個人	7	会議室108
11月6日	11月6日	日本食品衛生学会 会議	個人	6	会議室114
11月13日	11月13日	純真短期大学入学試験	純真短期大学	6	会議室116
11月27日	11月27日	ESPエンタテインメント福岡 出張説明会	学校法人イーエスピー学園 E S Pエンタテインメント福岡	6	会議室115
12月8日	12月8日	キッセイ薬品 WEB配信会場	キッセイ薬品工業株式会社九州支店長崎営業所	6	会議室112
12月8日	12月8日	興和(株) WEB講演会	興和株式会社	6	会議室105
11月9日	11月9日	日本食品衛生学会 打ち合わせ	個人	5	会議室106
11月10日	11月10日	長崎精神科領域漢方webセミナー	個人	5	会議室109
11月11日	11月11日	第69回日本ウイルス学会学術集会	長崎大学 感染症共同研究拠点 B S L - 4 施設設置準備室	5	会議室116
11月11日	11月11日	第69回日本ウイルス学会学術集会	長崎大学 感染症共同研究拠点 B S L - 4 施設設置準備室	5	会議室115
11月11日	11月11日	第69回日本ウイルス学会学術集会	長崎大学 感染症共同研究拠点 B S L - 4 施設設置準備室	5	会議室114
11月11日	11月11日	第69回日本ウイルス学会学術集会	長崎大学 感染症共同研究拠点 B S L - 4 施設設置準備室	5	会議室113
11月11日	11月11日	第69回日本ウイルス学会学術集会	長崎大学 感染症共同研究拠点 B S L - 4 施設設置準備室	5	会議室112
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 1	日本内科学会	5	会議室204
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 2	日本内科学会	5	会議室204
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 3	日本内科学会	5	会議室204
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 4	日本内科学会	5	会議室202
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 5	日本内科学会	5	会議室201
11月18日	11月18日	慢性便秘症診療ブラッシュアップセミナー	個人	5	会議室202
11月29日	11月29日	バイエル薬品 研修	個人	5	会議室112
12月5日	12月5日	長崎消化器KAMPOwebセミナー	個人	5	会議室105
12月12日	12月12日	Next generation cardiologist seminar	個人	5	会議室106
12月14日	12月14日	日総工産(株)お仕事説明会	日総工産株式会社	5	会議室201
11月15日	11月15日	長崎県央エリアCKD研究会	バイエル薬品株式会社	4	会議室202
11月18日	11月18日	上五島心疾患連携セミナー	ノバルティスファーマ株式会社	4	会議室201
11月21日	11月21日	日総工産(株)お仕事説明会	日総工産株式会社	4	会議室112
11月22日	11月22日	日本イーライリリー講演会	株式会社 J T B 西日本 M I C E 事業部	4	会議室115
12月9日	12月9日	大塚製薬 WEB講演会	個人	4	会議室115
12月10日	12月10日	己書	個人	4	会議室201
12月13日	12月13日	WEBカンファレンス	株式会社 J T B	4	会議室115
12月21日	12月21日	kowa Webカンファレンス	興和株式会社	4	会議室106
11月1日	11月1日	興和株式会社WEB講演会	興和株式会社	3	会議室201
11月2日	11月2日	興和(株) WEB講演会	興和株式会社	3	会議室 111
11月7日	11月7日	日総工産(株)お仕事説明会	日総工産株式会社	3	会議室202
11月8日	11月8日	ILD 呼吸リハビリテーションWebセミナー	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	3	会議室 116
11月9日	11月9日	循環器疾患抑制圧を考える会2022	バイエル薬品株式会社	3	会議室114
11月26日	11月26日	中京東部医師会学術講演会	塩野義製薬株式会社	3	会議室113
12月1日	12月1日	GU Cancer Seminar	東武トップツアーズ(株)	3	会議室116
12月6日	12月6日	科研製薬WEBセミナー	科研製薬株式会社	3	会議室112
12月7日	12月7日	大塚製薬(株)会場	大塚製薬株式会社	3	会議室201
12月8日	12月8日	循環器疾患治療に漢方を活かす	個人	3	会議室110
12月13日	12月13日	WEB講演会	木村情報技術株式会社	3	会議室106
12月15日	12月15日	高尿酸血症スキルアップセミナー	持田製薬株式会社	3	会議室106
12月19日	12月19日	九州腹腔鏡下部消化管セミナー	オリンパスマーケティング株式会社	3	会議室110
11月1日	11月1日	日本食品衛生学会 準備	個人	2	会議室202
11月7日	11月7日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室203
11月8日	11月8日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室203
11月9日	11月9日	高血圧コーチングセミナー	ノバルティスファーマ株式会社	2	会議室112

■ 出島メッセ長崎利用実績（令和4年11月1日～令和4年12月31日）

公開可能案件のみ

利用期間		催事名称	団体名	人数	利用会場
開始	終了				
11月14日	11月14日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室201
11月15日	11月15日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室201
11月16日	11月16日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室201
11月18日	11月18日	群馬大腸癌Webセミナー	日本イーライリリー株式会社	2	会議室104
12月1日	12月1日	エーザイ講演会配信会場	エーザイ株式会社	2	会議室201
12月2日	12月2日	大鵬薬品 Dermatology Clinical Lecture講演会配信会場	大鵬薬品工業株式会社	2	会議室201
12月14日	12月14日	エーザイ講演会配信会場	エーザイ株式会社	2	会議室203
12月19日	12月19日	FFG経営者クラブセミナー	株式会社F F Gビジネスコンサルティング	2	会議室106
12月19日	12月19日	エーザイ講演会配信会場	エーザイ株式会社	2	会議室203
12月21日	12月21日	電機連合九州ブロックNO.2地協事務局長会議	電機連合西九州地方協議会	2	会議室112
12月22日	12月22日	AZ TVシンポジウム	アストラゼネカ株式会社	2	会議室114
12月22日	12月22日	エーザイ講演会配信会場	エーザイ株式会社	2	会議室104
1月20日	1月20日	日総工産(株)お仕事説明会	日総工産株式会社	5	会議室201
12月14日	12月14日	日総工産(株)お仕事説明会	日総工産株式会社	5	会議室201
11月9日	11月9日	日本食品衛生学会 打ち合わせ	個人	5	会議室106
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 1	日本内科学会	5	会議室204
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 2	日本内科学会	5	会議室204
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 3	日本内科学会	5	会議室204
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 4	日本内科学会	5	会議室202
11月18日	11月18日	日本内科学会 打合せ 5	日本内科学会	5	会議室201
11月18日	11月18日	慢性便秘診療ブラッシュアップセミナー	個人	5	会議室202
1月11日	1月11日	AZTVシンポジウム	アストラゼネカ株式会社	4	会議室111
12月21日	12月21日	kowa Webカンファレンス	興和株式会社	4	会議室106
12月13日	12月13日	WEBカンファレンス	株式会社J T B	4	会議室115
1月24日	1月24日	興和株式会社WEB講演会	興和株式会社	4	会議室105
12月10日	12月10日	己書	個人	4	会議室201
11月18日	11月18日	上五島心疾患連携セミナー	ノバルティスファーマ株式会社	4	会議室201
1月26日	1月26日	大正製薬株式会社WEBセミナー配信会場	個人	4	会議室103
12月9日	12月9日	大塚製薬 WEB講演会	個人	4	会議室115
11月15日	11月15日	長崎県央エリアCKD研究会	バイエル薬品株式会社	4	会議室202
11月21日	11月21日	日総工産(株)お仕事説明会	日総工産株式会社	4	会議室112
11月22日	11月22日	日本イーライリリー講演会	株式会社J T B 西日本M I C E 事業部	4	会議室115
12月1日	12月1日	GU Cancer Seminar	東武トップツアーズ(株)	3	会議室116
11月8日	11月8日	ILD 呼吸リハビリテーションWebセミナー	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	3	会議室 116
1月26日	1月26日	Lilly WEB 講演会	個人	3	会議室104
12月13日	12月13日	WEB講演会	木村情報技術株式会社	3	会議室106
1月24日	1月24日	WEB講演会配信会場	キッセイ薬品工業株式会社九州支店長崎営業所	3	会議室112
12月6日	12月6日	科研製薬WEBセミナー	科研製薬株式会社	3	会議室112
11月2日	11月2日	興和(株) WEB講演会	興和株式会社	3	会議室 111
11月1日	11月1日	興和株式会社WEB講演会	興和株式会社	3	会議室201
12月19日	12月19日	九州腹腔鏡下部消化管セミナー	オリンパスマーケティング株式会社	3	会議室110
1月14日	1月14日	己書	個人	3	会議室201
12月15日	12月15日	高尿酸血症スキルアップセミナー	持田製薬株式会社	3	会議室106
12月8日	12月8日	循環器疾患治療に漢方薬を活かす	個人	3	会議室110
11月9日	11月9日	循環器疾患制圧を考える会2022	バイエル薬品株式会社	3	会議室114
1月20日	1月20日	大塚製薬(株)会場	大塚製薬株式会社	3	会議室202
12月7日	12月7日	大塚製薬(株)会場	大塚製薬株式会社	3	会議室201
11月26日	11月26日	中京東部医師会学術講演会	塩野義製薬株式会社	3	会議室113
1月20日	1月20日	町田市医師会共催Webセミナー配信会場	アステラス製薬株式会社	3	会議室115
11月7日	11月7日	日総工産(株)お仕事説明会	日総工産株式会社	3	会議室202
12月22日	12月22日	AZ TVシンポジウム	アストラゼネカ株式会社	2	会議室114
1月19日	1月19日	Dermatology Skill Enhancement Seminar	ノバルティスファーマ(株)	2	会議室201
12月19日	12月19日	FFG経営者クラブセミナー	株式会社F F Gビジネスコンサルティング	2	会議室106
12月22日	12月22日	エーザイ講演会配信会場	エーザイ株式会社	2	会議室104
12月14日	12月14日	エーザイ講演会配信会場	エーザイ株式会社	2	会議室203
12月19日	12月19日	エーザイ講演会配信会場	エーザイ株式会社	2	会議室203
12月1日	12月1日	エーザイ講演会配信会場	エーザイ株式会社	2	会議室201
1月24日	1月24日	学会事前打ち合わせ	第63回日本肺癌学会九州支部学術集会 第46回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会	2	会議室201
1月26日	1月26日	学会事前打ち合わせ	第63回日本肺癌学会九州支部学術集会 第46回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会	2	会議室202
11月7日	11月7日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室203
11月8日	11月8日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室203
11月14日	11月14日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室201
11月15日	11月15日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室201
11月16日	11月16日	九州経済フォーラム打合せ	九州経済フォーラム	2	会議室201
11月18日	11月18日	群馬大腸癌Webセミナー	日本イーライリリー株式会社	2	会議室104
1月20日	1月20日	講演会配信会場	エーザイ株式会社	2	会議室203
11月9日	11月9日	高血圧コーチングセミナー	ノバルティスファーマ株式会社	2	会議室112

■出島メッセ長崎利用実績（令和4年11月1日～令和4年12月31日）

公開可能案件のみ

利用期間		催事名称	団体名	人数	利用会場
開始	終了				
12月2日	12月2日	大鵬薬品 Dermatology Clinical Lecture講演会配信会場	大鵬薬品工業株式会社	2	会議室201
12月21日	12月21日	電機連合九州ブロックNO.2地協事務局長会議	電機連合西九州地方協議会	2	会議室112
11月1日	11月1日	日本食品衛生学会 準備	個人	2	会議室202

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
228 ～ 229	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-10	シーボルト来日 200 周年 記念事業費	千円 20,163

1 概要

長崎市では、平成元年にシーボルト記念館を開館し、日本の近代化に貢献した出島オランダ商館医フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトを顕彰し、その功績を紹介している。

令和5年(2023年)は、シーボルトの来日(文政6年・1823年)200周年にあたることから、記念事業を開催することにより、シーボルトの功績をあらためて広く周知するとともに、シーボルトが紹介した長崎の魅力をアピールし、市民や観光客の長崎の歴史文化に対する意識・興味を高めて交流人口の拡大を目指す。

事業の実施にあたっては、シーボルト来日200周年記念事業推進委員会(以下、「推進委員会」という。)を設置し、長崎市のみならず広く産官学民の連携を図り、記念事業の充実と浸透を図る。

2 事業内容

(1)事業期間 令和5年度

(2)総事業費 20,163千円

(3)事業内容

ア 記念式典 6,062千円

来日200周年を記念して、子孫や関係者を招聘し式典を挙げる。

(ア)開催時期 令和5年10月14日(土)(予定)

(イ)開催場所 出島メッセ長崎 会議室(予定)

(ウ)出席者 長崎市長、長崎市議会議長、シーボルト子孫(ドイツ及び国内)、駐日ドイツ大使、駐日オランダ大使、推進委員会委員ほか 60名(予定)

(エ)事業費内訳

報酬・報償費(職員報酬・謝礼金)	1,697千円
旅費	976千円
需用費(レセプション費等)	425千円
役務費・使用料	415千円
委託料(司会・受付、通訳)	2,549千円

イ 記念シンポジウム 614千円

日本における西洋医学の発展や日本研究に果たしたシーボルトの功績を広く周知するため、シンポジウムを開催する。

(ア)開催時期 ①令和5年10月14日(予定)※記念式典と同日開催

②令和5年10月15日(予定)

(イ)開催場所 ①出島メッセ長崎(予定)

②長崎歴史文化博物館(予定)

(ウ)内容 ①シーボルトの医学上の功績と鳴滝塾について(仮題)

②シーボルトコレクションから見る日本の文化(仮題)

(エ)事業費内訳

報償費(講師謝礼金)	80千円
旅費	348千円
需用費	133千円
役務費・使用料	53千円

ウ 展覧会 8,481千円

シーボルト他共著『日本植物誌』にちなんだ写真展や生け花展示、同『日本動物誌』にちなんだ刺繍展を開催する。

シーボルトの功績を啓発する写真パネルを制作し、市内でのイベント開催に合わせ展示を行う
令和4年度に製作した鳴滝塾模型(複製)用展示ケースを購入する。

(ア)開催時期 6月～11月

(イ)開催場所 シーボルト記念館3階企画展示室ほか

(ウ)内容	『日本植物誌』にちなんだ写真パネル展	6月(予定)
	『日本植物誌』にちなんだ生け花展示	8～11月(予定)
	『日本動物誌』にちなんだ刺繍展	8月(予定)
	シーボルトの啓発パネル展示	8～11月(予定)
	シーボルト宅模型に関する映像制作	1式
	鳴滝塾模型用展示ケース購入	1台

(エ)事業費内訳

報償費	324千円
需用費	539千円
役務費	28千円
委託料(映像・パネル製作)	3,190千円
備品購入費(高気密性展示ケース)	4,400千円

エ 演劇共催 850千円

幕末から明治にかけて日本の近代化に貢献したシーボルト父子の活躍を紹介する演劇「シーボルト父子伝」の長崎公演に際し、経費の一部を負担する。

(ア)開催時期 10月(予定)

(イ)開催場所 市内文化施設ホール

(ウ)事業費内訳 負担金(会場等使用料相当額) 850千円

(エ)実施主体 ACTOR`S TRIBE ZIPANG

オ 推進委員会 46千円

産官学民連携による記念事業を推進するための委員会を開催する。

(ア)開催時期 4月～12月 計3回(予定)

(イ)委員構成 顕彰団体、商工団体、交流団体、教育機関、自治会など16団体

(ウ)事業費内訳

旅費、需用費 46千円

カ 広報プロモーション 4,110千円

記念事業を全国へ効果的に発信するとともに、行事開催会場への回遊性を高めるため、広報プロモーションを行う。

(ア)実施期間 4月～11月

(イ)内容 ポスター・パンフレット印刷、インターネット上の情報発信、デジタルスタンプラリーの実施

(ウ)事業費内訳

需用費(印刷) 550千円

委託料(プロモーション委託) 3,505千円

役務費 55千円

【参考】 デジタルスタンプラリー実施場所



3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
千円 20,163	千円 10,029	千円 -	千円 -	千円 7	千円 10,127

※1 デジタル田園都市国家構想交付金(充当率 対象経費の1/2)

※2 保険料個人負担金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

長崎市は、出島メッセ開業や西九州新幹線の開通など、100年に1度のまちづくりの変革期を迎え、各方面の注目を集めている。そのような中で、シーボルト来日200周年を歴史文化に関する100年に1度の節目と捉えて、長崎市への誘客の動機付けとしたい。また、市民の長崎の歴史文化への関心を高めるきっかけづくりとする。

(2) 効果

産官学民が連携し、シーボルトの知名度を活かした多彩な事業を実施することで、観光資源の磨き上げを図り、シーボルト記念館の入館者数の増加や交流人口の拡大を目指す。

回遊性の高い事業で施設やまちなかエリアをつなぎ、まちなかのにぎわい創出へを目指す。

多くの市民がシーボルトの功績について理解を深めることで、長崎の歴史文化への市民意識を高めたり、その魅力を発信することを目指す。

【シーボルト来日200周年記念事業が目指す効果】

ながさきの「いま」を活かす

出島メッセ長崎の開業を活かす

西九州新幹線の開業を活かす

長崎の魅力を活かす



シーボルトの知名度を活かす

シーボルトに関わる歴史的エピソードを付加し、観光資源の磨き上げにつなげる

シーボルトが出島オランダ商館医として全国の長崎遊学者へ医学伝授

シーボルトが江戸参府で通った長崎街道沿線の特徴を著書『日本』で紹介

シーボルトが著書『日本動物誌』で長崎の豊富な魚を紹介

オランダ・ライデン市やドイツ・ヴュルツブルク市と姉妹都市・市民友好都市として市民や博物館の交流を積み重ねている。

連携

医学系の学会

医学関連史跡や施設などへの誘導



・まちなかエリアに点在する長崎(小島)養生所跡資料館・出島・長崎歴史文化博物館などのシーボルトや西洋医学に関連する史跡や施設
・新大工町商店街、鳴滝地区など

長崎街道
(西九州新幹線沿線)



シュガーロード

さしみシティ
(長崎の食文化)

交流団体、自治会・学校との連携

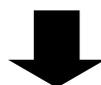
シーボルトを絡めた取組みを実施する

実施事業（産官学民の協力）

長崎大学 1,200 人規模の 200 周年記念「日本医学教育学会」開催	出島・歴史文化博物館 企画展、イベント	水産農林政策課 情報発信、イベント
新大工町・まちなか デジタルスタンプラリー 夏祭り パネル掲示	商工振興課・沿線自治体 沿線自治体の歴史的特色を情報発信	商工会議所・DMO ながさき検定 長崎さるく 長崎遊学券 情報発信
	交流団体・学校 展覧会、イベント	

目標（事業効果）

様々な取組みでシーボルトの功績を再認識



- ① シーボルト記念館の入館者を増やす
- ② 交流人口の拡大に寄与する
- ③ まちなかのにぎわい創出に寄与する

学会での 1,000 人規模の宿泊、消費拡大

各地域の観光資源の磨き上げによる訪問機会増

まちなか回遊拡大による交通・消費行動の拡大

新たな価値づけによる需要の喚起
さしみシティ賛同店舗 83 店への波及

長崎市第五次総合計画

【個別施策 A1-2】

歴史文化に対する市民意識を高め、その魅力を発信します

5 スケジュール

(1) 本事業費に係る行事(予定)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
記念式典							●		
記念シンポジウム							●		
展覧会		写真パネル展 ↔			刺繍展 ↔		生け花展示 ← 特別展 →		
演劇							●		
情報発信及び広報 プロモーション	チラシ印刷 ↔	ポスター・パンフレット印刷 ↔				デジタルスタンプラリー ←			
	インターネット等での情報発信 →								

(2) 推進委員会構成団体や関連部局が実施を予定している行事(予定)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
長崎国際観光 コンベンション協会	遊学券 掲載					シーボルト関連さるく ←			
新大工町商店街					夏祭り ●				
出島	屏風展示 ↔						旗竿式典 企画展 ↔		
長崎大学				学会 ●					
長崎歴史文化博物館							企画展 ←		
中央総合事務所		アジサイ装飾(鳴滝、中島川) ↔							

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
228 ～ 229	7 商工費	1 商工費	4 観光費	5-6	長崎ハタ揚げ大会 共催費負担金	千円 1,000

1 概要

長崎の伝統文化「ハタ揚げ」の保存・継承及び市民への周知を図るため、長崎ハタ揚げ振興会が実施するハタ揚げ大会開催への支援を行うもの。

2 事業内容

(1) 事業の主体（負担金交付先）

長崎ハタ揚げ振興会

（ 会 長：長崎新聞社代表取締役社長
構 成：長崎商工会議所、長崎市旅館ホテル連合会、長崎ハタの会、地元放送局
観光事業者、長崎市など
事務局：（一社）長崎国際観光コンベンション協会 ）

(2) 実施内容

ア 開催日程 令和5年4月上旬

イ 開催場所 唐八景公園

ウ イベント内容 自由ハタ揚げ、ハタ揚げ名人模範演技、親子ハタ揚げ教室、ハタ合戦等

(3) 集客数 約1万人（コロナ前の実績）

(4) 実施主体の収支予算書（案）

単位：千円

収入		支出	
会費収入	460	大会費	1,397
負担金（長崎市）	1,000	運営費	143
その他	80		
計	1,540	計	1,540

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 1,000	千円 500	千円 -	千円 -	千円 -	千円 500

※デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

- ・実施主体の収入の減少により、令和5年のハタ揚げ大会開催は困難であり、長崎市の伝統文化であるハタ文化の継承に支障をきたすことから、行政の支援が必要である。

(2) 効果

- ・伝統文化である長崎の春の風物詩ハタ揚げの保存・継承につながる。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
228 ～ 229	7 商工費	1 商工費	4 観光費	7-1	総合観光案内所運営費	千円 32,549

1 概要

施設やイベントといった観光情報はもとより、宿泊や飲食、二次交通情報など、旅行者が快適に観光を楽しんでいただけるよう、様々な情報をワンストップで入手できる観光案内所の運営を行うもの。

2 事業内容

(1) 総合観光案内所の概要

設置場所	西九州新幹線長崎駅舎1階(長崎市尾上町1番60号)
設置日	令和4年9月23日 ※西九州新幹線開業日
施設概要	<p>観光案内所は、来崎される観光客等をお迎えする玄関口、いわゆる「顔」となる施設であり、観光情報はもちろんのこと、宿泊や飲食、二次交通情報など、様々な情報をワンストップで入手できる施設とする。</p> <p>また、国内旅行者のみならず、訪日外国人旅行者がスムーズに長崎観光を満喫いただけるよう、多言語対応が可能なスタッフを常時配置する。</p> <p>ア 面積 : 約 200 m²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内スペース [受付、事務スペース等] ・情報収集スペース [タブレット端末、インターネット環境の提供] ・情報発信スペース [デジタルサイネージ、パンフレットラック等] <p>イ 人員体制 : 7名 [多言語対応]</p> <p>ウ 営業時間 : 8時～19時(年中無休)</p>

(2) 運営費内訳

ア 案内等委託料(26,288 千円)	受託者:(一社)長崎国際観光コンベンション協会 期 間:令和5年4月1日から令和6年3月 31 日
イ 共益費(2,589 千円)	電気代等光熱水費負担金
ウ その他経費(3,672 千円)	(ア) 委託料 ※案内等委託料を除く(2,105 千円) ⇒ 清掃、機械警備、空調・自動ドア保守点検等 (イ) その他維持管理費(1,567 千円) ⇒ 修繕費、消耗品費、通信費等

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
千円 32,549	千円 16,274	千円 -	千円 -	千円 6,533	千円 9,742

※1 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 補助率:1/2

※2 総合観光案内所管理費負担金

4 総合観光案内所で提供するサービス内容

<p>観光案内等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設、イベント情報も含め観光案内全般 ・運行情報の提供(新幹線、在来線の発車・到着時刻表) ・多言語対応できるスタッフの配置 ・2次交通の案内、予約 ・各種チケット販売 ・ガイド紹介 ・宿泊施設の案内、予約 ・着地型旅行商品の販売 ・遠隔手話通訳サービス ・コンシェルジュ(きめ細やかな観光案内を行う係員)の配置 ・ユニバーサルツーリズムの受付 ・車いす、ベビーカーの貸出 ・スマホ充電設備の設置
<p>情報収集</p>	<p>AIを活用したFAQ(モバイル端末を使用)、情報検索コーナーの設置 ※インターネット環境の提供</p>
<p>情報発信</p>	<p>マップ・パンフレットの配布、デジタルサイネージによるイベント情報・PR 動画、災害情報の発信</p>

5 設置状況



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
228 ～ 229	7 商工費	1 商工費	4 観光費	7-3	出島運営費	千円 47,971

1 概要

『史跡「出島和蘭商館跡」復元整備計画』に基づき、平成8年度から本格的に取り組んでいる出島復元整備事業と併せ、展示の充実等魅力向上を行いながら、国指定史跡の公開活用を図り、施設の適切な維持管理を行う。

令和5年は、出島の商館医であったシーボルトが来日して200周年にあたることから、シーボルトに関連する企画展を行う。

2 事業内容

(1) 指定管理に係る経費 39,260 千円

ア 指定管理者 出島 VOF(Vennootschap Onder Firma: 共同事業体を意味するオランダ語)

以下の5者により構成

- (ア) 代表団体 長崎自動車株式会社(長崎市新地町3番 17号)
- (イ) 構成団体 長崎バス商事株式会社(長崎市新地町2番 10号)
- (ウ) 構成団体 長崎バスホテルズ株式会社(長崎市新地町3番 17号)
- (エ) 構成団体 長崎バス建物総合管理株式会社(長崎市茂里町1番 55号)
- (オ) 構成団体 長崎総合警備株式会社(長崎市旭町3番6号)

イ 指定期間 令和2年4月1日から令和 17 年3月 31 日まで(15 年間)

ウ 令和5年度の収支算定

出島は完全利用料金制の施設で、本来であれば令和2年度の指定の際に指定管理者が提案していた固定納付金 27,500 千円を、指定管理者が市へ納付することとなっている。

新型コロナウイルス感染症による収支への影響に対する令和5年度の対応については、令和3年度及び令和4年度上半期の利用実績を踏まえた上で、収支の再算定を行うこととしており、再算定の結果、施設の運営経費に対する収入が不足することが想定される。

不足する額については、指定管理委託料として市が上限額を積算し、指定管理者が提案した収支に基づき額を決定するとともに、固定納付金については全額減額する。

エ 令和6年度以降の収支の再算定

令和4年度及び令和5年度上半期の利用実績を踏まえて対応を検討する。

オ 入場者数の推移

(単位:人)

年度	H30	R1	R2	R3	令和4年度 ※1月末まで
入場者数	532,013	459,147	165,191	196,992	349,868

カ 令和5年度の指定管理に係る委託料(指定管理者提案) 39,260 千円

収支		金額(千円)	内容
支出	人件費	19,721	給与、社会保険料等
	需用費	27,904	光熱水費、消耗品費、印刷製本費
	役務費	5,989	通信運搬費、保険料、手数料等
	委託料	104,130	エレベーター保守、消防用設備等保守等
	使用料・賃借料	1,105	電子複写機器借上料、下水道使用料等
	その他	4,807	事業所税等
	修繕料	7,700	
	合計(A)	171,356	
収入	利用料金収入(B)	132,096	指定管理者の提案額
指定管理委託料(A)－(B)		39,260	

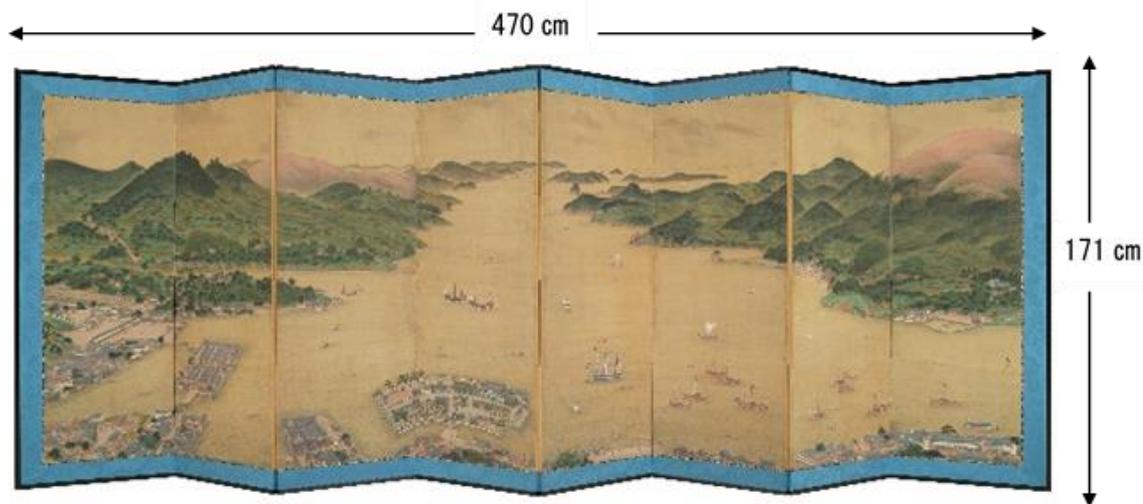
※なお、利用料金収入が提案額を上回った場合は、指定管理者は上回った額を、全額市に納付する。

(2) シーボルト来日 200 周年にかかる企画展 1,984 千円

ア 企画展開催費 1,984 千円

(ア) 内容

令和5年(2023)は、シーボルトが文政6年(1823)にはじめて来日してから 200 年目の節目にあたり、本市ではシーボルトのお抱え絵師とも言われた川原慶賀筆屏風の複製を制作、令和5年度に展示公開を行うとともに、シーボルトと川原慶賀、二人の人物に焦点をあてた企画展を行う。



川原慶賀筆屏風「長崎湾の出島の風景」
(ライデン国立民族学博物館所蔵)

(イ) 事業費

- ・展示品運搬、保険料 547 千円
- ・パネル制作等業務委託等 1,437 千円

(3) その他維持管理経費 6,727 千円

ア 委託料(企画展開催に係るものを除く) 2,448 千円

- (ア) 展示物の維持管理にかかる業務 2,006 千円
(十六番蔵収蔵庫燻蒸業務、出島表門橋点検業務等)
- (イ) 旗竿完成記念式典業務 442 千円

イ 施設等修繕料 2,300 千円

(ア) 旧出島橋保存小屋修繕 1,300 千円

(イ) 指定管理者の修繕料年間上限額を超える修繕 1,000 千円

ウ その他維持経費(旅費、消耗品費、備品購入費等) 1,979 千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
47,971	39,260	—	—	8,711	—

※1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 39,260 千円

※2 指定管理施設特定収入 8,707 千円、模写等使用料1千円、複写手数料1千円、目的外使用1千円、拾得金返還金1千円

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

文化財保護法に基づき、国指定史跡「出島和蘭商館跡」を適切に保存し、効果的に活用し、長崎市の魅力として後世に広く伝えていく。

(2) 効果

世界的に重要な役割を果たした出島の文化的価値を、長崎市民をはじめ、国内外に広めることで、市民の地域への愛着が高まり、市外から長崎を訪れたい魅力として発信される。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
230 ～ 231	7 商工費	1 商工費	4 観光費	7-26	長崎歴史文化博物館 特別企画展負担金	千円 3,300

1 概要

令和5年にシーボルトの来日から200周年を迎えることを記念し、長崎歴史文化博物館において特別企画展「シーボルト来日200年記念展(仮称)」を開催し、その経費の一部を負担する。本企画展では、シーボルトが長崎や江戸参府で訪れた国内各地において、どのような人々と交流し、日本での活動へと繋げていったのかについて、国内各地に残るシーボルトの関連資料からひも解くとともに、長崎が日本や世界各地に果たした役割の大きさを紹介する。

2 事業内容

- (1)企画展仮称 シーボルト来日200年記念展
- (2)実施期間 令和5年9月30日～11月12日 41日間
- (3)主 催 長崎県、長崎市、長崎歴史文化博物館
- (4)観 覧 料 一般 800円(予定)
- (5)展 示 内 容

ア プロローグ その名はシーボルト

肖像画などを通して代表的なシーボルトの姿を紹介する。

イ 第1章 文化・文政期の長崎～シーボルト来日の頃～

シーボルトが出島のオランダ商館付医師として着任した19世紀初頭から文政年間の長崎について紹介する。

ウ 第2章 シーボルトが見たナガサキ、そしてニッポン

長崎くんちや江戸参府随行などのテーマから、若きシーボルトが来日して見た長崎や各地の風景、日本研究などをたどる。

エ 第3章 シーボルトをめぐる人々

シーボルトが設置した鳴滝塾の門人や、鳴滝塾で交流した蘭学者をはじめ、役人、家族など、シーボルトをめぐる人々を通して、その足跡を振り返る。

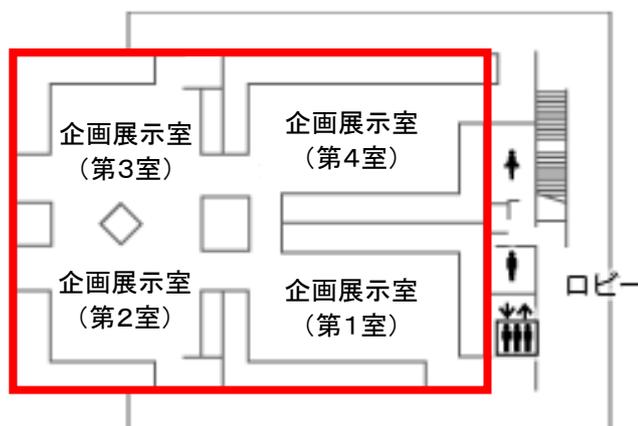
オ 第4章 その後のシーボルト

シーボルトが国外追放処分を受けることとなった、いわゆる「シーボルト事件」や第2回目の来日を取り上げる。

カ エピローグ シーボルト研究 をめぐって(回顧 と展望)

大正13年(1923年)の渡来100年記念を中心に、これまでのシーボルトの研究を紹介する。

(6)会 場 長崎歴史文化博物館3階 企画展示室(第1室～第4室)



(7)展 示 点 数 絵画、書など約 150 点(予定)



シーボルト肖像
(長崎歴史文化博物館蔵)



唐蘭館絵巻
(長崎歴史文化博物館蔵)



犯科帳
(長崎歴史文化博物館蔵)

(8)入場者見込数 約 15,000 人

(9)事 業 費

総事業費	負担額(※)		観覧料・物販収入 ほか
	長崎県	長崎市	
千円 17,510	千円 3,300	千円 3,300	千円 10,910

※負担割合は「長崎歴史文化博物館の運営に関する協定書」に基づき、県1:長崎市1

<事業費内訳>

- ・調査打合せ費 1,360 千円
- ・輸送費 4,979 千円
借用資料の運搬費、資料借用料、保険代
- ・会場設営費 4,708 千円
作品展示撤去費、展示室造作費、キャプション・パネル製作費 ほか
- ・広報費 2,330 千円
ポスター・チラシ作成、テレビ CM 制作・放送料 ほか

・関連行事経	666 千円	
・監視員費	1,946 千円	
・その他	1,521 千円	計 17,510 千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
3,300	—	—	—	—	3,300

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
230 ～ 231	7 商工費	1 商工費	4 観光費	9-1	【単独】観光施設整備事業費 出島	千円 57,000

1 概要

出島内には、第Ⅰ期(平成12年3月完成)復元建造物5棟、第Ⅱ期(平成18年3月完成)復元建造物5棟、第Ⅲ期(平成28年10月完成)復元建造物6棟が完成しており、他に旧出島神学校等の明治期の洋館等を含めて、全21棟の建物が存在している。このうち、第Ⅲ期復元建造物を除く15棟の建物については、経年劣化による傷み等が発生しているため、令和元年度に、年次改修計画を策定した。

この改修計画に基づき、入場者の見学への支障を最小限にとどめること等に配慮しつつ、緊急度の高い建物から計画的・効率的に改修工事を実施する。

2 事業内容

(1) 事業費

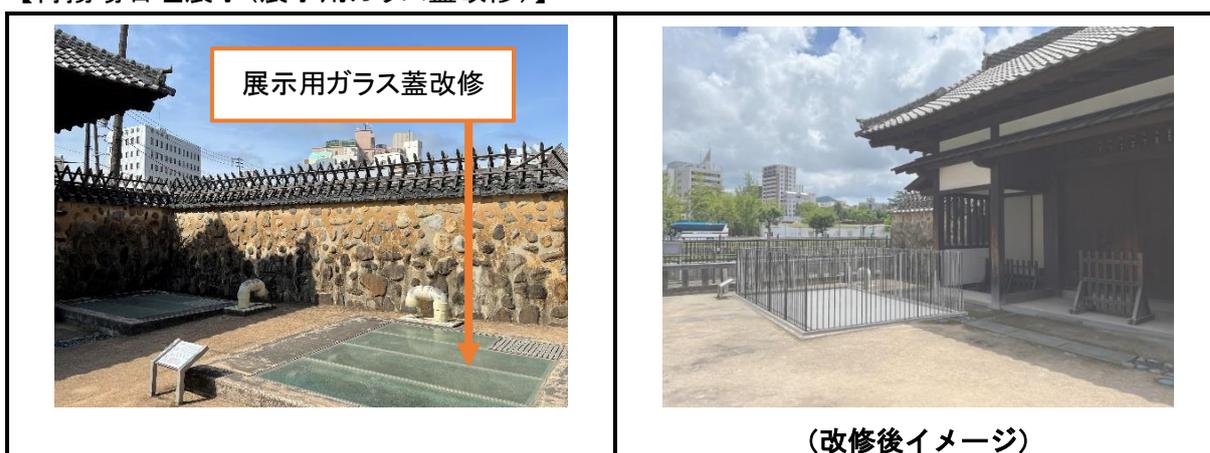
ア 既存復元建造物改修工事設計	4,900 千円
イ 出島和蘭商館跡内復元建造物等改修支援業務委託	1,100 千円
ウ 旧長崎内外クラブ改修工事設計	1,967 千円
エ 既存復元建造物改修工事	49,033 千円

※令和5年度 改修工事予定箇所

【水門前荷揚柵(笠木・控柱改修等)】



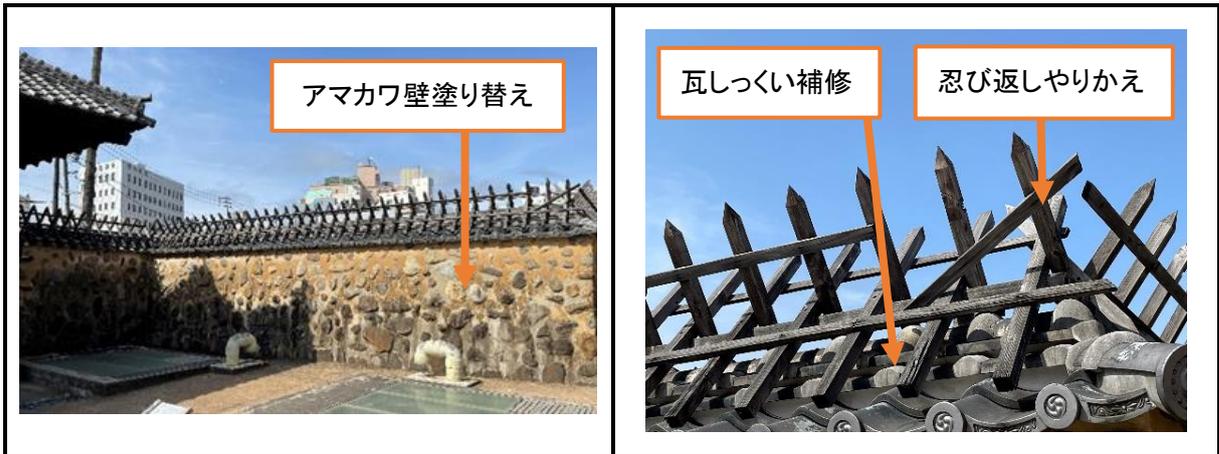
【荷揚場石垣展示(展示用ガラス蓋改修)】



【西側券売所(外壁塗装等)】



【西側復元練堀(忍び返しやりかえ等)】



【乙名部屋(たたきやりかえ)】



(2) 改修工事の進め方

西側復元練堀改修のみ足場設置を予定している。主な改修範囲は、外構や管理用の施設になるため場内見学に大きな影響はないが、乙名部屋の土舗装改修時は、建物内に入場できない期間が発生する。

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 57,000	千円 —	千円 —	千円 51,300	千円 5,700	千円 —

※1は地域活性化事業債 充当率 90%(交付税措置率 30%)

※2は出島史跡整備基金繰入金

4 事業実施の必要性和その効果

(1) 必要性

出島内にある復元建造物及び明治期の洋館等の既存建造物を文化観光施設として永続的に活用しながら、入場者の安全確保と建造物の適切な保存を図るためには、経年劣化の程度を考慮しながら計画的に改修していく必要がある。

(2) 効果

既存建造物の改修を計画的かつ効率的に実施することで、入場者への危険を回避するとともに、出島の街並みを安全で美しい状態に保つことができ、入場者の満足度を向上させ、ひいては入場者の増加につながると考えられる。

5 今後の改修計画予定

年度	建物等	改修内容
令和5年度	水門前荷揚柵	笠木・控柱改修、土舗装やりかえ
	荷上場石垣展示	展示用ガラス蓋改修
	西側券売所	外壁塗装、板戸やりかえ等
	西側復元練堀	忍び返しやりかえ、アマカワ壁塗り替え等
	乙名部屋	たたきやりかえ
令和6年度	旧長崎内外クラブ	建具やりかえ、外部補修、瓦補修等
	拝礼筆者蘭人部屋	たたきやりかえ、壁中塗りやりかえ等
	表門	外部漆喰塗り替え、外部塗装等
	二番蔵	外部塗装、外部板張り補修等
令和7年度	旧出島神学校	外壁補修、建具やりかえ、瓦・瓦漆喰補修等
令和8年度	北側漆喰練堀	瓦交換、壁クラック補修、通用門やりかえ等
	ヘトル部屋	外部塗装、板庇やりかえ、照明器具交換等
令和9年度	東側漆喰堀	中塗りやり替え、漆喰やりかえ等
	一番船船頭部屋	板庇やりかえ等
	二番蔵	瓦漆喰補修、外壁漆喰補修、板庇やりかえ等
	建物間舗装	カピタン部屋下、水門前土舗装やりかえ
	カピタン部屋	唐紙補修

(参考)出島平面図



※令和元年度は、ヘトル部屋、カピタン部屋の2棟実施。

※令和2年度は、一番船船頭部屋、一番蔵、拝礼筆者蘭人部屋の3棟実施。

※令和3年度は、料理部屋、新石倉、旧石倉の3棟実施。

※令和4年度は、カピタン部屋1棟、乙名部屋掛け雨戸、鐘楼の実施。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
230 ～ 231	7 商工費	1 商工費	4 観光費	9-2	【単独】観光施設整備事業費 旗竿再現(出島)	千円 9,500

1 概要

出島に設置されていたオランダ国旗を掲揚するための旗竿は、当時の出島を象徴する構造物であり、出島復元整備事業では旗竿の復元を計画しているが、遺構が検出されず、復元ができない。また、往時の旗竿は、大型構造物であったことから、遺跡への影響等を配慮すると設置が困難な状況にある。

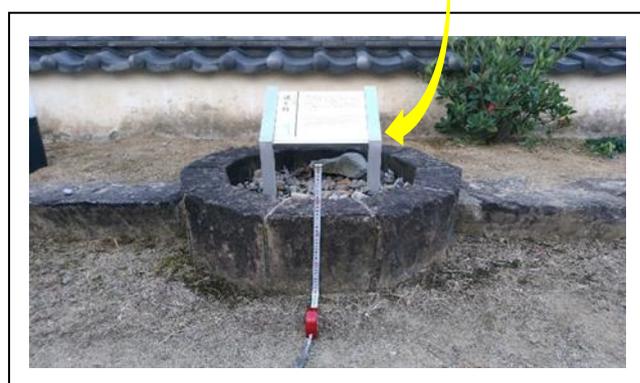
このような状況の中、出島においてオランダ国旗が翻っていた様子を再現し、和蘭商館として担った国際的な位置付けを顕在化することを目的として、往時の旗竿より簡易な構造物を、旗竿が設置されていたと推定される位置に設置する。

2 事業内容

(1) 事業費 旗竿設置工事 9,500 千円

(2) 設置場所

一番蔵、二番蔵や絵図面から推定される位置に設置する。



※現在、旗竿の推定位置を石で表示

(3) 仕様

ア フラッグポール

- ・高さ:12m
- ・色 :グレー系(明度を高くし、復元建物の漆喰壁や空になじませ目立たなくする。)

イ 基礎

- ・東西両側に附属階段を設置する。

(4) 設置イメージ



【イメージパース】
場内より(二番蔵前)
フラッグポール(12m)



【イメージパース】
中島川対岸より
フラッグポール(12m)
二番蔵(約9m)

【前提条件】

- 史跡であるため掘削できない。
- 既存の国旗掲揚台を基本とするため、小型、軽量となり、大型の基礎を必要としない。地下に基礎を埋設せず、表面のみ削って設置する。
- 活用のための旗竿であり、復元ではない。
- 周囲の復元建物や河川への倒壊の恐れがないように安全面の配慮を行う。
- 基礎の埋め方、見え方を検討し、修景に配慮する。
- 高さは、復元建物の屋根より上部に旗が位置するようにする。
- 説明板を設置する。

(5) スケジュール

令和5年 4月 設置工事発注

9月 設置工事完成

10月 完成記念式典

※シーボルト来日 200 年記念式典にあわせて開催予定

(6) 活用方法

オランダの記念日、日本の記念日、休日、出島のイベント開催日などにあわせて、オランダ国旗の掲揚を行う。

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 9,500	千円 —	千円 —	千円 8,500	千円 —	千円 1,000

※地域活性化事業債 充当率 90%(交付税措置率 30%)

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

- ・旗竿の再現は、出島の歴史的価値を顕在化し、和蘭商館として出島が担った国際的な役割を視覚的に現代に伝え、理解促進を図るうえで有効である。
- ・旗竿は日蘭交流を象徴する構造物として、いったんは平成 8 年度に出島の中央部に設置され、その後、出島内の復元工事の進行に伴い平成 24 年度に撤去された経緯があり、長年再設置が望まれている。

(2) 効果

- ・出島に新しい魅力が生まれることにより、出島に関する情報が効果的に発信され、来場者の満足度向上、交流人口の増加につながる。
- ・オランダと長崎との関係をさらに深めるとともに、シーボルト来日 200 周年の節目を迎える今年度に完成を目指すことにより、他事業と連携し、世界に向けて交流都市長崎をアピールする効果を高める。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
232 ～ 233	7 商工費	1 商工費	4 観光費	9-4	【単独】観光施設整備事業費 ペーロン体験施設	千円 180,000

1 概要

牧島ペーロン体験施設(体験施設棟)は老朽化に伴い、鉄骨が錆びて腐食が進んでいる箇所が多数見受けられ、施設の外観に影響が出ているほか、現況を放置した場合、利用者の安全確保に問題が生じる可能性があり、早急な対応を要する状況となっている。本施設は以下の理由により、今後も引き続き適正に施設を運営していく必要があることから、令和4年度に建替えに伴う実施設計及び土質調査を行い、令和5年度に建替えを行うもの。

【理由】

- (1)長崎の伝統行事であるペーロンを体験することができる本施設は、体験型観光コンテンツの1つとして、主に修学旅行で利用されており、平成8年度から令和3年度までの25年間で、延べ411,295人が利用するなど、本市における観光業を通じた交流人口の拡大に大きく寄与しているほか、ペーロン文化の保存継承の一助となっている。
- (2)体験施設棟が使用できなくなることは、施設そのものの休止あるいは廃止につながることとなり、仮に休止あるいは廃止する場合、本市の修学旅行先としての魅力低下、ひいては年間約1万人～2万人の交流人口を創出する機会の減にもつながる。

2 施設概要

- (1)設置目的:長崎の伝統行事であるペーロン体験の受入態勢を整備することにより、体験型修学旅行の誘致促進を図る。
- (2)所在地:長崎市牧島町 413-39 及び 413-40
- (3)体験料:1,500円/人(小学生は1,300円/人)
- (4)運営管理者:牧島ペーロン保存愛好会
※市と愛好会とで平成13年4月1日付で施設管理に関する協定書を締結

(5)直近5年間の利用者数(修学旅行等) (単位:人)

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
16,852	17,436	12,774	3,799	6,319

3 事業内容

工事請負費	牧島ペーロン体験施設(体験施設棟)建替え工事(180,000千円)
内容	既存建物改築主体工事、電気工事、管工事

4 事業費

(1)令和4年度[完了]

牧島ペーロン体験施設(体験施設棟)新築に伴う実施設計業務委託	4,136千円
〃 土質調査業務委託	4,755千円
その他事業費(構造適判料、アスベスト調査業務委託)	281千円

(2) 令和5年度

牧島ペーロン体験施設(体験施設棟)改築主体工事(137,303千円)	180,000千円
〃 電気工事(11,233千円)	
〃 管工事(31,464千円)	

5 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 180,000	千円 0	千円 0	千円 162,000	千円 0	千円 18,000

※ 地域活性化事業債 (充当率:90%)

6 建替え後の建物の規模等

構造/階層	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 2階建て
延床面積	417.48 m ² (現在:366.67 m ²)
機能	ペーロン船格納庫(6隻程度格納)、事務所、更衣室×2、男女便所、倉庫

7 事業実施の必要性と効果

(1) 必要性

体験施設棟は、全体的に老朽化が進行しており、部分的な改修や修繕等では対応できない状態にあることから、適正な施設運営のため、建替えを実施する必要がある。

(2) 効果

本施設が安全に利用できる施設となり、ペーロン体験のハード面における受入態勢が整うことで、体験型修学旅行の更なる誘致促進が図られるとともに、交流人口の拡大につながる。

8 スケジュール(予定)

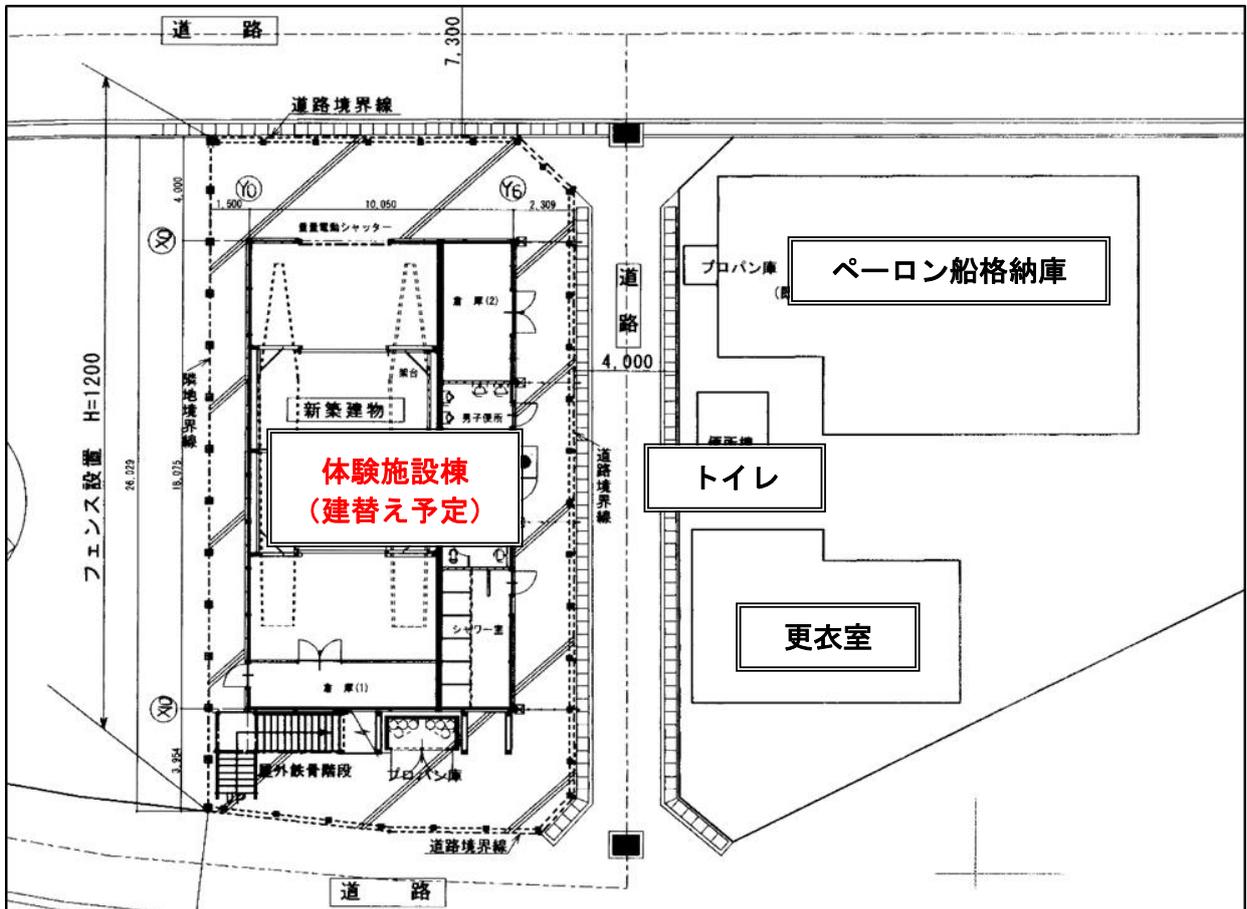
令和5年4月～5月	入札・契約
令和5年6月～令和6年3月	建替え工事(主体工事、電気工事、管工事)
令和6年4月～	施設供用開始

※建替え工事期間中は、近隣の公民館等を使用し、継続予定

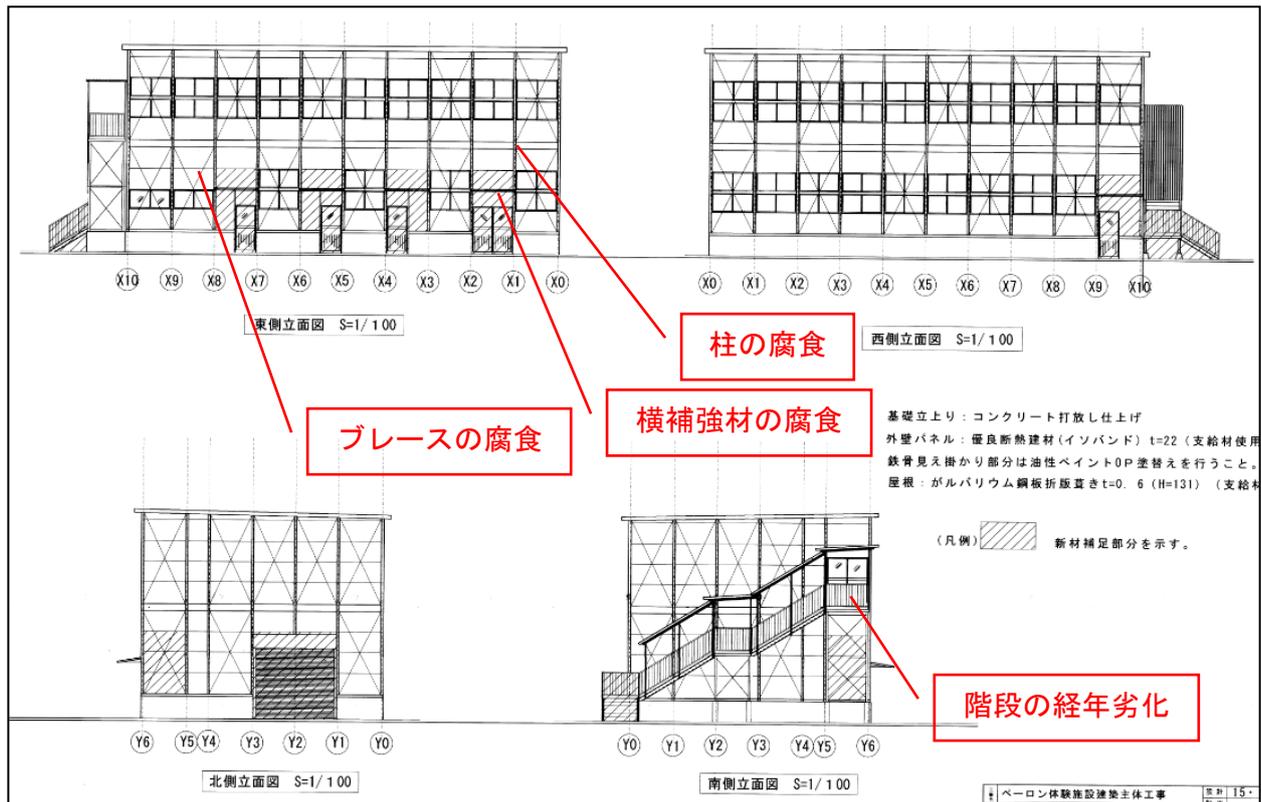
※利用者が集中する時期(6月～7月)

9 参考

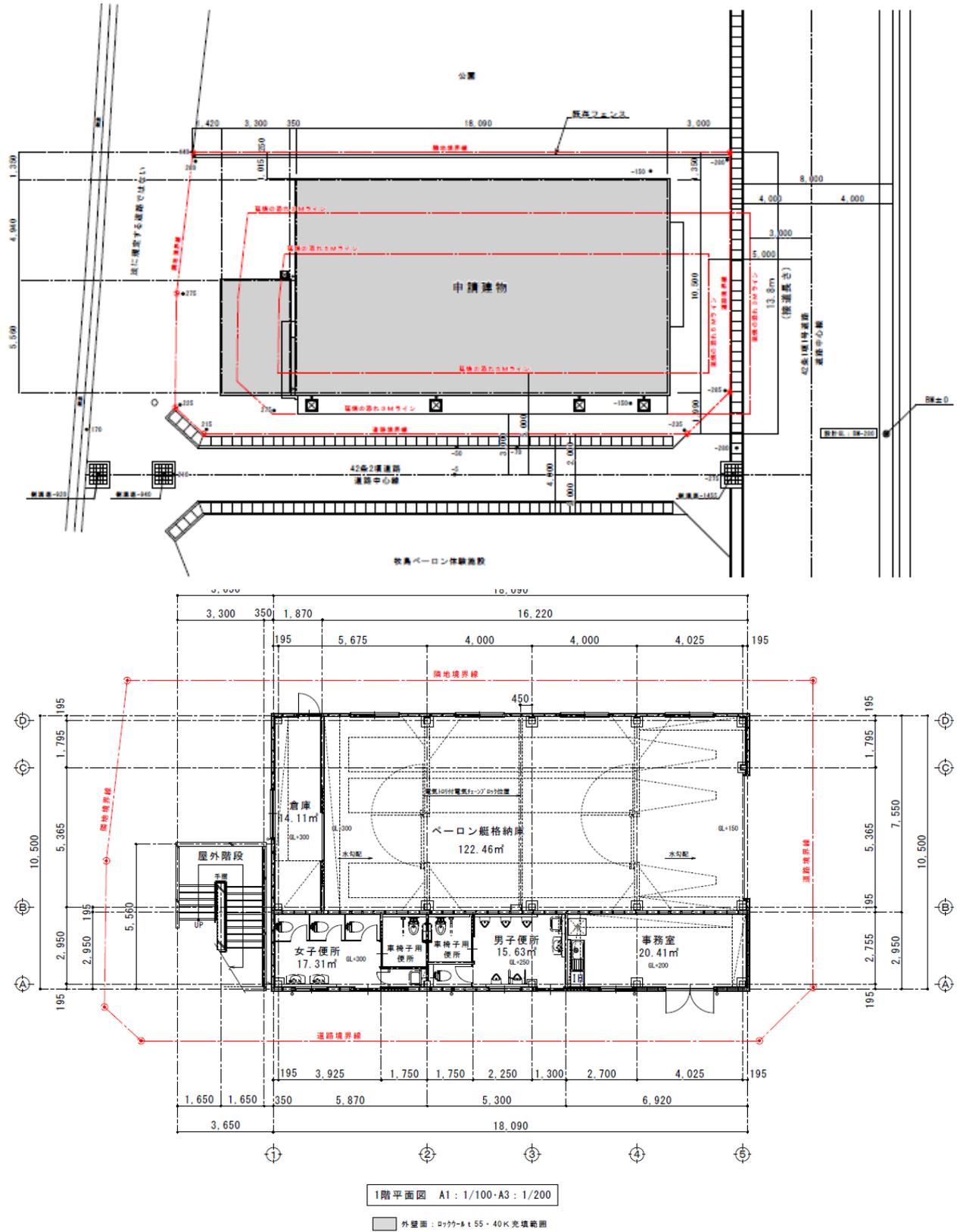
(1)位置図及び平面図

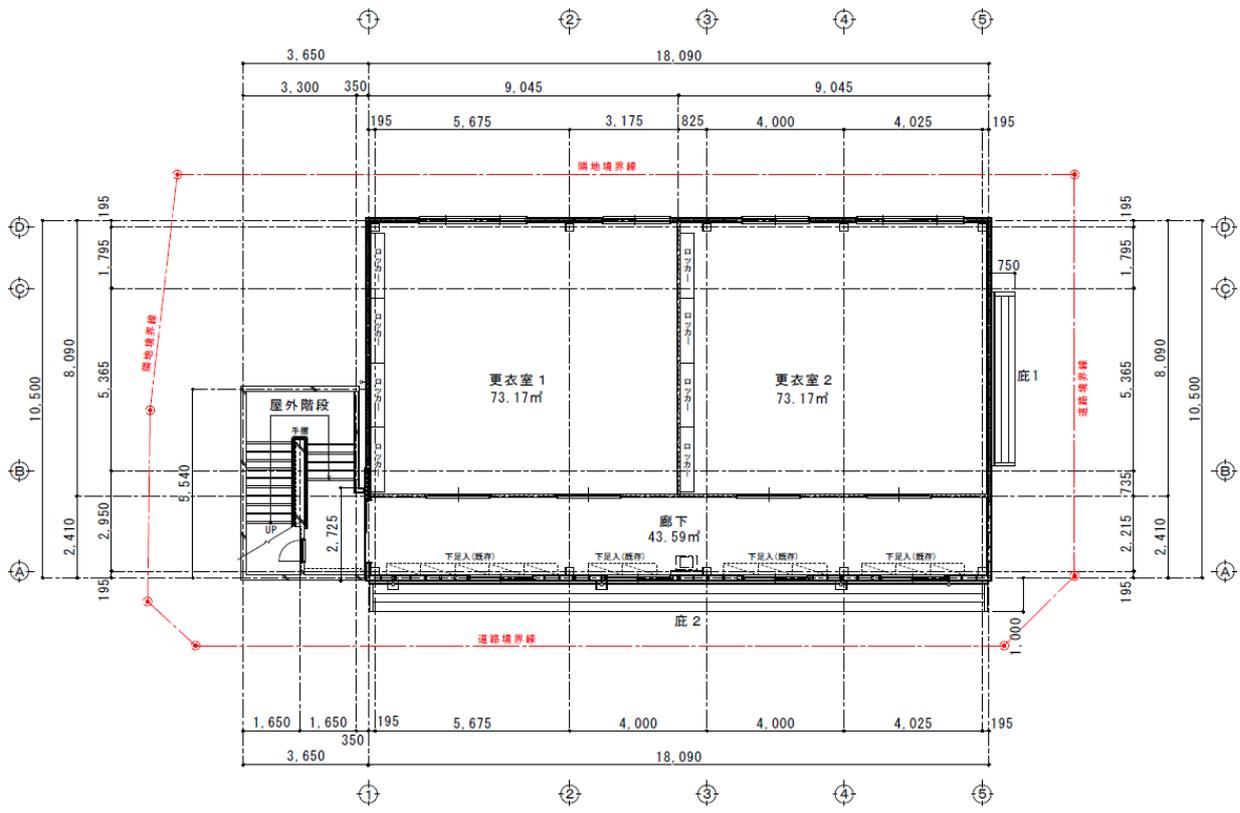


(2) 現況



(3) 建築予定建物平面図





2階平面圖 A1 : 1/100-A3 : 1/200

外壁面 : D777-4 t 55・40K 充填範圍

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
284 } 285	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	3-1	【補助】文化財保存整備事業費 国指定重要文化財旧長崎英国 領事館	千円 313,400

1 概要

明治 41 年の建設以来、大規模な修理等がなされておらず、地盤沈下や建物の傾斜、外壁の劣化等が進行している旧長崎英国領事館について、全体にわたる本格的な保存修理及び耐震補強工事を実施するとともに、公開活用に必要な防災施設等を整備する。

<建物>

本 館 煉瓦造2階建 棧瓦一部銅板葺 建築面積 464.70 m²
 附 属 屋 煉瓦造平屋建 棧瓦一部鉄板葺 建築面積 109.4 m²
 職員住宅 煉瓦造・木造2階建 棧瓦一部鉄板葺 建築面積 219.70 m²

2 事業内容

(1)保存修理、耐震補強工事

事業期間：平成 27 年度～令和 7 年度

令和 5 年度：300,000 千円

本 館：左官仕上復旧、内装復旧、塗装復旧

附 属 屋：左官仕上復旧、内装復旧、塗装復旧

職員住宅：内装復旧、塗装復旧、建具復旧、煉瓦躯体復旧、基礎補強

(2)防災施設整備(公開活用に必要な整備)

事業期間：令和 3 年度～令和 7 年度

令和 5 年度：0 千円

(3)活用施設整備

事業期間：令和 3 年度～令和 7 年度

令和 5 年度：13,300 千円

展示にかかる基本設計

3 財源内訳

(単位:千円)

区 分	事 業 費	財 源 内 訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	一般財源
保 存 修 理	300,000	※1 150,000	※3 7,500	※4 142,500	0
防 災	0	—	—	—	—
活 用	13,300	※2 7,315	—	※5 5,300	685
そ の 他	100	—	—	—	100
計	313,400	157,315	7,500	147,800	785

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率:50%(建造物保存修理)

※2 観光拠点整備事業(文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業)
補助率:55%(上限 5,000 万円)

※3 指定文化財保存整備事業補助金 補助率:国庫支出金を除く2/5 *

※4 合併特例事業債 充当率:95%(交付税措置率 70%)

※5 一般補助施設整備等事業債 充当率:90%(交付税措置率 30%)

* 指定文化財保存整備事業補助金の詳細

〈年度事業費が1億円未満の場合〉

年度事業費(①)			
国庫支出金(②) 1/2(50%)	県支出金(③) 国庫支出金を 除く2/5(20%)	市負担	
		地方債 ①-②-③×90%(27%)	一般財源 (3%)

〈年度事業費が1億円以上の場合〉

年度事業費(①)			
国庫支出金(②) 1/2(50%)	市負担		
	地方債 ①-②×90%(45%)		一般財源 (5%)
	交付税措置 (13.5%)	真水負担(31.5%)	
		市負担(18.9%)	県支出金 2/5(12.6%)

市負担(3%) ↑
 県支出金 2/5(2%) ↑

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

旧長崎英国領事館においては、創建以来、本格的な保存修理が行われておらず、劣化した本館、附属屋、職員住宅などの建造物及び石塀等の工作物を含む全体の保存修理、耐震補強工事等を行い、その保存と活用を図る必要がある。

(2) 効果

長崎港に面する重要伝統的建造物群保存地区内にある重要文化財で、景観の主軸となる建造物等の適切な維持管理が図られ、国民の財産として後世に継承することができる。

5 スケジュール

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
保存修理事業	1期工事①(H27.9.24～H30.12.28)				1期工事②(H30.12.19～H31.3.20)						
	設計監理委託(H27.12.22～H31.3.20)										
2期工事					2期工事(H31.3.15～R7.6.30)						
					設計監理委託(H31.3.25～R7.9.30)						
防災 活用 展示 その他					保存活用計画策定(R元.9.24～R3.3.30)						
					防災・活用設計						
					EV・通路屋根基礎工事						
					展示実施設計整備						
					展示基本設計						
				境界確定登記測量委託							
				防災・活用工事							

6 活用の検討

旧長崎英国領事館修理委員会(長崎市伝統的建造物群保存地区保存審議会が設置する小委員会)の意見を踏まえ、令和元年度から令和2年度にかけて保存活用計画を策定した。

<旧長崎英国領事館活用の基本方針>

- ・重要文化財としての価値や歴史に関する情報を発信
- ・領事の仕事や生活に関する情報を発信
- ・芸術の発信、人々の交流拠点

(1)本館

- 1階 英国領事館の価値や歴史に関する情報を発信
- 2階 野口彌太郎に関する展示(絵画、資料、アトリエ展示等)

(2)附属屋及びオープンテラス

英国の雰囲気を感じ、飲食を提供することも可能な交流・憩いの場として活用

(3)職員住宅

ミュージアムショップ、貸室等として多目的に活用

7 長崎居留地歴まちグランドデザイン

長崎市歴史的風致維持向上計画の重点区域の範囲(東山手・南山手区域)において歴史的資源を生かしたまちづくりに官民協同で取り組み、地域の歴史的風致の維持向上を図ることで持続可能な地域を実現するため、将来像とその実現のための基本的な方向性を示すことを目的として計画を策定した。(令和3年11月)

<旧長崎英国領事館の位置付け>

- 暮らし・賑わいゾーンにおける陸のゲート
- ・観光案内やガイドの拠点などの来訪者のゲートウェイ機能
- ・重要文化財建造物の魅力や歴史を伝える情報発信機能
- ・当時の領事の仕事や生活を追体験できる展示機能
- ・区域全体の歴史文化や芸術等の情報発信機能
- ・魅力的な物販・飲食やワークスペース等の多様な機能が集積した地域活性化・交流拠点機能
- ・英国との国際交流の歴史を生かしたコンテンツの創出

【参考】旧長崎英国領事館

1 平面図



【凡例】

- :本館
- :附属屋及びオープンテラス
- :職員住宅

2 建物外観



本館



附属屋



職員住宅（煉瓦棟）



職員住宅（木造棟）

3 沿革

明治 41 年	旧長崎英国領事館現在地に竣工
昭和 17 年頃	英国領事館閉鎖
昭和 30 年	長崎市買収
昭和 32 年	長崎市立児童科学館設置
平成元年3月 31 日	長崎県有形文化財指定
平成2年3月 19 日	国重要文化財に指定(県指定有形文化財解除)
平成元年度～平成2年度	職員住宅保存修理工事実施
平成3年度～平成4年度	美術館として活用するため保存整備工事実施
平成5年4月	長崎市野口彌太郎記念美術館として開館
平成 19 年3月	長崎市野口彌太郎記念美術館を移転し閉館
平成 23～平成 24 年度	保存修理事業(建造物の破損調査及び構造補強方針策定)
平成 26～平成 30 年度	保存修理第1期工事実施
平成 30 年度(3月)	保存修理第2期工事に着手
令和元年度(9月)	保存活用計画策定に着手
令和3年3月	保存活用計画策定

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
284 ～ 285	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	3-2	【補助】文化財保存整備事業費 国指定重要文化財旧オルト住宅	千円 208,900

1 概要

旧オルト住宅は、軒高の高い堂々たる偉容で、幕末明治期洋館遺構中の最も秀でた建物で、昭和47年5月15日に国の重要文化財に指定されている。しかし、前回の保存修理工事から約40年が経過し、建物各所で経年劣化が進行している。

また、令和元年度から2年度にかけて実施した耐震診断により、部分的に耐震補強が必要であることが判明していることから、耐震補強を含む保存修理工事を行うもの。

2 事業内容

- (1) 建物概要
- | | | | | |
|-----|-----------|-----|------|----------------------|
| 主屋 | 木造及び石造平屋建 | 棧瓦葺 | 建築面積 | 504.1 m ² |
| 付属屋 | 煉瓦造平屋建 | 棧瓦葺 | 建築面積 | 108.1 m ² |
| 倉庫 | 煉瓦造平屋建 | 棧瓦葺 | 建築面積 | 12.5 m ² |

(2) 実施内容 保存修理・耐震補強工事

ア 保存修理工事(主屋・付属屋・倉庫)

- (ア) 屋根瓦の葺き替え
- (イ) 外部:石・煉瓦の含浸強化処理、建具等の塗装改修
- (ウ) 内部:漆喰改修、天井及び壁の紙貼改修、建具等の塗装改修、床板改修

イ 耐震補強工事(主屋・付属屋)

- (ア) 煉瓦煙突の補強(鉄筋挿入)
- (イ) 石柱の柱頭及び柱脚補強(ダボ埋込・水平ブレース設置)
- (ウ) 外部石壁補強(石積み頂部を内部軸組へ緊結)
- (エ) 土壁下土台補強(足固め)
- (オ) 煉瓦躯体の補強(鉄骨補強・アラミドロッド目地置換)

令和5年度

設計監理業務委託

仮設工事・解体工事・耐震補強工事

(3) 実施期間 令和4年度 ～ 令和7年度

(4) 事業費 令和5年度 208,900 千円

- | | |
|-------|-----------------|
| 工事費 | 185,559 千円 |
| 委託費 | 21,800 千円 |
| 委員会費等 | 1,541 千円(旅費を含む) |

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳			
	国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	一般財源
千円 208,900	千円 103,800	千円 10,400	千円 93,400	千円 1,300

※1 国宝重要文化財等保存整備費補助金 補助率: 1/2(補助対象経費 207,600 千円)

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率: 国庫支出金を除く2/5 *

※3 一般補助施設整備等補助事業債 充当率: 90%(交付税措置率: 30%)

* 指定文化財保存整備事業補助金の詳細

〈年度事業費が1億円未満の場合〉

年度事業費(①)			
国庫支出金(②) 1/2(50%)	県支出金(③) 国庫支出金を 除く2/5(20%)	市負担	
		地方債 ①-②-③×90%(27%)	一般財源 (3%)

〈年度事業費が1億円以上の場合〉

年度事業費(①)				
国庫支出金(②) 1/2(50%)	市負担			一般財源 (5%)
	地方債 ①-②×90%(45%)			
	交付税措置 (13.5%)	真水負担(31.5%)		↑
		市負担(18.9%)	県支出金 2/5(12.6%)	

市負担(3%)
県支出金 2/5(2%)

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

以前の保存修理(昭和 54 年終了)から約 40 年が経過し、建物の劣化が進んでいる状況の中、平成 26 年度には保存活用計画を策定しており、旧オルト住宅の適切な保存管理と公開活用を図るため、同計画に基づく本格的な保存修理及び耐震補強工事を行う必要がある。特に、多くの観光客等が来訪する施設であり、安全性確保のうえで早急な事業実施が求められる。

(2) 効果

文化財建造物の適切な維持管理が図られ、国民の財産として後世に継承することができる。

5 スケジュール

<旧オルト住宅保存修理事業>

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
事業内容	 保存活用 計画策定						 耐震診断			 設計・工事監理業務			
										 保存修理・ 耐震補強工事			

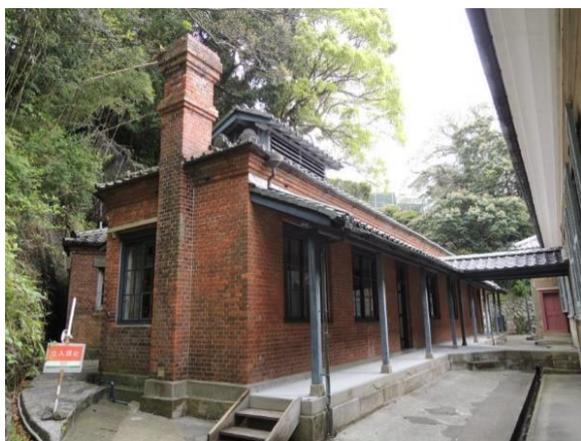
6 建物外観



主屋(西側)



主屋(南側)



付属屋



倉庫

7 沿革

文久3年(1863)	オルト商会社員シムソンとベッドウェルが南山手 14 番地を借地
慶応元年～明治元年	オルト一家が居住
明治 36 年～昭和 16 年	リンガーが購入し、長男フレデリック・E・E・リンガー一家が居住
昭和 45 年	長崎市が取得
昭和 47 年	重要文化財の指定を受ける
昭和 49 年	グラバー園オープン
昭和 52 年～54 年	保存修理事業(半解体工事)
平成 25 年～26 年	保存活用計画策定
令和元年～令和2年	耐震診断実施

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
286 ～ 287	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	4-1	【補助】文化財保存整備事業費 補助金 伝統的建造物群保存地区	千円 342,008

1 概要

国選定重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物の保存修理等事業に対し、長崎市伝統的建造物群保存地区保存条例第 11 条の規定に基づき、事業費の一部について補助を行うもの。

2 事業内容

伝統的建造物群保存地区内の特定された伝統的建造物の保存修理等事業に対する補助。
 (伝統的建造物 補助率:対象事業費の2/3)

3 対象事業

(1) マリア園(南山手): 伝統的建造物の保存修理・耐震補強工事

<建物>

建築年月日 明治 31(1898)年

特定年月日 平成2年 10 月 23 日(伝統的建造物)

H30 年度	耐震診断・耐震補強設計	25,855 千円(総事業費 38,783 千円)
R元年度	耐震補強設計・工事	37,567 千円(総事業費 56,351 千円)
R2年度	耐震補強工事	30,182 千円(総事業費 45,274 千円)(繰越:令和3年2月補正)
R3年度	耐震補強工事	91,948 千円(総事業費 137,922 千円)(繰越:令和3年 11 月補正)
R4年度	耐震補強工事	93,106 千円(総事業費 139,659 千円)
R5年度	耐震補強工事	339,432 千円(総事業費 509,148 千円)

事業スケジュール

区分	H30			R元			R2			R3			R4			R5			
	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	7	11	3	
耐震診断・設計			→																
外壁修理工事						→	文化庁協議、発注準備等												
耐震補強工事						→												

※令和6年開業予定

(2)A氏宅(南山手):伝統的建造物の保存修理工事

<建物>

建築年月日 明治初期

特定年月日 平成2年 10月 23日(伝統的建造物)

R5年度 保存修理工事 2,576千円(総事業費 3,864千円)

4 財源内訳

(単位:千円)

補助対象	総事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳			事業者(主) 負担額 ①-②
			国庫支出金 (5/10)※1	県支出金 (2/10)※2	一般財源 (3/10)	
マリア園	509,148	(2/3) 339,432	169,716	67,886	101,830	169,716
A氏宅	3,864	(2/3) 2,576	1,288	515	773	1,288
計	513,012	342,008	171,004	68,401	102,603	171,004

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率1/2

(重要伝統的建造物群保存地区保存事業)

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率1/5

5 事業実施の必要性とその効果

(1)必要性

- ・東山手・南山手伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物は幕末から大正時代に建設されたものであり、定期的な維持補修や、建物の活用状況に伴う耐震対策等が必要である。
- ・伝統的建造物群保存地区を後世に継承するために、民間所有の伝統的建造物の適切な修理や整備を行ううえで、費用の助成が必要である。

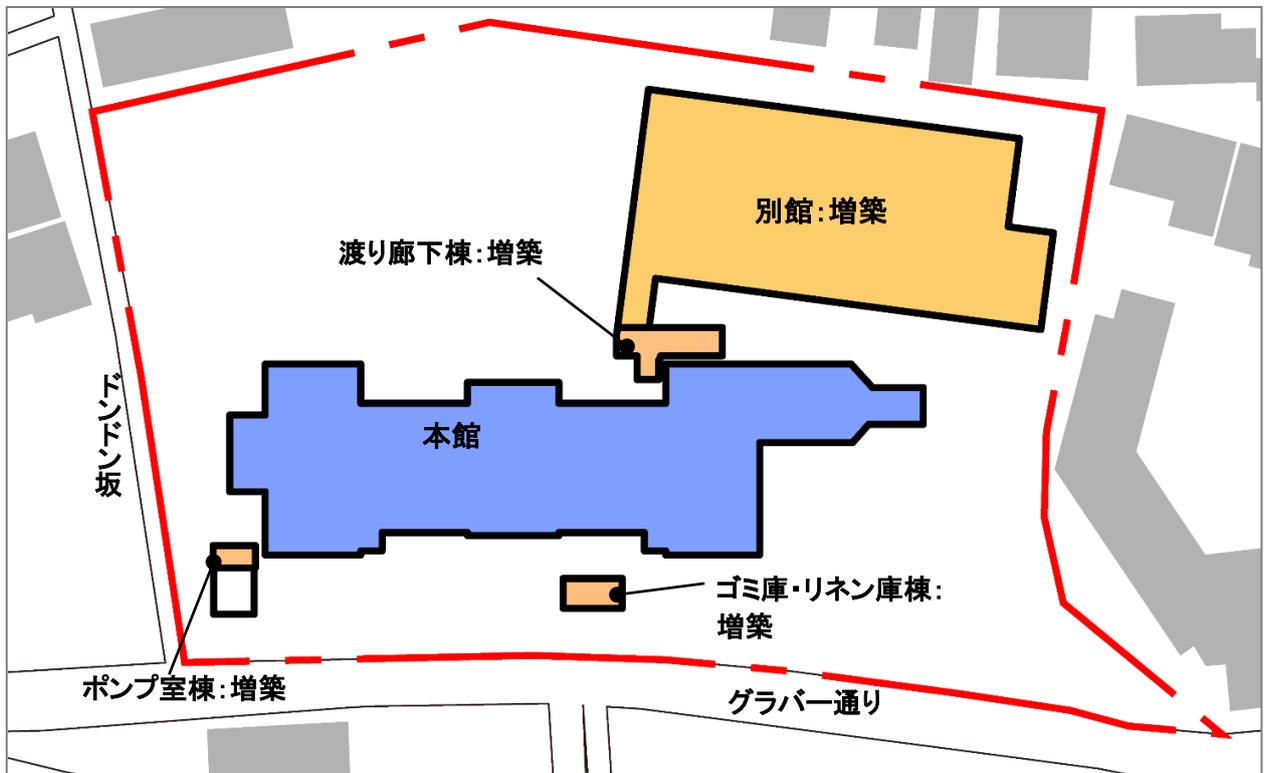
(2)効果

国選定重要伝統的建造物群保存地区の長崎市東山手・南山手伝統的建造物群保存地区における建造物等を保存整備することで、後世に継承することができる。また、修理費用の補助や技術的支援などにより、所有者の理解と協力を得ることができる。

<マリア園>



敷地配置(予定)図



<A氏宅>



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
286 ┆ 287	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	5-1	【単独】文化財保存整備事業費 補助金 各種文化財	千円 36,038

1 概要

国指定文化財、長崎県指定文化財、または長崎市指定文化財の民間所有者が実施する保存整備事業(修理)に対し、事業費の一部を補助するもの。

2 事業内容

(1) 国宝 大浦天主堂

- ア 事業期間(予定) 令和5年度
- イ 令和5年度整備内容 屋根及び建具の修理

(2) 国指定重要文化財 聖福寺4棟(大雄宝殿・天王殿・鐘楼・山門)

- ア 事業期間(予定) 令和2～11年度
- イ 令和5年度整備内容 大雄宝殿:解体格納・組立工事
山門:組立工事

(3) 国指定史跡 小菅修船場跡

- ア 事業期間(予定) 令和4～6年度
- イ 令和5年度整備内容 曳揚げ機小屋の耐震補強等工事

(4) 県指定有形文化財 皓台寺仁王門

- ア 事業期間(予定) 令和4～8年度
- イ 令和5年度整備内容 実施設計業務委託

(5) 県指定有形文化財 興福寺三江会所門

- ア 事業期間(予定) 令和5年度
- イ 令和5年度整備内容 雨樋修理・壁漆喰ほか修理

(6) 県指定有形文化財 旧長崎大司教館

- ア 事業期間(予定) 令和5年度
- イ 令和5年度整備内容 蟻害部分修理

(7) 県指定史跡 花月

- ア 事業期間(予定) 令和5年度
- イ 令和5年度整備内容 電気配線修理

(8) 市指定有形文化財 黄檗開祖国師三幅対

- ア 事業期間(予定) 令和5年度
- イ 令和5年度整備内容 修復及び表具新調

(9)市指定史跡 浦上村瀧庄屋志賀家墓地

- ア 事業期間(予定) 令和4~5年度
- イ 令和5年度整備内容 石積等保存整備

(10)市指定天然記念物 松森神社のクスノキ群

- ア 事業期間(予定) 令和3~8年度
- イ 令和5年度整備内容 クスノキ(1本)の剪定

(11)市指定天然記念物 観善寺の大クス

- ア 事業期間(予定) 令和4~5年度
- イ 令和5年度整備内容 クスノキ(1本)の剪定

3 財源内訳

(単位:千円)

補助対象	① 総事業費	②(※1) 国庫支出金	③(※2) 県支出金	④(※3) 市予算額		事業者(主) 負担額 ①-②-③-④
					一般財源	
(1)大浦天主堂	2,680	1,340 (1/2)	536 (1/5)	335 (1/8)	335	469
(2)聖福寺4棟	255,000	216,750 *(17/20)	12,750 (1/20)	9,562 (3/80)	9,562	15,938
(3)小菅修船場跡	81,171	40,585 (1/2)	13,528 (1/6)	10,146 (1/8)	10,146	16,912
(4)皓台寺仁王門	12,000	—	6,000 (1/2)	3,000 (1/4)	3,000	3,000
(5)興福寺三江会所 門	3,000	—	1,500 (1/2)	750 (1/4)	750	750
(6)旧長崎大司教館	5,000	—	2,500 (1/2)	1,250 (1/4)	1,250	1,250
(7)花月	5,000	—	2,500 (1/2)	1,250 (1/4)	1,250	1,250
(8)黄檗開祖国師三 幅対	3,630	—	—	1,815 (1/2)	1,815	1,815
(9)浦上村瀧庄屋志 賀家墓地	3,410	—	—	1,705 (1/2)	1,705	1,705
(10)松森神社のクス ノキ群	2,550	—	—	1,275 (1/2)	1,275	1,275
(11)観善寺の大クス	9,900	—	—	4,950 (1/2)	4,950	4,950
合計	383,341	258,675	39,314	36,038	36,038	49,314

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率 1/2

* 事業者の事業規模指数に応じ補助率の加算(加算率上限 35%)

※2 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 1/2以内

(国庫補助対象事業は対象事業費から国庫補助額を減じた額の1/3以内)

※3 市指定文化財等保存整備事業補助金 補助率1/2以内

(国庫補助対象事業は対象事業費から国庫補助額を減じた額の1/4以内)

4 事業実施の必要性とその効果

(1)必要性

民間所有の指定文化財を後世に継承するため、適切な保存修理、整備を行う必要がある。

(2)効果

長崎市の貴重な文化遺産の保存・活用が適切に行われる。

5 現況等

(1)国宝 大浦天主堂



屋根修理箇所



ステンドグラスパテ劣化状況

(2)国指定重要文化財 聖福寺4棟(建造物の劣化・破損)



大雄宝殿(正面全景)



天王殿(背面全景)



鐘楼(北側面全景)

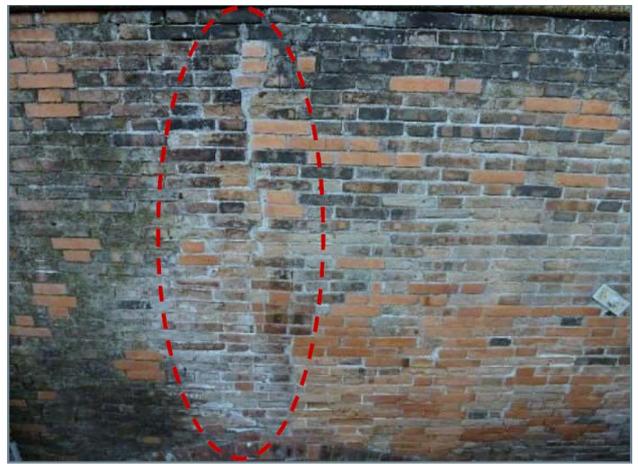


山門(正面全景)

(3) 国指定史跡 小菅修船場跡



史跡内曳き揚げ機小屋(正面)



煉瓦壁面のクラック

(4) 県指定有形文化財 皓台寺仁王門(蟻害による建造物の傾斜)



正面全景



側面全景

(5) 県指定有形文化財 興福寺三江会所門



正面写真



雨樋破損状況

(6) 県指定有形文化財 旧長崎大司教館

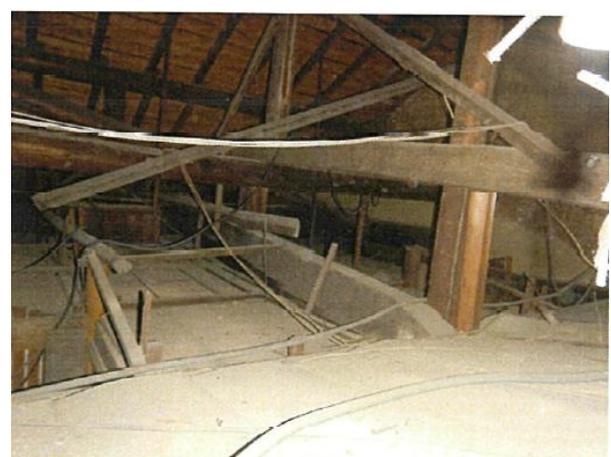
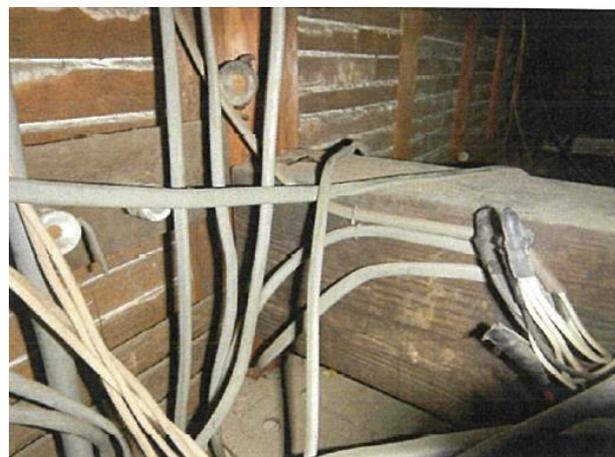


蟻害状況



蟻害状況

(7) 県指定史跡 花月(屋根裏の配線の状況。雨漏りによる漏電の危険性がある)



(8)市指定有形文化財 黄檗開祖国師三幅対(表具等に破れ・シミ等がみられる)



(9)市指定史跡 浦上村湊庄屋志賀家墓地(高木により石塀・石段が傾いている)



(10)市指定天然記念物 松森神社のクスノキ群



(11) 市指定天然記念物 観善寺の大クス



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
286 ～ 287	10 教育費	6 社会 教育費	4 出島 復元費	1-2	建造物復元基本設計費	千円 4,939

1 概要

国指定史跡 出島和蘭商館跡(以下「出島」という。)は、昭和26年から史跡の公有化及び復元整備事業を進めており、復元整備事業については、平成8年に策定した『史跡「出島和蘭商館跡」復元整備計画書』に基づいて、19世紀初頭の出島の街並みを復元することを目的として、復元整備事業を進めている。

これまでに、当該計画の短中期計画に基づいた第Ⅰ期、第Ⅱ期及び第Ⅲ期復元整備事業が完了し16棟の復元建造物を整備したが、引き続き第Ⅳ期復元整備事業を実施する。

※これまでに実施した復元整備事業

時期	内容	詳細
平成12年3月 (2000年)	第Ⅰ期復元整備事業完成 (5棟復元)	一番船船頭部屋、一番蔵、二番蔵、ヘトル部屋、料理部屋
平成18年3月 (2006年)	第Ⅱ期復元整備事業完成 (5棟復元)	三番蔵、拝礼筆者蘭人部屋、カピタン部屋、乙名部屋、水門
平成28年10月 (2016年)	第Ⅲ期復元整備事業完成 (6棟復元)	十六番蔵、筆者蘭人部屋、十四番蔵、乙名詰所、組頭部屋、銅蔵

2 事業内容

整備計画に基づき、第Ⅳ期復元建造物の復元及び外構整備(庭園、表示、高圧受電源装置(キュービクル))を行う。

当初、十五番蔵、番所、出島町人部屋の3棟を復元整備することと計画していたが、これまでの発掘調査の結果、遺構等が検出されなかったこと及び長崎市出島史跡整備審議会における審議を経て、出島町人部屋1棟の復元を行い、十五番蔵、番所については、位置を示す表示のみとした外構整備を行う。これに伴う基本設計を行うもの。

第Ⅳ期復元整備事業は令和5年度から着手し、令和9年度までの5ヵ年計画となる。

(1) 整備内容

ア 出島町人部屋1棟復元
(規模)間口5間×奥行3間
(規格)木造2階建て

イ 外構整備

- ・庭園
- ・遺構の表面表示
- ・高圧受電源装置(キュービクル)の入替

(2) R5事業費 4,939千円

ア 建造物復元基本設計費 4,939千円

第Ⅳ期復元建造物1棟(出島町人部屋)の復元に伴う基本設計を行う。事業期間が2か年にわたるため、債務負担を設定する。

(3) 事業スケジュール

事業内容	R5	R6	R7	R8	R9
ア 出島町人部屋跡の再発掘調査	→				
イ 建造物復元基本設計	→	→			
ウ 建造物復元実施設計			→		
エ 建造物復元工事、展示業務等				→	→

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他	一般財源
千円 4,939	千円 2,469	千円 988	千円 -	千円 -	千円 1,482

※1 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助(補助率 50%)

※2 指定文化財保存整備事業費補助金

(補助率:対象経費から国庫補助額を減じた額の 2/5 以内)

4 債務負担行為額

令和6年度	合計
千円 11,525	千円 11,525

5 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

- ・歴史的文化的遺産である出島の遺構や遺物の保存を図るとともに、往時の建造物等を史実に基づいて復元し、文化・学習施設としての機能を整備する必要がある。
- ・具体的には、出島町人部屋1棟を復元し、出島町人らの役割を紹介する展示パネル、情景再現を行う。

(2) 効果

- ・出島に新たな歴史及び文化に親しむ場が生まれることにより出島の魅力が高まり、出島に関する情報が効果的に発信され、来場者の満足度向上、交流人口の増加につながる。

第IV期復元整備対象建造物



建造物復元

①出島町人部屋 ……(往時の用途) 出島町人の詰め所
(規模) 間口5間 × 奥行3間

外構整備

②番所 ……(往時の用途) 番人の詰め所
(規模) 9尺四方

③十五番蔵 ……(往時の用途) 輸入品の砂糖などを保管
(規模) 間口3間 × 奥行10間



第Ⅲ・Ⅳ期復元建造物完成予想図
※復元は①のみ

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
286 ～ 287	10 教育費	6 社会 教育費	4 出島 復元費	3-1	【補助】出島復元整備事業費 第Ⅳ期建造物復元整備	千円 5,800

1 概要

国指定史跡 出島和蘭商館跡(以下「出島」という。)は、昭和26年から史跡の公有化及び復元整備事業を進めており、復元整備事業については、平成8年に策定した『史跡「出島和蘭商館跡」復元整備計画書』に基づいて、19世紀初頭の出島の街並みを復元することを目的として、復元整備事業を進めている。

これまでに、当該計画の短中期計画に基づいた第Ⅰ期、第Ⅱ期及び第Ⅲ期復元整備事業が完了し16棟の復元建造物を整備したが、引き続き第Ⅳ期復元整備事業を実施する。

※これまでに実施した復元整備事業

時期	内容	詳細
平成12年3月 (2000年)	第Ⅰ期復元整備事業完成 (5棟復元)	一番船船頭部屋、一番蔵、二番蔵、ヘトル部屋、料理部屋
平成18年3月 (2006年)	第Ⅱ期復元整備事業完成 (5棟復元)	三番蔵、拝礼筆者蘭人部屋、カピタン部屋、乙名部屋、水門
平成28年10月 (2016年)	第Ⅲ期復元整備事業完成 (6棟復元)	十六番蔵、筆者蘭人部屋、十四番蔵、乙名詰所、組頭部屋、銅蔵

2 事業内容

整備計画に基づき、第Ⅳ期復元建造物の復元及び外構整備(庭園、表示、高圧受電源装置(キュービクル))を行う。

当初、十五番蔵、番所、出島町人部屋の3棟を復元整備することと計画していたが、これまでの発掘調査の結果、遺構等が検出されなかったこと及び長崎市出島史跡整備審議会における審議を経て、出島町人部屋1棟の復元を行い、十五番蔵、番所については、位置を示す表示のみとした外構整備を行う。これに伴う再発掘調査を行うもの。

第Ⅳ期復元整備事業は令和5年度から着手し、令和9年度までの5ヵ年計画となる。

(1) 整備内容

ア 出島町人部屋1棟復元

(規模)間口5間×奥行3間

(規格)木造2階建て

イ 外構整備

- ・庭園
- ・遺構の表面表示
- ・高圧受電源装置(キュービクル)の入替

(2) R5事業費 5,800千円

ア 遺構調査 5,800千円

復元をする際に最も重要な史料となる礫石等の遺構を確認するため発掘調査を実施する。

(ア)人件費(発掘作業員5名) 2,240千円

(イ)旅費 61千円

(ウ)消耗品費 87千円

(エ)委託料(遺構測量業務委託、路盤剥ぎ取り等業務委託) 3,412千円

(3) 事業スケジュール

事業内容	R5	R6	R7	R8	R9
ア 出島町人部屋跡の再発掘調査	→				
イ 建造物復元基本設計		→			
ウ 建造物復元実施設計			→		
エ 建造物復元工事、展示業務等				→	

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他※4	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
5,800	2,853	1,140	1,600	13	194

※1 埋蔵文化財緊急調査国庫補助(補助率 50%)

歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助(補助率 50%)

※2 指定文化財保存整備事業費補助金

(補助率:対象経費から国庫補助額を減じた額の 2/5 以内)

※3 一般補助施設整備等事業債 充当率 90%(交付税措置率 30%)

※4 個人保険負担

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

- ・歴史的文化的遺産である出島の遺構や遺物の保存を図るとともに、往時の建造物等を史実に基づいて復元し、文化・学習施設としての機能を整備する必要がある。
- ・具体的には、出島町人部屋1棟を復元し、出島町人らの役割を紹介する展示パネル、情景再現を行う。
- ・発掘調査については、第IV期復元整備事業に該当する地点において平成 23 年から 25 年度に十五番蔵跡、番所跡、出島町人部屋跡の発掘調査を行っており、また、平成 16 年から 17 年度には隣接する南側護岸石垣の調査を行っている。
- ・これらの調査で、構造が異なる数基の遺構を検出していることから、検出した遺構を分析し、町人部屋の礫石を確定する必要がある。なお、再発掘調査の際には復元する出島町人部屋跡の部分のみ、必要に応じて最低限の掘削を行う。

(2) 効果

- ・出島に新たな歴史及び文化に親しむ場が生まれることにより出島の魅力が高まり、出島に関する情報が効果的に発信され、来場者の満足度向上、交流人口の増加につながる。